ハッ

題字：水木しげる著

第55号

ゲゲゲの鬼太郎『月曜ドラマランド』特集
『キングコング』特集



◆更新手続きについて◆

会報がおくられてきた封筒の宛名カードを見てください。氏名の下に｛　｝された数字が書かれてあります。例えば｛１００１２３／２００２０３｝なら貴方の会員番号は100123で有効期限は2002年３月となります。期限切れとなると会報や案内等が送られてきませんのでご注意下さい。会費は有効期限内に納めていただく様にお願いします。納金の方法は下記の３通りです。

① 無記名郵便小為替で納金

郵便局の窓口で現金を為替に変えて封書等で送ります。手紙等、他の郵便物と一緒に送れるし為替だけでも普通郵便料金で送れるので便利で経済的。しかし、郵便事故等のトラブルの可能性も有り確実に送金出来るとは言えないし、トラブルが発生しても保証は無い。

② 現金書留で納金

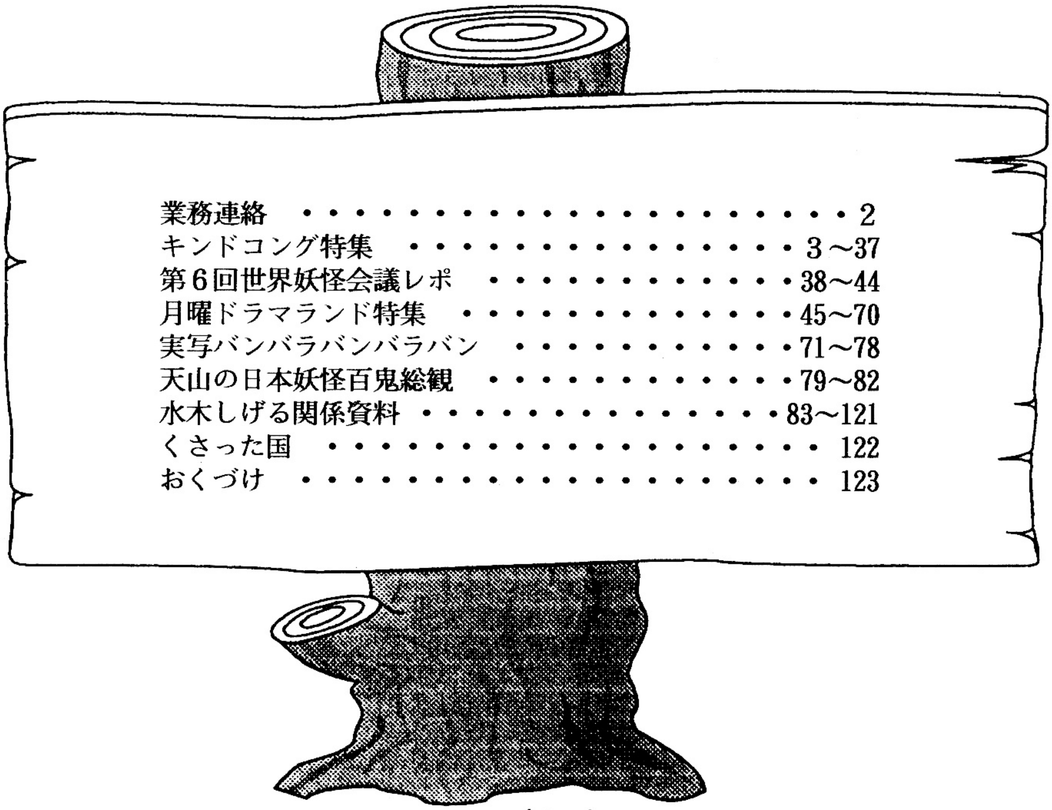
書留用の封筒で現金をそのまま送れます。正直な話、水伝本部もこの送金方法が一番ありがたく現金に変える手間が省けます。ただし、送金する側は最も金がかかりお小遣いの厳しい人には難点が有る。

③ 郵便振り込みで納金

口座振り込みの用紙に金額等を記入し、郵便局の窓口で納金する。この度、水木伝説で口座を設けました。口座番号を記しますので更新や通販にご利用下さい。

口座番号＝ **００９００−３−３０９０８**
口座名 ＝ **馬場様方 水木伝説**

年会費は一律４０００円です。これまでは、年会費は一年分しか受付ませんでしたが、手続きが面倒な方は何年分送金していただいても結構です。年会費の値上がりは絶対しませんし、万一水木伝説が解散した場合は残金を返送します。



業務連絡 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
キンドコング特集 ・・・・・・・・・・・・・・3～37
第６回世界妖怪会議レポ ・・・・・・・・・・38～44
月曜ドラマランド特集 ・・・・・・・・・・・45～70
実写バンバラバンバラバン ・・・・・・・・・71～78
天山の日本妖怪百鬼総観 ・・・・・・・・・・79～82
水木しげる関係資料 ・・・・・・・・・・・83～121
くさった国 ・・・・・・・・・・・・・・・・122
おくづけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・123

はじめに…



いつも関西本部に任せきりだった「フハッ」の編集を関東在住の会員の

手でおこなってみました。

担当スタッフの思い入れの強い「キンドコング」

「月曜ドラマランド版（実写版）」の各特集に加え

「調布　妖怪会議レポート」の豪華（？）3本立てです。

通常の会報と（かなり）趣がちがいますが、

その点を踏まえてお楽しみください。

関東スタッフ一同




グ集



特
タマちゃん
フハッ コント55号記念
なんでそーなるの！
スペシャル
ヒヒヒヒヒィン（二郎さん笑い）



「キンドコング」は、お笑いタレントの欽ちゃんが番組収録中に巨大化してキングコングのようになるという非常に直球勝負ストレートな作品である。本作が描かれた頃はテレビ番組「欽ちゃんのドンとやってみよう！」がブレイクして同時間帯の「八時だヨ！全員集合！」としのぎを削りあっていた（後頁のコピー記事参照）。水木先生がこの漫画を描くことになったいきさつが非常に気になるところである。当時の水木プロの方々もこの番組や前身になるラジオ番組「ドンといってみよう！」を仕事場で流してたんじゃないかと想像すると微笑ましい。

初出誌は1977年「パワァコミック」1月13日号。

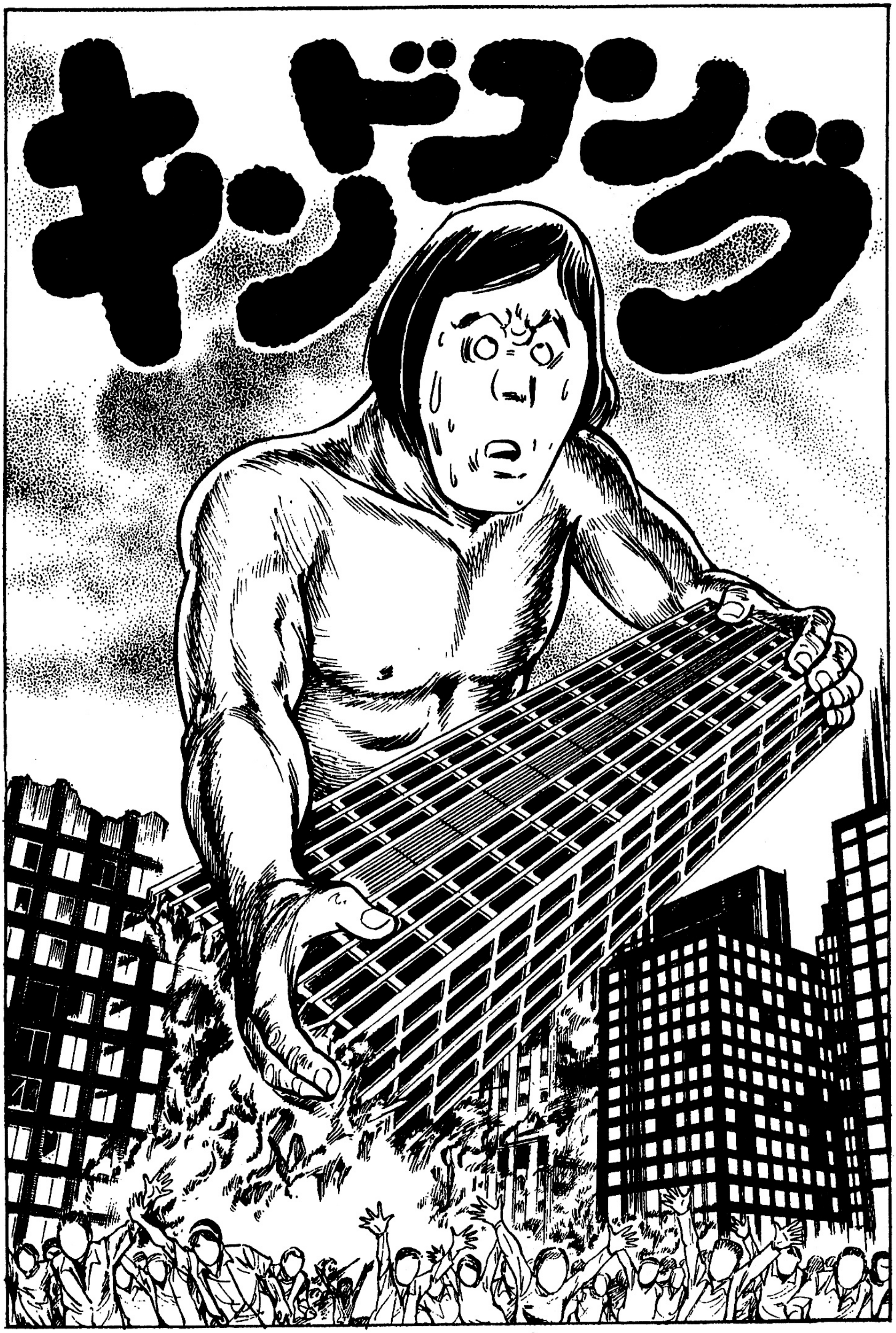
コミックス収録は1979年朝日ソノラマ発行「ぽけっとまん～水木しげる幻想と怪奇（5）」と、1987年講談社発行KCスペシャル「円盤同乗記～水木しげる不思議な世界（4）」の2回だけで、近年の漫画復刻ブームにおける日の目を見ていない。

もったいない！もったいない！

それでは本編 **「ド～ンとやってみよう～～～！！」**

★★ドーンといってみよう!!28P★★

★ついに復刻!・ちまたで話題のメガトン・クラスコミック!

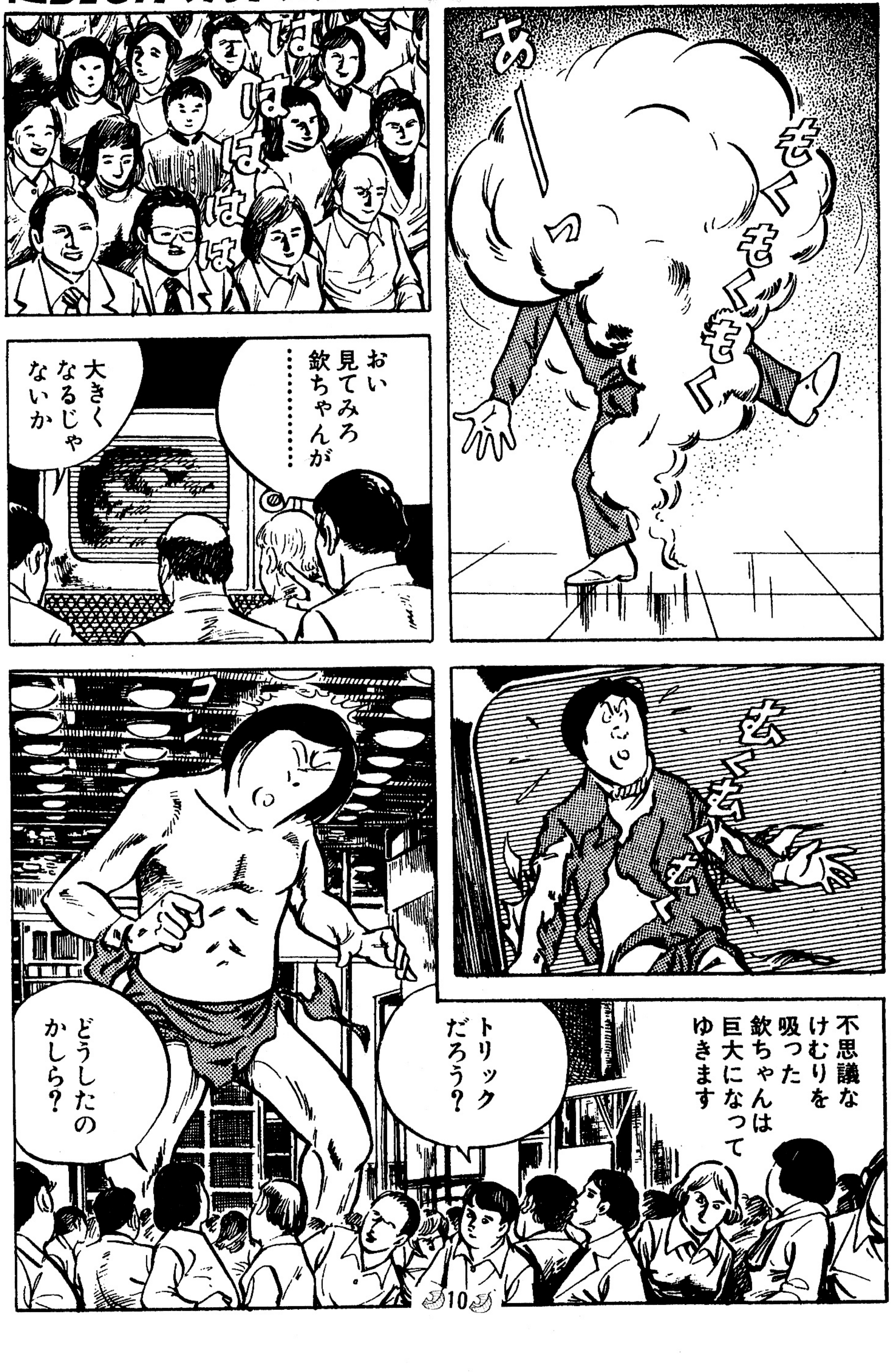


水木しげる

★番組収録中に変なハガキが?




フハッ
こいつ視聴率でもさがったらどうするんだッ
プーッ
おやハガキが餅のようにふくれあがった
この化け物めーーっ
ポ



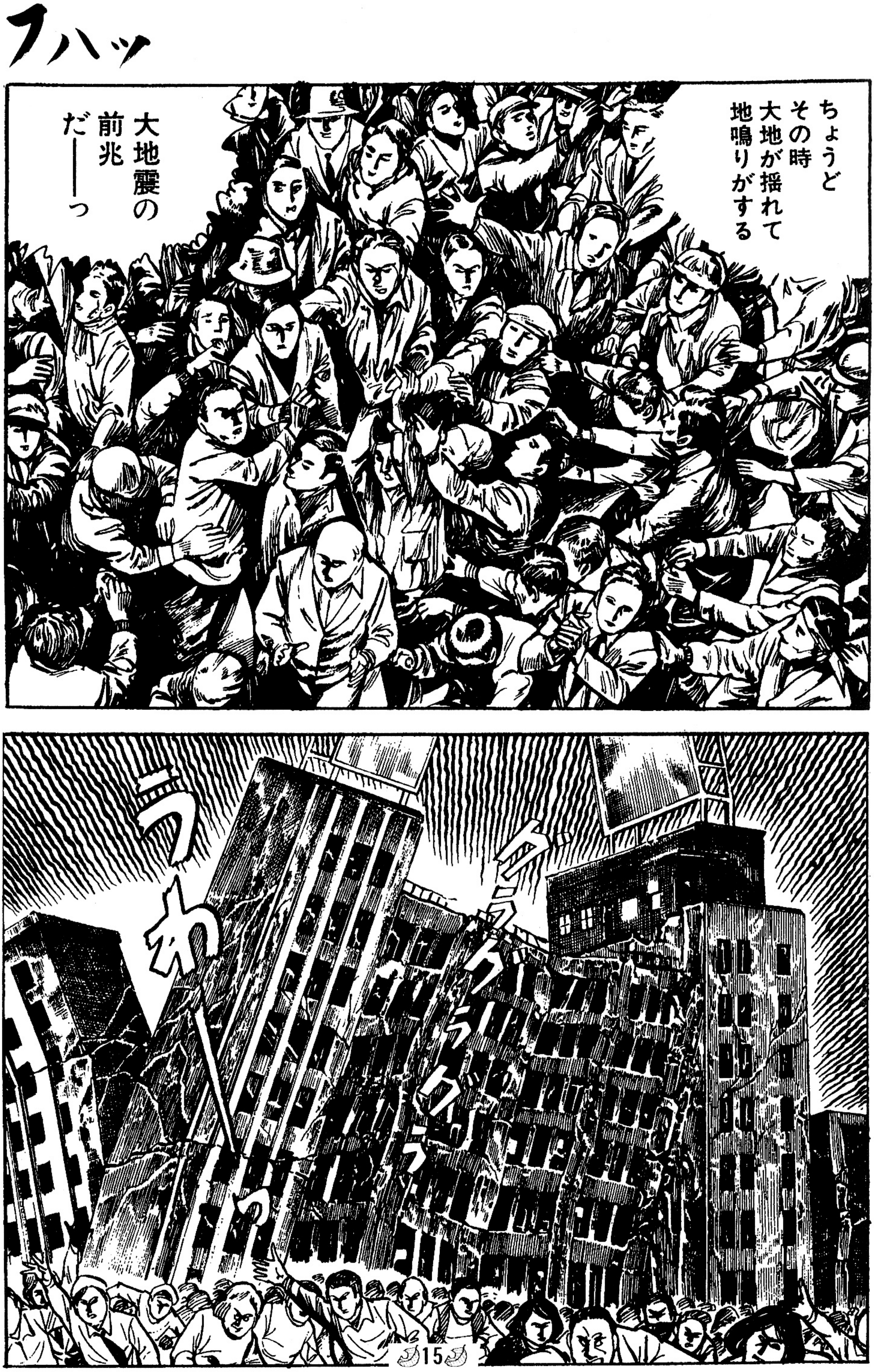
★水木しげる先生の「キンドコング」復刻版が読めるのは今のところ「フハッ」だけです!


フハッ
欽ちゃん キンドコングと化す
うわーーっ
欽ちゃんがキンドコングになるなんて……
俺アもう大きすぎてテレビにもでれないし家にも住めないや


いったい俺は
どうすれば
いいんだ
うわーっ
家が……
じっとしていて
下さい
……家が
二、三軒
こわれちゃった
とにかく
なだめて
静かにして
もらわなきゃ
被害が
大きくなって
かなわない
欽ちゃん
今 なにが
一番欲しい
ですか？
俺 今一番
欲しいのは
パンツだよ


フハッ
アメリカからキングコングのパンツでも取りよせたら
ははははは
誰だーーっ笑ったやつは!
人の苦しみも知らないで……
あっ小便だーーっ
ジャーッ
うわーっ
きたねえーっ


みなさん
キンドコングを
からかわないで
下さい
被害が
大きくなる
ばかりです
欽ちゃん
安心して
下さい
今 世界一
大きいパンツを
作っています
うわー
うれしい
俺
それで
自由に
歩ける
ボキ
ポキ


フハッ
ちょうど その時 大地が揺れて 地鳴りがする
大地震の 前兆 だ――っ
うわーっ
グラグラグラ


むくむくむく
やがて地震がおさまると大地がもりあがってきた
なんだ地震じゃなかったのか新型の公害だ


フハッ
うわーーっ
化け物だーーっ


それは地下にたまった
公害の毒素によって
異常に大きくなった
モグラだった
ガッ
うわ――っ
モグラの
キングコング
だ――っ
みんな早く
逃げて下さい
自衛隊が
大砲を撃ちます


フハッ
かしこいモグラコングは発射前に大砲をこわしてしまう
続いて麻酔弾を発射するがぜんぜんききません
こりゃあ原爆しかありません
まて
ヘタに落としてはえらいことになる
首相に相談しよう


原爆を……という意見もありますが
バカ
自分の体に落とすようなもんだ
我々に害なくやっつけられるのは
キンドコングだけだ
さすがは首相
パンツはおろか巨大な家も作ってやるし一日に三度のオマンマも与えるという条件ではどうかな
首相
相手は人気のあるテレビタレントの欽ちゃんですゾ
バカッ
体の小さい時ならソレでよかった
しかし今や巨大なキンドコングになり東京都民の三分の一の食糧を食べる怪物になっているのだ


フハッ
テレビのタレント料なんかでは一か月の食糧もまかなえない
分ったか
やはり総理大臣ともなると
目の付け所が違う
ところで……
誰が使者になる
自衛隊にたのもう
猛獣使いはどうかな
バカッ
阪上二郎くんをおいて他にない
あ——っ二郎サン
彼に国連大使並みに勲三等を与え
さっそくキンドコングにモグラと戦うようにいいなさい
そうすれば自衛隊を使うよりはるかに安上りだ


阪上さん
王手!
誰かきたな
ガラッ
首相の特使としてまいったものですが
そんなテレビ番組あったかいナ
!?
いや実はモグラコングがあばれまわり
被害が大きくなりこまっているのです
首相の考えでは兵器を使ってはかえって東京都民に大被害をもたらす恐れがある として
ぜひこの際キンドコングによって
モグラコングを………


フハッ
そうです
それが一番
安上りな方法だと
いわれるのです
もちろん
キンドコングには
最低生活を
保証し家を
建てます
こまった
なあ………
欽ちゃんは
モグラが
大きらい
なんです
二郎さん
今 東京都民が
平和に寝れるか
寝れないかという
時です
モグラがきらいだ
ネズミがきらいだ
といっている
場合では
ないでしょう
ああ
ぼくは
つらい
欽ちゃんに
モグラと
命がけの
戦いを
しろなんて
親友として
いいにくい
なあ
あなた
なんだ
恐い顔して


モグラコングが昼寝している尻の下に欽ちゃんの家が下敷きになって
家族が家から出れないとさっきのニュースでいってたでしょ
俺
将棋してたからわかんなかったナ
それならキンドコングのところへ行こう
あ――理解していただけましたか
ではさっそく車で
プウ――ッ
あ――っ首相特使阪上二郎氏が到着したもようでございます
あっキンドコングの足の下に行きました


フハッ
欽ちゃーん
なんだか聞いたような声だが小さくて見えねえや
ヘリコプターかなんかで手のヒラに上ってきてくんないかナ
しようがねえなあ
どうやら二郎さんはヘリコプターで手の上に乗ったもようでございます
欽ちゃんよく聴きなよ
あんたの奥さんがモグラコングの尻に敷かれているんだよ

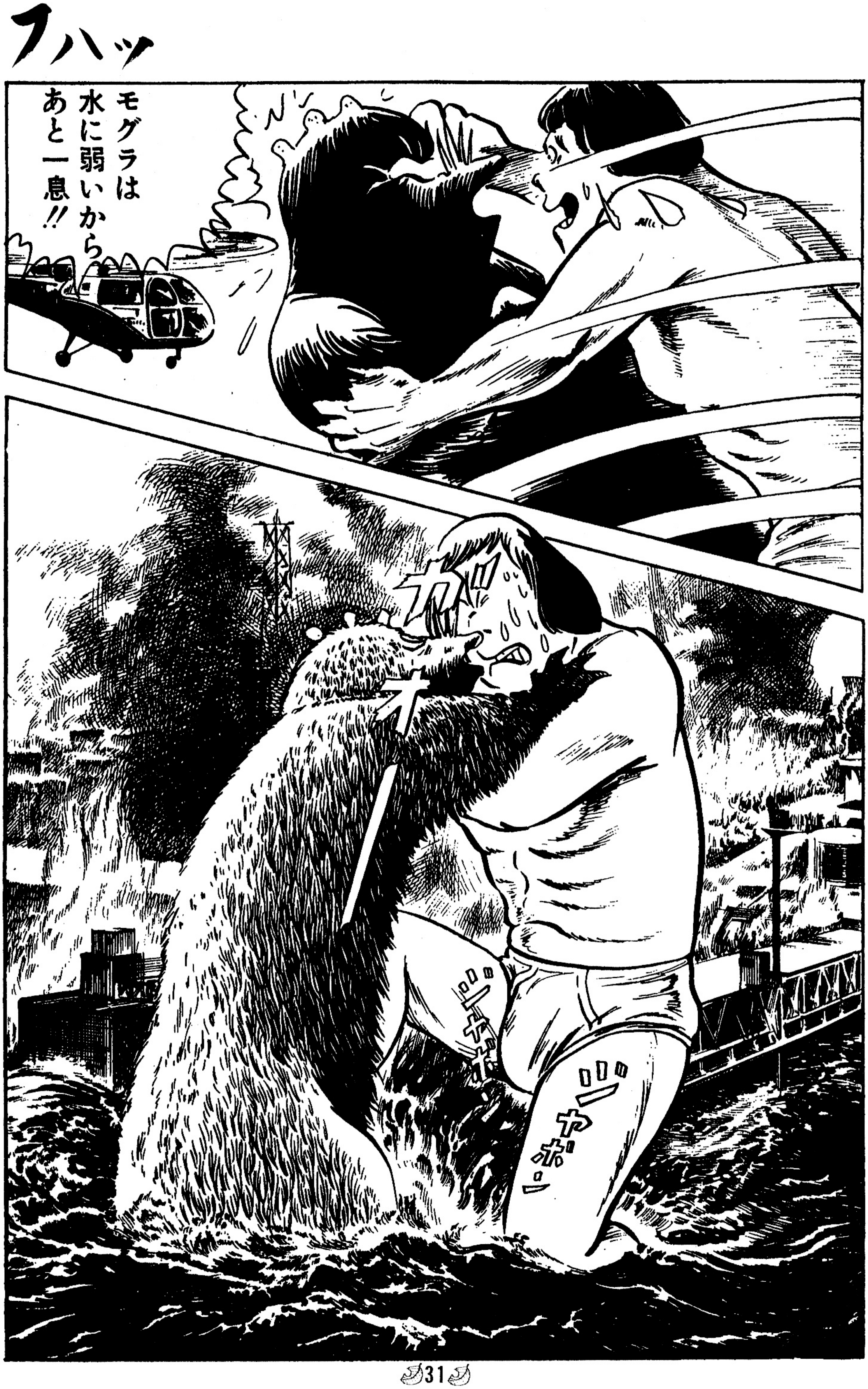

おかしいなあ 家内は俺を 尻に敷いていたのだ
欽ちゃん ふざけちゃあ いけないよ
ふざけてるのは あんただ
俺が どれだけ モグラが きらいか……
欽ちゃん よく聞きなよ
あんたの 妻子が
モグラコングの ために ペチャンコに なろうと しているんだよ
おどかすなよ 二郎さん 俺 生れつき モグラが死ぬほど きらいなんだ
だって
最愛の家族の上に モグラが 屁でもしたら どうなると 思うの？
屁を！
モグラの屁は 毒ガスより きついから 出されたら イチコロだよ


フハッ
よーーし やるぞーーっ
ぼくはヘリコプターで助けてよ
どうやら世紀の大格闘が開始されるもようでございます
二郎さんはヘリコプターから助言するようでございます
キンドコングは近づいて行きます


おい
おきろッ
きさま
よくも
あっ
あっ
大変です!
キンド
コングが
モグラコングの
出す毒ガスで
目がまわった
ようです
キンド
コングの
不用意です


フハッ
くらくらくらくら
欽ちゃん
欽ちゃん
相手は
バカ
だから
ビルで頭を
どやしつけ
たら？


今のうちに東京港に押し出すのだーーっ


フハッ
モグラは水に弱いからあと一息!!
ガッ
ジャボッ
ジャボッ



★ブリーフ一丁で頑張るキンドコングに応援のお便りを！あて先↓フハッ編集部内　キンドコング係


フハッ
賞金は官房長官より発表させます
実は警察の方で調べさせました結果
「欽ちゃんドンといこう」のハガキの中に
化け狸がハガキに化けて入っていたのであります
それについて化け狸氏から直接説明がございます
では化け狸先生
私はただいまご紹介にあずかりました化け狸ですが
はははは
笑ってはいけません日頃は表面に出ないようにしているだけですから
私は文福茶釜とか八百八狸の血統を引く狸といっても
動物の狸とは違い霊狸であるから神通力をもっているのです
わかりますか

★やったね欽ちゃん!国民栄誉賞もビックリ「キンドン」賞だ!

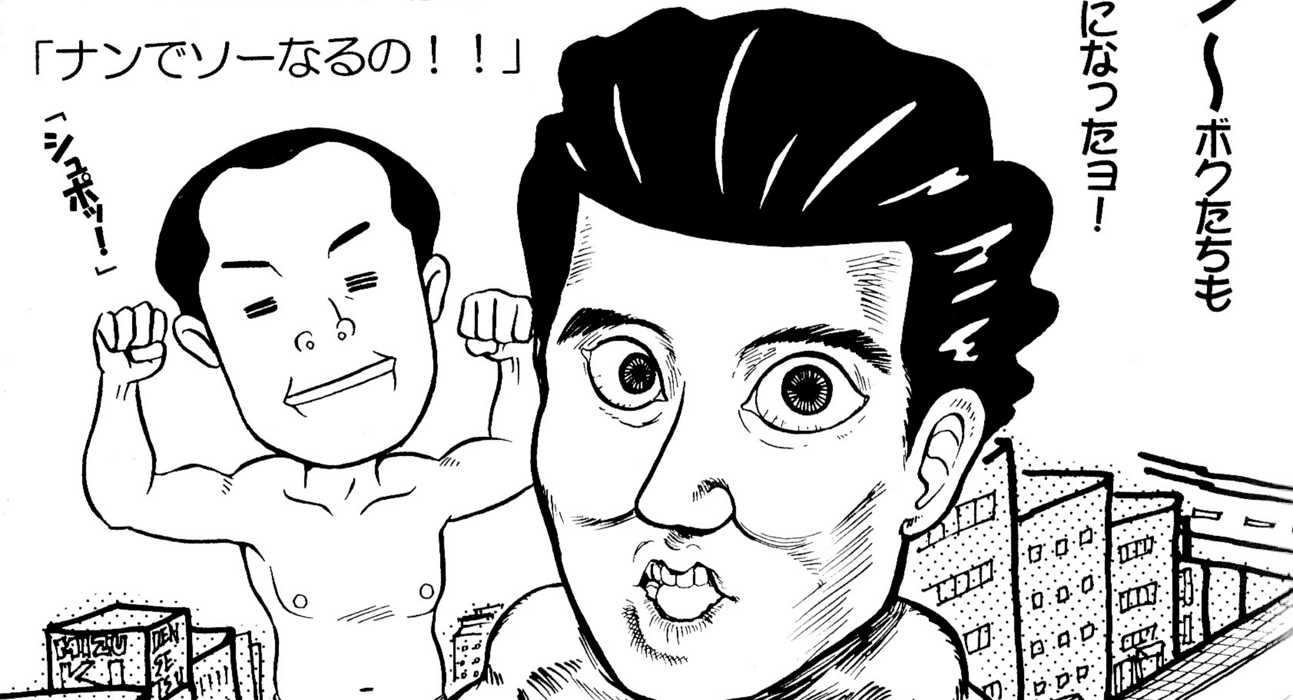


キンドコング …おわり

ナンソー(略)スペシャル中記

いかがでしたか？「キンドコング」
ここは丁寧にひとつひとつツッコミを交えながら
解説を入れるべきかもしれません。しかし！それは
既に読まれた皆さんの心の中でも絶対同じ事を思っていると思われるので
あえて書きませんYO！
さあ跳ねましょう！一緒に！

「ナンでソーなるの！！」



次回作

「コサキンドコング」 近日上映うそ！

ワタシたちわ、こんなステキな作品を描いてくださる水木先生が大好きでつ！

次々回作「キンヤコング〜ケロンパの名のもとに〜」
その次「スガイキンドコング〜ムコどの〜」も
お楽しみに！

対ドリフ!! 土8戦記

欽ちゃんvsいかりや

『ひょうきん族』以前には、『欽ドン』と『全員集合』が鎬を削っていたのだ!

死力を尽くして闘うのが土8のルール

驚異のお化け番組『全員集合』に立ち向かっていった突破者は何も『ひょうきん族』だけとは限らない。それ以前にも、土曜8時というリングでドリフと熱き戦いを繰り広げていた一人の男がいた。欽ちゃんこと萩本欽一である。

そんな〝ドリフVS欽ちゃん〟の構図は69年にまで遡る。当時、萩本は坂上二郎とコンビを組んだコント55号として大人気を博していたが、そんな彼らのレギュラー番組の中でも『裏番組をぶっ飛ばせ!』(日本テレビ)と並んで、土曜8時という時間帯で高視聴率を挙げていたのが

かつて『欽ドン』は『全員集合』を鮮やかにKOした!

『コント55号の「世界は笑う」』(フジテレビ)であった。そして、その牙城に敢然と立ち向かっていったのが、その年の10月に始まったザ・ドリフターズの『8時だョ!全員集合』(TBS)だったのだ。

ところで、この2組が68~69年のTBSの火曜日の夜7時半の時間帯で、ちょっとした前哨戦をやっていたのは御存知だろうか。この枠はもともと『進め!ドリフターズ』を放送していたのだが、いかりやが肋膜炎を患って入院することになり番組が打ち切り。その後番組が55号の『チータ55号』だった。その後『突撃!ドリフターズ』~『55号決定版』と半年ごとに交替でこの枠を担当してきた2組だが、TBSは55号とドリフを天秤にかけ、結局波に乗っていた55号を取り、『55号決定版』の一本に絞りドリフを捨てることになる(ちなみに『ぴったしカンカン』がリニューアルするまで、この枠は55号がずっと出演)。もともとコント55号とドリフターズの間には、お互い人気者ゆえに避けられない因縁があったのである。

さて話を戻そう。『全員集合』は始めこそ不調だったが、徐々に視聴率が上向き始める。その当時はとにかくハプニングを重視した番組が氾濫していたこともあって、55号の即興型よりも、ドリフの構築型の笑いの方が視聴者には逆に新鮮だったというのが人気沸騰の一番の要因であろう。とにかく勢いに乗った『全員集合』は『世界は笑う』を追い抜き、平均して30~40%をマークするようになる。そのあおりを喰らって『世界は笑う』は70年3月に終了に追い込まれてしまうのだ。と同時にコント55号の不敗神話が崩れたということも特筆すべきことだろう。こうしてドリフターズはお笑い、というよりテレビ界の王者となったのである。ところが、そんなドリフも最年長の荒井注が体力の低下を理由に74年3月に脱退。ボーヤ出身の志村けんを急遽新メンバーに迎えるが、チームとしての歯車が今一つ合わないという状態が続いたため、視聴率は依然好調だったものの内容的には苦戦することになる。

一方、55号は活動のペースを落とし、各自ソロで動き出す。中でも自主映画の監督や製作をつとめたりと、演出家/プロデューサー的な素養があった萩本は、当時、ニッポン放送でパーソナリティーを務めていたラジオ番組『どちらさまも欽ちゃんです』の人気コーナー「欽ちゃんのドンといってみよう・母と子の会話」のテレビ版、つまりラジオ番組をテレビ化するという前代未聞のお笑い番組を企画。さっそく旧知のプロデューサーたちのもとへ持ち込んだものの、その突飛さに企画書を突き返される日々が続くが、以前『世界は笑う』のプロデューサーだったフジテレビの常田久仁子に認められ、74年9月21日、『欽ちゃんのドンといってみよう!ドバドバ60分』という特番で実現化することになる。しかし結果は、萩本の意気込みをよそに視聴率の方は3・9%と散々たるものだった。しかし、フジの局内を始めテレビ業界の評価は高く、実際に他局である日本テレビからレギュラー化の話もあったほどだった。

こうして『欽ちゃんのドンとやってみよう』は75年4月5日、土曜の8時~9時の時間帯でスタート。『全員集合』の裏に殴り込みをかけることになる。といっても萩本自身に勝算があったわけではなく「負けてもともと」という気持ちだったというが、初回の視聴率は17・4%を記録。視聴者から送られてきたコントを読んだり、リハーサルをやらず、ゲストとの絡みもアドリブを前面に出すという、ドリフとは正反対の手法による笑いを提供することによって数字は急上昇。また、前川清とのコント54号、内山田洋とクールファイブなどの、非コメディアン的なレギュラー陣が実力を発揮したこともあって、アッという間に『全員集合』を追い抜き、76年2月1日には31・1%の最高視聴率を記録。投稿を集めた単行本もベストセラーに。かつてドリフによって土曜8時から追い出された萩本が再び天下を取るのである。

戦いの中で刺激しあい、己を磨きあげる!

この戦いはマスコミに「欽ちゃんとドリフの対決」として煽られるが、当の本人たちはそんな騒ぎを一歩引いた視点で眺めていたようだ。そんな二人のいいサンプルとなっているのが、『週刊平凡』(76年1月8日号)に掲載された、いかりやと萩本の対談であろう。正月には萩本がいかりやの家へ挨拶に出かけるなど、以前から、お互い交流はあるものの、普段は遠慮もあって笑いについては全く話さないという二人が「これが最初で最後」と断ったうえで2時間にも渡って対談したため、かなり密度は濃いものとなっている。

いかりやが「最近マスコミでは、よくぼくたちがライバルとかケンカしているとかいわれるけど、ほんとは形が違うから比較にならないんだよね」とぼやけば、萩本は「ドリフターズとコント55号が一緒に何かやると、また別の新しい何かが生まれる可能性があるんじゃないかな」と共演話を持ちかけ、いかりやが九州で観たストリップ劇場のコントの面白さを語れば、「ネタをくれる人がいないから、自分で考えて自分でやる訓練が付いてるんでしょうね。そういう風に考えると、昔からコメディアンというのはじつは作家なんだよね」という萩本の含蓄深い一言が出てきたり、逆に萩本が「同じ仲間同士がおたがいにぶつかり合うのはよくないか

ら、長さんとも話し合って、『夏の間はオレのとこやめるから長さん"全員集合"やってくれ。その代わり、秋から冬は"欽ドン"やるから長さん、休んでよ』ってことにしたいと考えてるんだよ、ぼくが番組やめるのは、"欽ドン"やってるテレビ局じゃなく、友達である長さんに相談してから決めようと真剣に考えてるんですよ」といえば、いかりやも「もうテレビ局にふりまわされるのは、たくさんだという気がする」と現状への不満をブチ上げるのだ。さらに萩本が「たとえば、ドリフターズが番組をやってて、どうも苦戦している。そうすると『マチャアキも、55号も、ちょっと来いよ』といって、応援に行くんですよ。ぼくが"欽ドン"で苦戦しているとすると『長さん、たのむよ、たすけてよ』とお願いするわけ。そんな笑いの人たちの協力があれば、ひとつのものを作るのに、もうひとつのものが盛り上げていくという理想の形になると思うんだけどね」と過激なお笑い統一戦線を目論めば、「とにかく、日本じゅうのテレビ番組を、笑いの番組ばかりで統一したいというのが、ぼくたちの終極の夢だから、おたがいにがんばろうよ」という、さらに輪をかけたビッグな野望をいかりやはカミングアウトさせるのである。その他いろいろ味のある発言が飛び出すのだが、ただひとつ言えることは、この二つの番組の戦いは、お互いを潰し合うような喰うか喰われるかといったような対立の構図の中でさえ、テレビ局という枠にとらわれず、お互いの実力を高めていくような関係だったということだろう。

土8からは撤退し、平日を制圧した欽チャン

75年の暮れから、76年の初めにかけて「ゴールデン・アロー賞」「ギャラクシー賞」などの賞を総ナメにし、まさしく人気絶頂の『欽ドン』だったが、76年春頃より、徐々に『全員集合』が巻き返し始め、視聴率も抜かれ始める。これは志村けんが『東村山音頭』がブレイクしたことでグループとして持ち直したこと、『欽ドン』の要である視聴者からの投稿の質がパワーダウンしたなどが挙げられるが、両番組の視聴率戦争をレポートした『週刊TVガイド』(76年5月21日号)のなかで『全員集合』側の放送作家・田村隆は『欽ドン』の人気が落ちついてきたことについて「『欽ドン』の方は視聴者がこの番組になれてきたんじゃないかな」と分析している。確かに放送作家という"プロ"ではなく、視聴者という"シロート"が考えたコントや、ぶっつけ本番のレギュラー陣やゲストの反応を萩本が突っ込むことによって突拍子もない方向やオチに笑いを転がしていく『欽ドン』にとって"視聴者が慣れ親しんで観れる"という人気番組にとって必要な要素が、皮肉にも一番の天敵だったのかもしれない。

盛り上がっていく『全員集合』とは対照的に『欽ドン』は田村の危惧どおり失速。ついに萩本は77年3月26日の放送をもって番組を一旦休止する。そして半年間のインターバルのあと10月に再開。新『欽ドン』にはコント54号など従来のレギュラー陣に加え、12万人の応募者の中から選ばれた欽ドン劇団が登場。その中から気仙沼ちゃんがブレイクしたりと人気を取り戻すが、視聴率が下降し始め、80年に二度目の活動休止宣言。そして以降は、対談中の「同じ仲間同士がおたがいにぶつかり合うのはよくない」という言葉を実行するかのように土曜8時から撤退。土曜8時の「欽ちゃんVSドリフ」という構図はひとまず終わることになる。

それでも、萩本のドリフに対する敬愛の意は変わることがなかったらしく、81年に志村と仲本がノミ行為で競馬法違反の容疑で謹慎した際には「こんなことで、ドリフが解散したり、番組をやめたりしないで欲しい。もし、万が一、そういうことになるのなら、最後の『8時だョ!全員集合』にはぜひ呼んでくれ。ドリフと一緒に、思いっきり舞台を作って、私もそれを最後に引退する。いつまでもライバルでがんばって欲しいんだ」と自らの引退をも賭けた激励の言葉を贈っているほどだ。

その萩本は休暇を取ったあと、『欽ドン』で培ったエッセンスをもとに『欽ドン・良い子悪い子普通の子』(月・夜9時・フジテレビ)。『欽ちゃんのどこまでやるの!?』(水・夜9時・テレビ朝日)。『欽ちゃんの週刊欽曜日』(金・夜7時・TBS)、『日曜9時は遊び座です』(日・夜9時・日本テレビ)などのレギュラー番組で、80年代初頭の在京テレビ局のゴールデンタイムを独占することになる。そしてこれらの番組から、わらべ、見栄晴、風見慎吾(現・しんご)、斉藤清六などの新しいスターを誕生させ、また東京ヴォードビルショーの佐藤B作、『ぎんざNOW』の「素人コメディアン道場」出身の関根勤や小堺一機などをブレイクさせたりと、持ち前のプロデューサー的な手腕を発揮したことも忘れてはならない事実だろう。

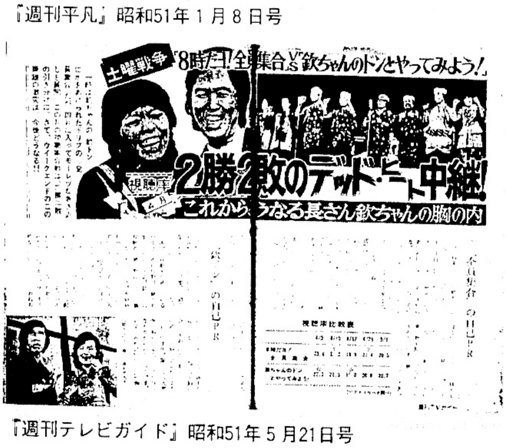
方法論の違いこそあれ、とことん"笑い"に対してストイックな姿勢を貫いたこの2組について、タレント仲間のキャッシーとの同性愛スキャンダルが起こるまで、元祖バラドル(?)として不動の人気を誇っていた佐良直美が、前出の『TVガイド』に、『全員集合』と『欽ドン』の違いは"体の動き"のおもしろさと"ことば"のやりとりのおもしろさじゃない?」と実にわかりやすく的確なコメントを残しているが、撤退後の萩本の活躍ぶりを見ていると、土曜8時という時間帯において、視聴者が佐良の言うどちらの"おもしろさ"を選んだかということが見えてくるような気がするのは、果たして考えすぎだろうか。

初出「笑芸人Vol.1」(白夜書房・1999年)

これは驚いた、萩本・いかりや対談発見!



『週刊平凡』昭和51年1月8日号



『週刊テレビガイド』昭和51年5月21日号


調布花子の
第6回世界妖怪会議レポ
●妖怪学校設立！の巻
お久しぶりです。魔女花子（代理）です。
今日はここ調布グリーンホールから
世界妖怪会議をレポートしたいと思います。
ペコ
第6回を迎える世界妖怪会議
ですが今年は調布と境港の
2箇所で開催されます。
花子は久しぶりの2回め
の参加となります〜
ちなみに前回は熊野でした
水く伝メンバー。
あ、みなさん
こんにちは〜
ゴブサタです〜
よろしく
おねがい
します
↑スワさん
↑キムラさん
↑長澤さん
「フハッ」読者で知らない方は
少ないかと思いますが一応
世界妖怪会議の紹介です。
世界妖怪会議とは？
※世界妖怪協会が定期的に行っている妖怪好きにとっては最も重要ともいえる夏の一大イベント。水木しげる会長をはじめ、荒俣氏、京極氏、多田氏など超豪華メンバーがテーマに沿って妖怪について語り合うという非常に勉強になる座談会であるが、年に一度、生水木先生をじっくり拝めるという非常に貴重な機会でもある。
※世界妖怪協会
※妖怪好きな人が集まって、話をするところ。人がたくさん集まったら、いろいろな分野に分けて、妖怪を研究してゆく。そうすると、今まで、見えないし、ふれられない、といったものの存在が、だんだん分ってきて、そこに別なある種の世界があることが分ってくる。奇妙なことの好きな集団は、そこに、別な世界を発見する。
怪
水木しげる
荒俣宏
京極夏彦
↑世界妖怪協会　機関誌「怪」（角川書店）　http://www.kwai.org/


ほんとトツゼンでした。
さて開演まで時間があるし、深大寺そばでも食べたいわね。…ん？
その時目の前に現れたのは…！
ハッ
ゾロ
わきおこる歓声！
セ、センセイ方！
アワ
かなり慌てる係員（当然）
あの浴衣の一団は…
キャー
はっ
開演前に堂々と出演者が現れるという珍事…
カメラマン失格ね
ガッカリ
あっけにとられシャッターチャンスを逃す…
開演を待つ観客の前に突然水木先生と弟さん、荒俣先生が浴衣姿で正面玄関から登場！
困ります！出るなら裏にお回りください！
…そんなハプニングもありましたが、いよいよ開演の時間…
そろそろ開演ね。
花子は2階席
一生の不覚…！
ビーッ
第一部、第6回世界妖怪会議の開演です。
1部　第6回　世界妖怪会議
15:00　南方幻想（パーカッション:渡辺亮・秋元カヲル）
15:10　世界妖怪会議
（水木しげる・荒俣宏・京極夏彦・多田克己+？）
16:10　福引大会1
16:30　一休憩（30分）一
1部　第11回　怪談乃怪
17:00　妖怪落語（林家正雀）
17:30　一休憩（15分）一
怪談乃怪
17:45　（朗読:栗田ひづる／怪談会:京極夏彦・東雅夫・
木原浩勝・中山市郷・加藤夏希・
18:40　福引大会2
19:00　閉会予定



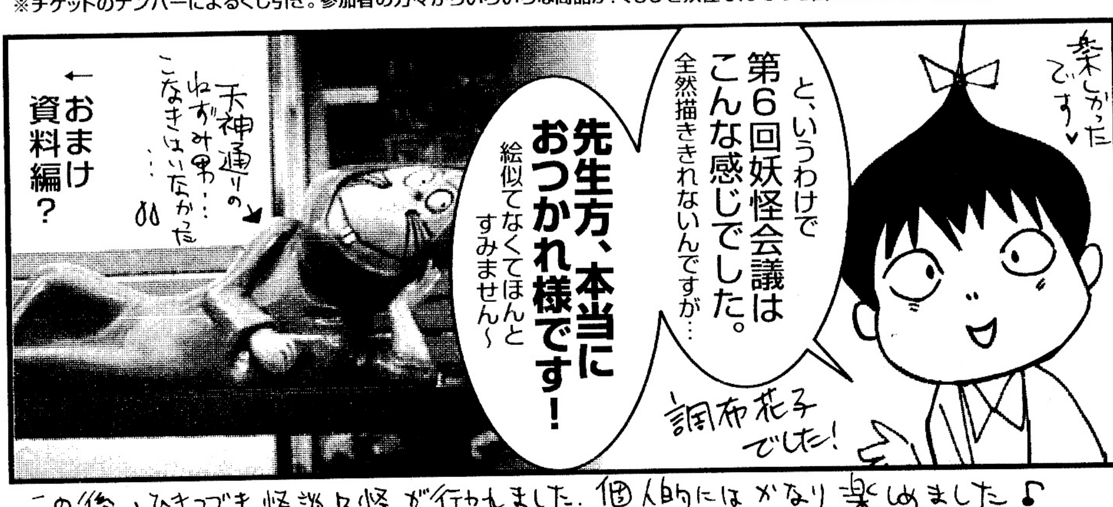
※本当は先生、メガネははずしておられました


石燕は『おとろし』と書いてるが水木先生は『おどろおどろ』としてますね。
『音と光』をテーマに
一部のハイレベルな人々しか見ることができなかった…
妖怪を庶民に見せる為の絵巻にしたのは何故か？あれは、一種の娯楽、シャレではないかと
くり広げられる妖怪談義…
中国の妖怪は必ず人間の首がくっついてますね。人間と動物のパートに別れてる。…日本はブレンドされてますね。
器物の妖怪など…
妖怪を描く時は何の疑いもなく描きます。後でこんなの描いたんだと自分で思う。
当然忘れます千や二千忘れます。
忘れてるんじゃないですか？
…そういうものでも長い間つきあっているといろいろ私を守ってくれます。はじめはわからなかったが…最近は
半分くらい妖怪になってますから。
去年は7割近くといってましたよ。





※チケットのナンバーによるくじ引き。参加者の方々からいろいろな商品が!くじびき妖怪なんてのも出てきました…発売前の商品なども…

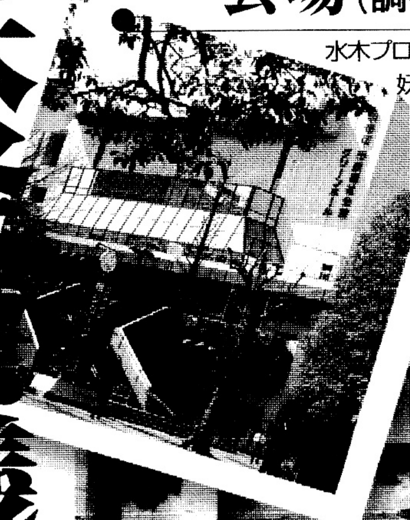


この後、ひきつづき怪談乃怪が行われました。個人的にはかなり楽しめました♪

妖怪会議豆資料編

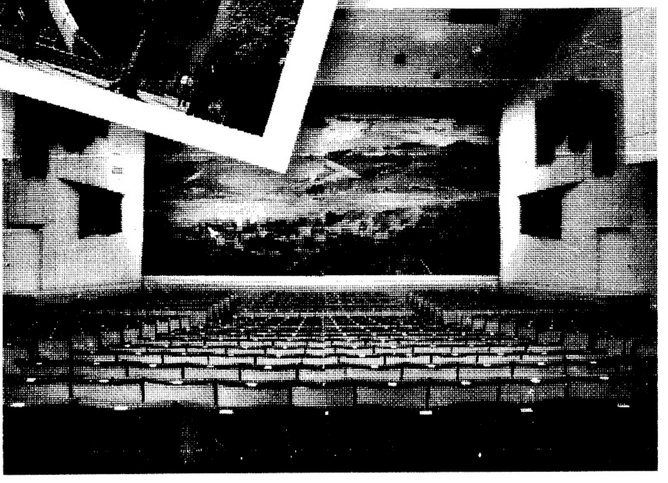
会場（調布グリーンホール）

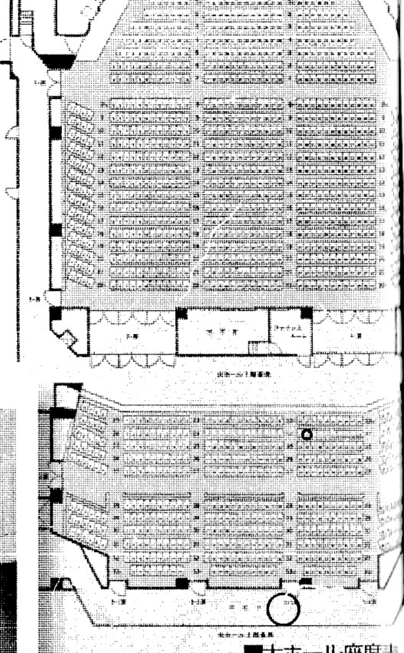
■外観



水木プロがある調布の駅前にあります。妖怪会議が行われた大ホールは1301席。花子はS席2階席でした。普段は音楽、演劇、オペラ、式典、講演などに使用されるとのこと。

■大ホール

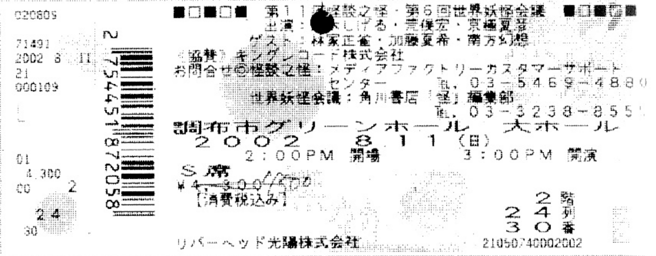




■大ホール座席表

チケット

今どきらしくネット通販でゲットしたはずが当日忘れて再購入…ええ花子は間抜けな奴です…忘れたチケットはかなり前の方



パンフレット



京極夏彦先生デザインで風呂敷?とセットで会場で売ってました。内容は主に出演者の紹介など。ジャバラ折り。

和紙風（新だん紙ですか?）の厚手の紙を使用して豪華なつくり。デザインも渋くってかっこいいです。名前の書体とかおこしたんでしょうか…?ちなみに会場ではほかにも限定のポスター（買った）とかTシャツとか売ってました。

余談ですが、グッズ売り場加藤夏希ちゃん目当てのカメラ小僧（小僧ではないかも）すごかったです。花子もとってみましたが3年ぶりくらいでカメラの撮り方わすれて失敗してました…。

大公開！ 妖怪会議当日の楽屋でのスナップ写真！



水木プロから
貴重なお写真を
お借りしました！

●左から多田さん、水木先生の奥様、水木先生、水木プロの出口さん



●左から京極さん、多田さん、悦子さん、水木先生、水木先生の奥様

実写版　大好き！

月曜ドラマランド版特集



＊月曜ドラマランド版　ゲゲゲの鬼太郎

ストーリー・その他解説

★木村　香織

妖怪解説

★ビビビの高橋　知和

＊月曜ドラマランド版　悪魔くん

解説

★つちのこ

月曜ドラマランドはこんな作品！

「月曜ドラマランド」は1983年4月～1987年10月までフジテレビで放送されたコメディ路線の1時間半枠の単発ドラマシリーズだ。若手アイドルを主演に使ったり、まんがやアニメを原作にしてドラマにするのが特徴的だった。たとえば長谷川町子の「いじわるばあさん」や志村けんの「バカ殿シリーズ」などが繰り返し放送され人気を呼んだ。中にはコメディというよりパロディに近い悪ノリ作品も多く、シリーズ全体が安易な作風と思われがちである。

しかし、今回イチオシする「月曜ドラマランド版ーゲゲゲの鬼太郎」は大変真面目に作られた「少年ヒーローもの」だ。

原作のおどろおどろしさはないが、80年代東映特撮物のテクニックをフルに使った明快な作品だ。（倒された妖怪が律儀に『爆発』するなどの、妖怪ファンには馴染めない効果もあるが…）『宇宙刑事シリーズ』の小林義明監督のダイナミックな特撮、『ルパン3世カリオストロの城』の脚本の山崎晴哉の手によるロマンスのせつなさ等が光る。

また、この作品放映2か月後から始まるアニメ3作目「鬼太郎」の正義感の強いキャラクターの土台作りの役目もしている。（メディアミックス戦略の一環だろう）

特に評価したいのは、主演の子役達の演技で、その年齢の少年・少女にしか出せないすがすがしさが感じられ、好感がもてる。

本作は1985年8月5日のオンエアの後、同年8月31日にフジテレビローカル枠で1回だけ再放送。ビデオ化もされず長年にわたって幻の一本になっていたが2001年夏にCS系放送局で久々に放送され話題を呼んだ。

本放送からすでに今日まで17年が過ぎた。特撮ヒーローの撮影方式も大きく変わってきた。（フィルム撮りからビデオ撮りへ…）キャストの中には故人になられた方もあり、歳月の流れを感じずにはいられない。今回の特集のチャンスを下さった水木伝説本部の方々に感謝するとともに、これを読むみなさんに鬼太郎の愛と勇気の闘いを知ってもらえたら光栄である。



←唯一のアイテム
キングレコード版サントラLP
（未CD化）…
映像は『東映100大ヒーロー
スーパーファイト』
に収録されている。
（約1分のハイライト）
…ブームの食玩で「月ドラ
フィギア」とか「根付」とか出
ないかな～（笑）

↙1番はズロットではなく
ミの本をよんでるキミだ～



BY　「月ドラ鬼太郎」語らせたら「日本で2番目」の木村香織

その頃キミは何をしていた？

1985年8月の出来事、風俗

☆**「つくば科学万博」開催中**　…大型映像を使った展示が主流。入場者低迷に悩む。

☆**輸入ワインに有毒不凍液混入**　…8月29日には国産ワインにも不凍液混入発覚

☆**8／2　旧日本海軍戦艦「大和」40年ぶりに沈没場所確認**　…『海の墓標委員会』が無人探査潜水艇「パイセスⅡ」で確認＊

☆**8／7　初の日本人宇宙飛行士決まる**　…宇宙開発事業団は毛利衛・内藤（現＝向井）千秋・土井隆雄の3名を宇宙飛行士に決定と発表

☆**8／12　日航ジャンボ機墜落**　…長野県山中に墜落。520名死亡の惨事

☆**8／21　第67回夏の甲子園PL学園2年ぶり3回目の優勝**

☆**8／24　ユニバーシアード　神戸大会開幕**（9／4まで）

★**テレビ番組**　NHK朝ドラ「澪つくし」「俺たちひょうきん族」「おはようスタジオ（初代）」ほか

TVアニメ「キャプテン翼」「キン肉マン」「Zガンダム」「うる星やつら」「北斗の拳」「タッチ」「マジカルエミ」「トランスフォーマー」「Drスランプ」「ダンクーガ」ほか

特撮・SFドラマ「兄弟拳バイクロッサー」「チェンジマン」「巨獣特捜ジャスピオン」「スケバン刑事」「テラホークス」＊ほか

★**劇場作品**　「マッドマックス　サンダードーム」「ポリスアカデミー2」「スペースバンパイヤ」「ランボー怒りの脱出」ほか

アニメ映画「銀河鉄道の夜」「オーディン　光子帆船スターライト」ほか

**◎現在も流通しているお札の（日本銀行券　D券）はこの前年（1984年）発行。
月ドラ劇中のねずみ男の台詞『この新渡戸稲造って誰かしら』はまだ目新しい5千円の肖像を見た一言だ。ちなみに新渡戸は明治の教育者で後に国際連盟で活躍した人物。
平成16年にさらに新券が発行される予定なので新渡戸氏とはもうまもなく「お別れ」
新5千円札の肖像は女流歌人・小説家の樋口一葉。**

> TVアニメのラインナップを見ると、この後リメイクされたり、続編が作られたヒットアニメがキラ星のように並んでいる。「キャプテン翼」ブームでロリコン趣味の少年版をさす「ショタコン」なるの単語が定着したのもこの頃…（笑）
> 一般ニュースでは、「日航機墜落事故」が衝撃的。尊い人命が失われた悲しい出来事だ。また「ワイン不凍液混入事件」の食品偽造疑惑事件も、手を換え品を変え現在まで続いている。我々が真の安全と平和を手にするのは、いつのことだろう…

＊その後大和の本格的な調査は1999年のTV朝日グループまで待つ　＊作品タイトルは一部省力しました。

ストーリー

賽の河原を思わせる、荒涼とした土地を通りすぎ霊界郵便配達人が、自転車に乗ってやって来る。

鬼太郎は、子なきじじいと百円を賭けて将棋をしていた最中だったが霊界郵便を受け取る。

それは、小学5年生の関京子という少女の妖怪退治依頼だった。

『学習塾からの帰りに何かに襲われ怖い思いをしました。またお父さんが夜中なると赤ん坊の恰好をしています。何だか家中が変になっています。もし本当に鬼太郎君がいるなら、助けてください』

その夜、京子の家には、雷鳴と共に妖怪どもが現れた。庭には吸血鬼エリートが舞い降り、居間ではおっかむろが生肉を齧り、奥の間からはあみきりが鋭利な鋏で切り付けてくる。

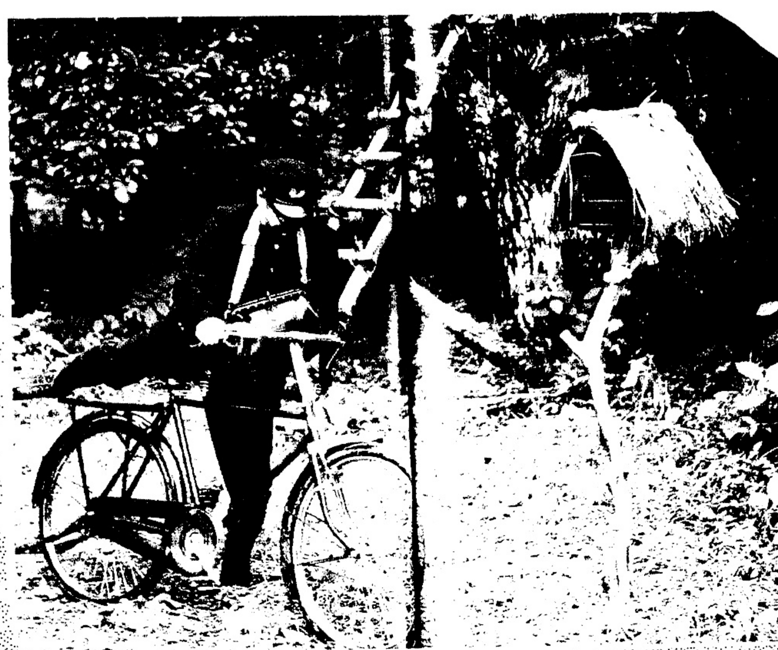
間一髪、鬼太郎が飛び込んできて撃退するが、普段はおとなしい妖怪たちが直接人間に危害を加えるのはおかしいと指摘。また、京子の父も依然挙動不審だ。

かたや、ねずみ男は、怪しい学習塾『ぬらり塾』の理事長として金集めに奔走していた。塾長の女ぬらりひょんに率いられたあみきり達3妖怪も塾に出入りしている。ぬらり塾の真の目的は妖怪王国設立の資金確保だ。日本中の美女をかき集めて妖怪の奴隷にし、男はソーセージに加工し食料にするという恐ろしい計画を、阻止する事ができるのか。

翌日、小学校の校庭で下校する京子を待っていた鬼太郎の妖気アンテナが反応する。妖気の発生源はタクシーで移動する京子の父だった。万一のために鬼太郎を呼び出せる「鬼太郎笛」を京子に手渡し、二人は一反木綿に乗って後を追う。

父親の目的地は、町はずれのビルの中の、男達を幼児退行させて骨抜きにする施設（ベビーハウス）だ。鞭を奮って人々を操る女ぬらりひょんの傍らには3妖怪とねずみ男がいた。施設に潜入した鬼太郎は、吸血鬼エリートに「異空間」※に送り込まれ苦闘。そのとき「鬼太郎笛」を聞いて京子のピンチを知り鬼太郎は「異空間」から辛くも脱出。妖怪達を追い払って、京子の無事を喜んだ。





また、夜が巡ってくる。なぜか遊園地で女ぬらりひょんとデートするねずみ男を横目に、エリートは鬼太郎打倒への決意を燃やす。

夜空を彩る三日月が消えと同時に、不思議な音楽が聞こえ始め、京子の家を見張っていた鬼太郎を、おびき出す。彷徨い歩いて気がついた場所は、エリートの館だ。ねずみ男は、最後のチャンスとして仲間になる事を勧めるが、鬼太郎はきっぱり拒否。縛られたまま注射を打たれ、砂に変えられてしまう。

目玉親父から知らせを受けた子なきと砂かけはエリートの館に乗りこみ、格闘の後、砂になった鬼太郎を回収、蘇がえらせた。

しかし今度は京子が自宅から連れ去られ、妖怪の人質になってしまう。

最後の決戦の為に、払暁の街を歩く鬼太郎に、子なき、砂かけ、一反木綿が駆けつけてくれた。向かうはぬらり塾！

そのころ、ねずみ男は塾の運営金着服がバレて死刑を宣告された。絞首刑の首縄をつけたまま、「無限地獄」※へ落ちていく。鬼太郎達もねずみ男を助けて無限地獄へ落ちたが、そこには人質にされた京子がいた。

「妖怪のくせに仲間を倒すとは？」鬼太郎に敵意と本性を剥き出しにした妖怪達が、襲いかかってくる。正義妖怪一同で力を合わせて敵を倒していったが、最後に残ったぬらりひょんは強敵だ。形勢が不利となるや、見上げ入道を呼び「秘法霊界流し」で鬼太郎と京子を「異空間」※に引き込んだ。ぬらりひょんの仕込み杖から発する光線攻撃に苦しめられたが、鬼太郎も体内電波発射の秘技で応酬。見事にぬらりひょんを倒す。

その後、鬼太郎は再び京子の学校を訪れた。元気な京子を遠目に見て、何も言わずに立ち去る。

急いで、京子は街中に鬼太郎を追いかけていくが、地下鉄の駅で見失ってしまう。

都市の雑踏を歩く鬼太郎親子とすれ違いに、霊界郵便配達人が交差点を渡っていく。

—新たな妖怪退治は、すでに始まっているのだ。—

＊「異空間」「無間地獄」はあくまで仮称であり劇中その名称では呼ばれてない。マニアはみんな「マクー空間」等（笑）と呼んでいる…









オープニングタイトル。地方局のものなので局名入りの

月曜以外に放送する地域もあったが
もちろんその時でも『月曜ドラマランド』!!

鬼太郎

人間と妖怪は仲良くしなくちゃいけないんだ！

ご存じ日本一の無敵妖怪少年。旧アニメ版や原作より、正義感がつよくアグレッシブなイメージ。（3作目アニメにもこの性格付けは引き継がれている）一人称はちょっとワイルドに『俺』と呼ぶ。

その名は日本中の妖怪達と妖怪を信じる子達の間に知れ渡っている。鬼太郎自身も内心小学校生活に興味があるようで、京子の教室を楽しそうに覗いたりする。

お馴染みの学童服を着ているが、撮影が初夏だったため紺ではなくグレー（ダンガリーを思わせる生地）の合服。ちゃんちゃんこも薄地で和服調の襟がついているのが特徴。髪型は自然な人毛風で、ワンレングスボブカット。そのため遠くから六浦鬼太郎を眺めた人は、女の子と間違えたという裏話を聞いたことがある。

依頼人の少女とお互いに恋心を抱くが、ラストでは離れ離れになる。…この辺り「カリ城」や「千と千尋～」の主人公達の関係に似ている…と思う。



演ずるは六浦誠（むつうらまこと）。当時は中学2年生。小学2年で劇団入りでデビューは「熱中時代（パート1？）」「ピンポンパン」の少年ユニット『ビックマンモス』を経て、昭和57年倉本聡脚本「君は海を見たか」で初主演。「北の国から'84」にも都会から来た少年の役で出演。大河ドラマの「武田信玄」等にも出演していた、けっこう華やかな芸歴を持つ子役。ちょっと上目使いで、クールな印象の表情をする。勿論女性ファンは多かった（笑）

鬼太郎については「アニメで知っていました」とコメントしていた。また活発にアクションをこなしていたが、爆発シーンでは驚いて先に逃げてしまい監督に『鬼太郎は一番強いんだから逃げちゃダメ！』と注意されたそうだ。

・いろいろな資料を使わせていただきました。写りがわるくてすみません





■その超能力　原作と同じで強い妖力と超能力を持つ。生命力が強く吸血鬼エリートに砂にされても（原作では液体）再生する。アニメ3作目以降登場の「オカリナ剣」などの武器は持たずに戦うところが潔い。「鬼太郎笛」という笛は持っていたが、鬼太郎が使うのではなく、依頼人の少女がピンチの時に吹く。

本当に髪から髪の毛が立ち上がる「妖気アンテナ」、同じく本当に髪から発射される「髪の毛針」（実写版では『針千本』というネーミングになっていた）等は観る者の度肝を抜いた（笑）

リモコン下駄は、飛ばして使うより、両手に持って妖怪をド突くという素朴な戦闘法に使用されることが多かった。また、敵の電撃を下駄で吸収することが出来る。

実写版オリジナルな能力では忍者の様に天井に張りついたり、スパイダーマンの様に壁をよじ登り、ついには立って壁を歩きはじめる。ーこのようにオリジナルの能力がもっとあってもいいと思う。

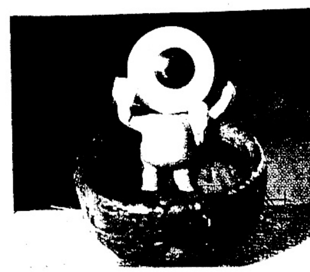




17年前からこんなキタローばかり書いています。

いつもの水伝と違ってすみません

目玉親父



鬼太郎に万一のことがあったらこの日本がエライことになるぞ！

いつも鬼太郎を見守っている目玉親父。その優しさは実写になっても変わらない。

しかし棒で操る人形のため、劇中動きに制限があったのが残念。鬼太郎の肩や頭にのるだけではなく髪の毛をかき分けて登場してくれたら…と思う。

エリートのトレーラーに轢かれてペッタンコになったが元どおりになった。またお碗に乗ったまま川を下って、砂かけばぁの元に辿りつくという一寸法師ばりの活躍をする。

アニメでは赤い目が本作では緑。大事件が起きたときは、その目が点滅しながら光る。

声の担当は、アニメと同じ田の中勇。第六回世界妖怪会議に参加していたが、舞台の袖で黒子に徹して表に現れてくれなかったのが残念。（別ページのレポート参照）

近年の大きな役はスターウォーズEP1の「ジャージャー・ビンクス」田の中氏が演じるとビンクスも可愛らしさ200％UP。…目玉のモンスターの声を三十年も演ってる役者は、ハリウッドにもいないだろう！これからも末永く目玉親父を担当してほしい。

一反木綿



呼んだか〜！

鬼太郎の呼ぶ声でやって来る空飛ぶ「木綿」。鬼太郎の懐に納まっていることもある。

水木先生の原作画もシンプルだが、それに負けず劣らずのシンプルな造形が心を打つ…。

台詞は少なかったが、特にアニメの様に九州弁をしゃべるわけではない。

クライマックスのぬらりひょんとの戦いは、鬼太郎と息のあった連系プレーをみせる。子なきや砂かけの様な「大人妖怪」を二人乗せても空を飛べる。しかし女ぬらりひょんの火炎攻撃に墜落してしまい、身体（布地？）の一部を裂いてしまった。再生は自力で出来るようだ。

声の出演は増岡弘。アニメ界ではマスオさんやジャムおじさんなどが有名だが、特撮怪人の声も相当アテている。

駄目じゃ！駄目じゃ！王将もって行っちゃ駄目じゃ！



鬼太郎とともに悪い妖怪と戦う正義妖怪のメンバー。「おぎゃあ・おぎゃあ」と啼き抱きつくと石のように重くなる…というのは原作とほぼ同じ。しかし当時29歳の赤星昇一郎が演じると若々しい印象になる。杖でなぐりつける等のアクションにも力強さを感じさせる。台詞も「わしは〜じゃ」のような老人的なものではなかった。

ギャンブル好きで鬼太郎と賭け将棋をしたり、砂かけ相手に花札に熱中していたりもした。ビリヤード屋にも入り浸っているようで、達者なキュー（ビリヤードの棒状の道具）さばきをしていた。子なきの世をしのぶ仮の職業は「ハスラー」（プロのビリヤードプレイヤー）かもしれない（笑）

演じる赤星氏は、元々、若手俳優のユニット（コメディアンではない）『怪物ランド』のメンバー。コントのラストに蓑を被って登場し「子なきじじいじゃ！夢みるぞ」のキメ台詞をいうのを十八番（おはこ）にしていた。なお本作ではあえてこの台詞を使っていない。赤星の起用には賛否があるが、その話題性だけによりかかっていない証拠にならないだろうか。赤星氏は現在も時折特撮もの（特に妖怪がらみのモノ）などに出演している。また続編をつくる時には赤星氏に、子なきを演じてほしい。ちなみに自慢のスキンヘッドを維持するには一日二回頭を剃っていたそうだ。



きょうの主役

赤星昇一郎

ゲゲゲの鬼太郎
夜7.30　フジ系

妖怪・子なきじじいを大熱演。自前のスキンヘッドに蓑、下は茶のブリーフといういでたちだ。「昔っからこの漫画、大好き。"子なき"のいじらしいキャラクターがいいですね」と楽しんでやっている。他の出演者がメークで大変なのに比べて、ドーランだけで済んじゃう。「衣装、メーク代がかからないんです」と本人も感心。●本名同じ。29歳。172cm、65kg。射手座、A型。東京都出身。田辺エージェンシー。

↑ザ・テレビジョンより

砂かけ婆



部品はちゃんとついてるかい？

鬼太郎と行動をともにする正義妖怪。ドラマではその登場は中盤以降となっている。直接手で砂をまくより、壺から砂を噴出させる（原作でいうと『砂太鼓』のようなものか）戦い方が多かった。

川岸のボートハウスに住み、（ボート屋の管理人という説もある）放し飼いにしている犬（白いスピッツ風の雑種と芝犬風の茶色い犬）や鶏の世話をしている。

またエリートに砂にされた鬼太郎の安否を気つかう優しさもある。

実は、子なきも砂かけも見上げ入道登場後の消息が不明。「異空間」にとりのこされてはいないだろうか。…もっとも半妖怪のねずみ男ださえ「現世」に戻ってこられたのだから、心配は無用だろう。

演ずるは喜劇界の大物、由利徹。さりげない仕種のなかにも円熟した表現力があり、男性が女性を演じるハンデを感じさせない。

残念ながら由利氏は、平成11年5月没。…もはやビデオの中でしかあえない人だ。

ねずみ男



俺の友情がホントにわかんねぇのか！

金儲けに目がない半妖怪。女ぬらりひょん（「ぬらりひょん」という名前で奇怪しいとおもわなかったのか？）にほれていたこともあり、ぬらり塾の理事として軍資金集めを手伝う…そぶりを見せて、根津（ねづ）みつ男 名義の口座に入金。横領がバレて死刑にされそうになる。他の妖怪達は、元々ねずみ男を信用していなかった。

雪の降る日に鬼太郎にラーメンを奢ってもらった思い出があり、都合の良いときに鬼太郎を仲間に取り込もうとする。

まだこの頃は若手だった竹中直人。その後順調に俳優として経験を積み今では日本芸能界にかかせない存在になった。本編中しきりに駄洒落をいうが、殆どが「寒い」ギャグになっていた。今の竹中氏に自由にねずみ男を表現してもらったら深みのあるキャラになるだろう。鬼太郎にむかって「お前子供のくせに重たいな」と言ったのはアドリブだろうか？

関 京子





ゲゲゲの鬼太郎君！本当いたのね！

塾の帰りに妖怪に襲われたり、父親が幼児の様に遊び惚ける現場を見てしまう等、受難の少女。子供が巻き込まれる凶悪犯罪が激増してしまったいまちょっと架空の話ではすまないような気がする。

始めは妖怪の存在を信じていなかったがクラスメートのアドバイスで神社の妖怪ポストに手紙を出す。彼女の危機に本当にやってきた鬼太郎に一目惚れしてしまった感がある。鬼太郎から「鬼太郎笛」という小さな笛をもらう。しかし鬼太郎が別れも言わず去っていってしまったので、笛は彼女の手に残ったはず。

京子を演じた秦暎花（そうえいか　という呼び方でいいのだろうか）という子役は台詞回しも旨く、少女らしいかわいらしさを持っている。よく3作目アニメの天童夢子と設定が似ているといわれる。いずれにしても人間のヒロインは鬼太郎と結ばれないものである。

後半は悪い妖怪達にさらわれ、ピアノ線で釣られっぱなしの状態になる。火薬もドンドン炸裂するし大変な撮影だったと思う。

クラスメート



ふざけんな！学校行ってない子どもなんていないはずだぜ！

・女子の友達のうち、原作の「鬼太郎」を読んでいる子がいて、妖怪ポストに手紙を出すことを勧める。小学生ながらエライ！水伝に入会してくれないだろうか。（笑）
開いていたのは、やや大判の版形だったので「サンワイドコミックス」かと思ったがノンブルの位置が違う。どこの出版社のものだろうか。

・京子は男子の友達も多い。クラスのアイドルなのだろう。京子に近づく余所者（よそもの）の男（鬼太郎）に警戒をいだきキツイ態度をとる。妖気アンテナを立てたり、一反木綿で飛び去る京子達を見てビビッてしまう。
「鬼太郎君はどこの小学校ですか？」と尋ねてくる眼鏡の子に、情報屋のイメージがある。





女ぬらりひょん

気の毒どころかみんなハッピーだよ。たとえひと時でも、ママの懐に抱かれているような甘〜い無邪気なグッドタイムが過ごせるんだもの。

多分「女に化けたぬらりひょん」という意味だろう。本体は妖怪画集に出てくる着流しを来た男の妖怪だ。「ぬらりひょん」は石燕の絵では解説の無い妖怪だった。駕籠から飛び出したぬめり者（遊廓に通う放蕩者）のイメージのようだが。昭和に入ってから民族学者の藤沢衛彦という民族学者が、「妖怪画談集」で「妖怪の親玉」としたので以後そのキャラで定着した。

漫画原作では、蛇骨ばばぁと古代に流されてしまったどこか憎めない悪役として描かれていた。－つまりこの「月ドラ版」が水木しげる作品における「妖怪総大将デビュー」。さて「女ぬらりしょん」については『遊廓に通ううちに艶っぽい女の姿は人々（特に男）の心を掴む、と考え以後美しい女に化けて誑かすようになった…』という大胆な仮説を考えてみた。（笑） 人間体の時には主に鞭を武器に使うが、口から火を吐くという美女には相応しく無い様な荒技を披露する。

また、閻魔大王に化けて「ねずみ男」を有罪に陥れようとした（もっとも悪いのはねずみ男だ）

演ずるは夏樹陽子。1985年当時に発売された「OTV」という本の中では「2時間ドラマのシャワー要員」と書かれている。月ドラでの入浴シーンはなかったが（笑）銀のスパッツに革手袋、というSM風スタイルを堪能させてもらった。妖怪王国設立の資金集めの為に、その名を冠した「ぬらり塾」を開く。かなりヘンな名称の塾なのに、入塾希望



見上げ入道



原作「妖怪獣」より
しかし「男はソーセージ」というのは（笑）



者が殺到していたのは謎。資金集めの隠れ蓑に使っていただけなので、特に子供を妖怪王国の為に啓蒙しようという意図はないようだ。

『男をソーセージにして、美女は奴隷』という妖怪王国の形式は、原作の「妖怪獣」の「たぬき王国」の計画を元にしている。

ドラマのラストでは、その正体を表して「しこみ杖」から光線を発して鬼太郎達を苦しめた。ピンチの時にはシカの角のような突起物をだし、頭部を肥大化させて見上げ入道を登場させた。画面では「見上げ入道」と同一の妖怪にの様にみえるが、講談社の「TVマガジンデラックス　ゲゲゲの鬼太郎」では『…頭部をふくらませて見上げ入道を呼んだ』という記述がある。おそらく別々の妖怪だろう。





ぬらりひょんの呼び出しに山の向こうからあらわれた巨大妖怪。殆ど怪獣のような扱いだ。「秘法霊怪流し」で京子と鬼太郎・一反木綿を異空間にとばす。原作では子供をさらって、「妖怪学校」で妖怪するためにしごいていたが、「ぬらり塾」の設定の原点はここらにあると思われる。ちなみに京子の同級生の女の子が読んでいたのは原作の「見上げ入道」の回。（朝日ソノラマ　サンワイド版だと２９７～２９９ページ）

特に劇中見上げ入道を倒した描写はないので、何処かで生き延びているかもしれない。



京子の両親

↑母親の写真は53Pをみてね!!



◎原作「エリート」の回
目玉親父におどろく
大臣秘書..

◎父親の写真は用意できませんでした。でも右のセリフはドラマの中で父親が口にしています
「月ドラ」は初期の原作のエピソードが中心です。

・母親の名前は「あき子」。妖怪の存在を信じていない現実的な女性だが、京子にはたいへん優しい。あみきり達が自宅を襲ってきたときは、失神してしまう。ナイトシーンの多いドラマなので、衣装の殆どがネグリジェだった。

演じている木村友里は新劇系の舞台女優。「タレント名鑑」によると、声優の安原義人氏の奥さんらしい。

・父親（名前は不明）は商事会社の部長。幾らバブル期とはいえ、都心に館のような一戸建ては贅沢すぎる。（親の遺産だろうか）夜になると、リビングルームで乳幼児の衣装を着て遊び惚ける。（いわゆる「赤ちゃんプレイ」に近い）そののち昼間も正気でいられなくなり、タクシーを飛ばして、ビルの中の「ベビーハウス」（入場料をがっぽり取られる）に通うようになる。鬼太郎達が妖怪退治をしなければ、ソーセージにされて喰われたはず。妖怪に目を付けられたきっかけは不明だが、きっとバブル期特有のオーバーワークで心身共に疲れていたところにつけいられたのだろう。俳優は石山律雄。

霊界郵便配達人

「……」



実写版オリジナルキャラ。古風な郵便配達員の恰好をして、どこからともなく自転車に乗ってやって来る。

人間界と妖怪世界を結ぶ役目を持っている『異世界の住人』だ。

我等の水木しげる先生が、自ら演じて下さっている。（当時の先生のコメントは別ページに有り）台詞は一言もないが、「沈黙は金なり」だ。貫禄を感じさせる。

先生は、ビデオ版「妖怪奇伝 ―魔笛エロイムエッサイム」でも郵便配達人で出演されている。

―いつかはキミの街にも集配に来るかもしれないよ…―

あみきり



妖怪が堂々と威張って暮らせる日が、もうそこまで来ているんですもの！

「美しいものをみると切り裂いてしまう」というどの妖怪辞典を見ても書いていない設定も凄いが、バルタン星人とアメリカザリガニを混合したような造形はもっと意表をつく…ちなみに、現金やぬらりひょんの鞭など特に美しくない物も切る。単に切り裂くのが好きなのだろう。「ナポレオンみたいな顔」とねずみ男に言われた。

人間体の時に、通塾するかわいい子にチェックをいれておいて夜道で襲うという卑劣なロリコン体質を露呈する。服装やオカマ言葉、鋏を始終手にしているところからカリスマ美容師（当時この言葉はなかった）をイメージしているのだろう。

また「妖怪王国計画」は原作の「たぬき王国計画」が元になっていることは別項でのべたが、あみきりには「女狸」の設定の名残が感じられる。

クライマックスの戦いのとき、なぜかあみきりだけ爆発していない。スタッフがうっかり忘れたのか（笑）？それとも時間の都合でカットされたのか？…どちらにしても、生き残って日本の何処かで鬼太郎にリベンジするチャンスを狙っているのかもしれない。

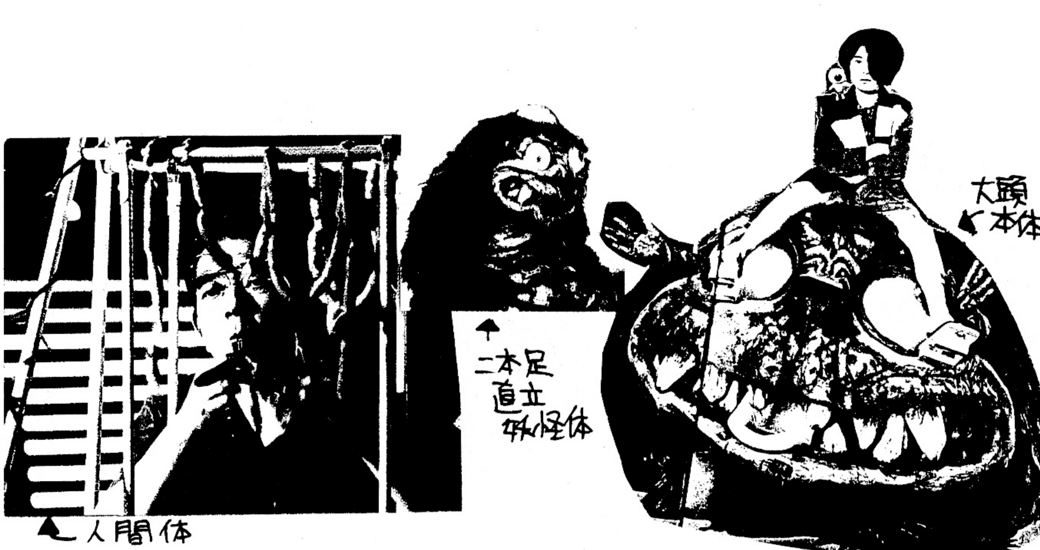
ぬらりひょんが倒されたから「手下」も倒れたか？

あみきり役のうえだ峻はOV版「〜魔笛エロイムエッサイム」ではねずみ男を演じている。また「キカイダー」のハンペンの役も特撮ファンの記憶に残る。余談だがハンペンのホームズ風コートは「河童の三平」の六兵衛の着ていたチェクのコートと同じだろうか？





原作「妖怪獣」より女たぬきのセリフ
人間体あみきりのセリフとほぼ同じ。
上のキャラはジブリ映画「平成たぬき合戦ぽんぽこ」の"火の玉のおろく婆さん"のモデルになっている。



おっかむろ

裏切り者めが！墓場へ帰れ！ゲゲゲの・・・鬼太郎！

3作目アニメの第一話にでてきた「たんたん坊」とほぼ同じキャラ。ただし痰ははかないし（実写でやったら大変だ！！）目玉の横から腕がはえていることも違う。この妖怪だけ人間体→二本足直立妖怪体→大頭本体　と2段変身する。二本足の時の毛むくじゃらの身体はたぬきをイメージしているらしい。大食漢の妖怪で、その気になれば街一つ喰いつくしてしまう…。二本足体の時の機動力と大頭本体の時のパワーと使いわけ、一時はあわや鬼太郎を頭から飲み込もうとした。最後には、一反木綿に目玉を塞がれたところに「ライダーキック」ならぬ「鬼太郎キック」をくらって崖から落ち、盛大に爆発して果てる…。

真っ赤なシャツに黒いベスト、ポマードぺったりの頭髪、古臭い2枚レンズの遠近両用メガネ…そして箱ブランコに揺られながら（この遊具も危険という事で近年使用自粛になっている）絶え間なくソーセージを食べる。変身前からすでに怪人の様相だ。

あみきりの　人間体が「カリスマ美容師」ならばこっちは「場末のキャバレーの支配人」の雰囲気だろうか（笑）大食いというイメージに似合わず細かいことに気がつき「島流しは明治5年に終わった」と訂正したりもする。またねずみ男が街中でインチキ説法をしている時、あみきりと共に（もちろん人間体）「サクラ」になって見物人を誘導した。

なぜか彼だけ「ようかいおおごく」と発音する。

演じる汐路章は数々の時代劇で悪役を演じてきた。特撮モノでは映画「ワタリ」や「仮面の忍者赤影」の魔風雷丸の出演歴がある。ＯＶ版「魔笛エロイムエッサイム」ではぬらりひょん役を怪演していた。

しかし汐路氏もすでに故人。（94年10月没）悪役のイメージとは裏腹に優しい人柄の持ち主だったそうだ。－しかし本作中ソーセージは何本食べたんだろう？－



のびあがり

京子の小学校の体育館に現れた妖怪。バスケットボールをもて遊んでいた。特に何の被害もでなかった。

鬼太郎は「こんな所にも妖怪が。これが何の兆しなのか？」と訝しんでいたが、確かに何の兆しだろう（笑）「〜入道見越した！」の掛け声で消えた。

スタッフは「学校の怪談」的要素を意識したのかもしれない。



吸血鬼エリート

伝統あるヨーロッパの吸血鬼の中でも、血と闇の栄光の歴史を誇る！

マントにシルクハットという一般的な吸血鬼スタイル。ヨーロッパからやって来たので、「日本で有名な鬼太郎」のことは知らなかった。

エレキギターを使った音楽催眠を得意とし、鬼太郎をおびきだすことに成功した。またマントを使って相手を「異空間」に送り込んだり、ステッキの先から電撃を出すことも出来る。さらに自力で空を飛ぶ事も可能で、一反木綿を振り切って逃げた。

弱点は日光。陽が照っている間は活動力が鈍る。そのため、折角砂に変えた鬼太郎を子なき爺に取り戻された。血も吸わないと生きていけないが、特に美女の血でなくともよさそう。京子の父親を始めとする男共の血を吸って、骨抜き（幼児退行）にした。

他の妖怪達と違い、戦闘時に変化することはない。ただし自らコウモリに化けたり、コウモリを手下に使うことがある。

最後は子なき爺の杖で「一本足打法」風打撃に打ちのめされ、盛大に爆発した（笑…これはもう様式美なのだ！）

エリート役の佐渡稔は他の作品でも吸血鬼役の経験がある。「宇宙船」誌では『唯一原作と似てない』と厳しい突っ込みを入れられたが、漫画のような顔の役者はいないだろうなぁ…（やっぱり佐野史郎氏かな　笑）

「名セリフで振り返るキャラクター達」おわり

おわび 予告← 65頁の「佐野史郎さん」のお名前の漢字まちがっています。

月ドラ鬼太郎不完全ロケ地ガイド



大塚駅に『空蝉橋 北』と表示のある信号機は2ケ所。たぶんこっちであろうかと…8

★空蝉橋

ぬらり塾のある設定の交差点。ＪＲ大塚駅付近に実在する。（そういえばこの頃はまだ国鉄の時代でしたナ）因みにぬらり塾の内部は「東映動画」の社屋内での撮影。（アニメーターの知人よりの情報）そういわれてみれば内装が古臭い。

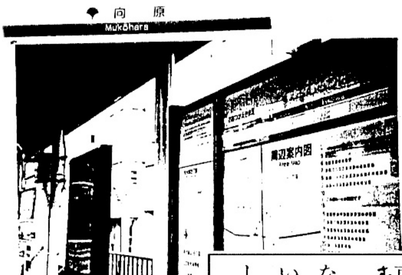




↑JRの線路をはさんで…塾の外観はこの辺のビルか？

★鬼太郎笛を渡した場所

東京に唯一残る路面電車荒川線の「向原」（むこうばら）の乗り場で。（早稲田方面行）なお、ラストで鬼太郎がなぜか乗っていった地下鉄（丸の内線）の駅は判明しませんでした。残念。↑新大塚か？



↑時刻表等がすでに新しいものに変えられています。屋根も当時はなかったですね。
新大塚は大工事をしていて地上出入口に当時のおもかげはなし…

★京子の家

ここも東映系ロケの定番の「旧古河邸」。庭では鶏も飼われていたが、どうやらおっかむろに食われたようだ。（泣）個人の邸宅としてはあまりにも贅沢だがそれゆえに目立って妖怪達に狙われたという仮説も成り立つ。原作の「大臣の家」という設定の名残も感じられる。



↑駅ばりポスターからムリヤリ撮影…光ってます8

★鬼太郎の家

「宇宙船」の情報だと『都内の某公園』にセット設営。東映系ロケの定番石神井公園ではないかと思い、当時園内を探索して痕跡を探したがみつからなかった。（立ち入り不可区域もあるしネ）ヒマだったんだなぁ。その頃の私（笑）



★ねずみ男の説法

独特のタイルの形状から新宿西口とわかる。（西口に出る都度に鬼太郎に会えないかと思う私 爆）その後ねずみ男を追いかけて地下通路の「目玉のモニュメント」の前を駆け抜けたりと新宿ロケは結構多い。ラストの交差店を渡る水木先生のシーンもこの近辺の撮影。



この頁の図版は「学校建築の冒険」より使用.

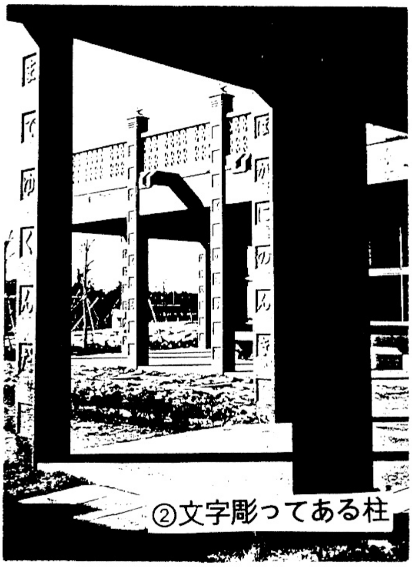


①中庭

中層棟、小屋棟を組み合わせた教室棟　撮影：山田信二

★京子の学校

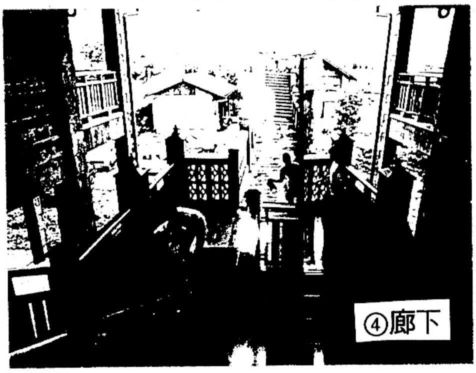
埼玉県にある公立学校「笠原小学校」がロケ地。学校生活を快適に過ごす為に工夫された画期的な建築様式を取り入れている（建築や設計に携わる人の間では有名な学校のようだ）放映を見た当時、その独自の形状から私立の宗教系学校ではないかと噂したが、地域の子供なら誰でも通える公立学校であることがうれしい。そんな学校をロケ地に選んだスタッフの作品への愛情が偲ばれる。子供をめぐる環境はここ数年大きくかわってしまった。笠原小に限らず学校という場所が、日本中の子供が健やかに学びはぐくまれる処であってほしいと願う。



②文字彫ってある柱



③音楽室



④廊下

①通称おべんと山。クラスメートが原作漫画を読んでいた場所

②④鬼太郎が歩いていたところ

③京子が音楽の授業をうけていた

⑤妖気を感じた鬼太郎が走りぬけていったところ

★ねずみ男達が食事をしたレストラン

「ヴィクトリアステーション」の店名が確認できる。ローストビーフが名物だったチェーン店の一つ。客車を利用したしゃれた店舗。残念ながら親会社の経営不振で99年に全店閉鎖された。一度食べにいきたかった…



⑤藤棚のあるグランド

その他…

★エリートの屋敷は都内の某研究所の跡地らしい。

今も残っているかは不明。

★女ぬらりひょんとねずみ男がデートした「メリーゴーランド」のある遊園地の場所も不明。

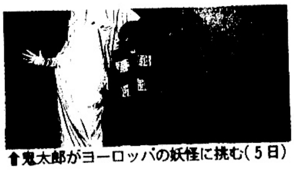
後楽園遊園地や向ヶ丘遊園地ではないことはたしかだが…。（笑）

the 人・気・番・組　　the Previews

関連記事
水木先生のコメントが載っているものを中心に…

■月曜ドラマランド
月曜夜7.30―8.54　フジ系

5　■ゲゲゲの鬼太郎
原作＝水木しげる／脚本＝山崎晴哉／監督＝小林義明／出演＝六浦誠、竹中直人◉手紙を書いた少女のもとへ行った鬼太郎は、妖怪王国の建設を企む悪妖怪を発見。退治を試みるが…



⬆鬼太郎がヨーロッパの妖怪に挑む（5日）

↑ザ・テレビジョン（7/27号）

ザ・テレビジョン



鬼太郎を囲むのは竹中直人のねずみ男、怪物ランド・赤星の子なきじじい、由利徹の砂かけばばあ。みなさんみごとなハマリようで…、ガハハッ

帰ってきたゲゲゲの鬼太郎。世は霊感ブーム。
うれしいナうれしいナ、オバケにゃ学校も試験も仕事もない。



霊界郵便配達人役の水木しげる氏

ドラマになって「ゲゲゲの鬼太郎」が帰ってくる。しかも活劇になって。映画「ゴーストバスターズ」「グレムリン」「ネバーエンディング――」とオバケ、妖怪がアイドルになっちゃう昨今、ここはひとつ、その手の作品の日本代表作に大いにガンバッてもらいたい。特撮シーンだってあるし、テレビ業界関係者、クロウト筋ではこの夏一番の注目作がこのドラマなんだ。水木しげるの原作マンガが大ヒットして、TVアニメになったのが昭和43年。「これを機にいまの新しい子供が鬼太郎を友だちにしてくれたらうれしいですネ」と水木しげるさん。

その水木さんが番組の最初と最後に霊界郵便配達人として登場する。「セリフはないけど、ヒチコック監督流にネ。扮装で足にゲートルまいたけど30秒でできた、40年ぶりだったけど…」。水木さんは戦争で片手を失ない、片手だけでマンガを描いてきた人。初めて鬼太郎に出会う少年、少女諸君、妖怪は日本製が最高だヨ。

新聞テレビ欄

ワイドショーに六浦、赤星それぞれのコスチュームで出演!! 撮影こぼれ話を披露！

8 フジテレビ

00 巨人の星◇27番組
30 モーニングワイド
…
…氏帰国
捜査大詰め〃▽…
不貞発言に反論◇写真
00 らくらくTOKIO「鬼太郎からホラーまで猛暑に涼しい恐怖シリーズ一挙公開〃」
11.30 レポート11・30 露木茂　小出美奈
00 笑っていいとも！「…決勝大会…」
…
中国ゴルフ…
紙芝居で語りつぐ空襲
00 女子プロレス　ジャガー・デビル黄金コンビに山崎・立野が挑戦〃
30 月曜ドラマランド100回記念特別企画「ゲゲゲの鬼太郎・真夏の夜、恐怖の妖怪軍団と死闘が始まる〃」水木しげる原作　六浦誠　竹中直人　赤星昇一郎　夏樹陽子　由利徹ほか◇8.54

「ゲゲゲの鬼太郎・真夏の夜・恐怖の妖怪軍団との死闘が始まる!!」です。

細かくて読みにくいかっ。

↑ザ・テレビジョン

大めし食いの河田略でいい友！

フジテレビ担当記者のレポート

鬼太郎、ドラマで復活 生みの親も特別出演

夏ともなれば、出てくる出てくるお化けに妖怪、モンスター…。そう、フジの「月曜ドラマランド」にも出たあ～！〝ゲ、ゲ、ゲゲゲのゲ～〟でおなじみの「ゲゲゲの鬼太郎」が8月5日によみがえった。今までアニメでは制作されたが実写では初めてのこと。原作はいわずと知れた水木しげるさんの異色妖怪漫画。

そういえば、小学生のころ、水木先生の家にサインをもらいに行った思い出がある。本誌創刊のときもイラストをお願いした。いろんな話を知っているおもしろい先生だ。「鬼太郎を知らない子供たちにも、見てもらえる」とドラマ化を喜んでいる。霊界郵便配達夫という役で出演もする。「ヒチコックの登場を意識して、出てみました」といっていた。

企画を担当したフジ編成部の前田和也さんも「ボクも漫画は読んでましたね。先生にドラマ化の話をもっていったとき、妖怪のことに限らずユニークな話をたくさん聞いてきました」。

妖怪をつくり出す人って、意外とひょうきんなのかも…。



※特に日付の無い記事は放送週・放送日のものです

5月

フジ系

夜7.30

84分

月曜ドラマランド

ゲゲゲの鬼太郎

世界征服を企む邪悪な妖怪と、おなじみのヒーロー・鬼太郎ら、善良な妖怪との、秘術をつくした闘い。

▼鬼太郎(六浦)のもとに、京子(秦暎花)という小学生から、霊界郵便が届いた。ハサミを握った手が、地中からニョッキリ出て、襲ってきたという。

さっそく、一反もめんや目玉の父さんと共に、鬼太郎がかけつける。

襲ったのは、美しいものを見ると切りたくなる妖怪・あみきり(うえだ峻)だった。

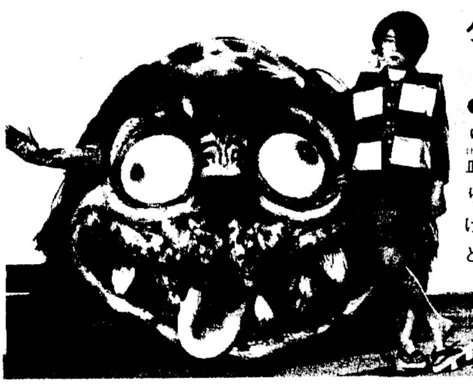
吸血鬼エリート(佐渡)や、ねずみ男(竹中)が出没し、町内は、妖気に満ちてくる。

そのはず、学習塾の塾長に化けた、悪い妖怪の親玉・ぬらりひょん(夏樹)が、世界征服を企んでいたのだ。

原作……水木しげる
脚本……山崎晴哉
監督……小林義明
制作……東映
〔出演〕
鬼太郎………六浦誠
ねずみ男……竹中直人
子なきじじい…赤星昇一郎
砂かけばばあ…由利徹
塾長
ぬらりひょん …夏樹陽子
エリート……佐渡稔
霊界郵便配達夫…水木しげる

↑ザ・テレビジョン!「地中からハサミは出てこなかった…」

テレビマガジン'61年10月号付録
↙「15周年記念・全ヒーローアルバム」より



ゲゲゲの鬼太郎

(昭和60年9月登場)

●人間をおそう，ぬらりひょんがひきいる吸血鬼エリート，あみきり，のびあがり，見上げ入道，たんたん坊などをたおしたぞ。

(放送日ちがい
あっかむろがたんたん坊だ!

週刊TVガイド →
子なきの左手がへんだ!

ゲゲゲの鬼太郎、妖怪退治に大活躍

月曜ドラマランド
「ゲゲゲの鬼太郎」
フジ 後7・30～8・54



地球がよう怪に乗っとられる

山奥に住む鬼太郎(六浦誠)に小学6年の京子(秦暎子)から手紙が来た。身の回りに不思議な出来事が起きているという。京子の家に行った鬼太郎は、彼女が通う塾の塾長(夏樹陽子)がよう怪で日本中の男をソーセージにし、よう怪王国を建設しようとたくらんでいると知った。砂かけばばあ(由利徹)らの協力を得て鬼太郎はよう怪退治に乗り出す。

●去る八月五日、心待ちにしていた「ゲゲゲの鬼太郎」が放映されました。やはり、新作ゴジラのように、不安が先に立っていました。にもかかわらず、見事に不安を取り払ってくれました。素晴らしかったです。脚本もよく、ストーリーも見事で、キャスティングもピッタリ!特にねずみ男の竹中直人さんは。しかし、女ぬらりひょんに、夏樹陽子さんが出てきたのにはびっくり、でも、ぴったりでしたね。そして、さすがに小林監督だと思わせるような画面で90分くぎづけでした。無論、ちゃあんとビデオに録ってあります。

造型も、さすがはレインボー造型企画で、見事なものです。よくも妖怪をあんなリアルになァ……なんて思いました。

その半面、どうしても文句がでます。全体的には、演出の細かい所(例えば、京子さんが、初めは来ないでといっていたのに、ついつい助けてー!と叫んでしまったところなど)が見られましたが、やはり、ずさんなところが見えるんですねェ……これが、例えば、これはジャスピオン、バイクロッサー、チェンジマンにもいえるのですが、爆発すると、すぐに吹きとんでしまったり、一反もめんと共に落ちる場面では、手をふるのがわざとらしく、落ちていく感じ、つまりスピード感がないのです。もっと速く落ちる筈だし、あんなにまでして手を振らなくても……という感じがします。

もう一つつけ加えるのなら、女ぬらりひょんが、とてもぬらりひょんに見えず、エイリアンのように見えたこと、また、火を吹くのに、いかにも火炎放射器のように、ふり回したりして、かえって不自然に見えます。また、井戸に落ちる場面では、周りが真っ暗で、ただ馬鹿みたいに手足を振り回しているようにしか見えません。やはり、上から、または下からのアングルで撮るべきでしょう。まあ、ウチのテレビは調子が悪く、真っ暗に見えただけのことですが。

できれば、鬼太郎のお父さん、もう少し何とかして欲しかったですね。人形アニメか何かで。スターウォーズのヨーダなんで、すごいんですからね、指人形なのに。

以上、かなり手厳しいことを書いてしまいました。でも、これが少しでも、これからの作品に役立ってくれれば……と思うのです。まあ、本来なら、フジテレビの方に出すべきなんでしょうが。

(静岡県　野上　晴記)

↑宇宙船 85年12月号の読者コーナー…
ファンのつっこみどころはみな同じだ!

↓読売新聞 8月13日付
まったく違う2つの意見が載っている…。ちなみに13日の一面は日航機事故の第一報!!だった。

▼放送塔▲

期待外れだった"鬼太郎"　五日のフジテレビ、月曜ドラマランド「ゲゲゲの鬼太郎」を見ましたが、かつてのアニメの面白さを知っているだけに期待外れでした。ドラマの配役は楽しかったけれど、やたらと現代風にアレンジをしていて、むかしの悪魔君や河童の三平といった妖怪(ようかい)物に見られたおどろおどろしたところがなく、鬼太郎ももっとほのぼのとしてほしかった。(東京都清瀬市・学生・大森義雄23)

愛らしい"鬼太郎"の続編を　五日のフジテレビ「ゲゲゲの鬼太郎」は、原作のもつおどろおどろしいムードはなくなってしまったが、現代的で愛らしい鬼太郎像を作り出せたと思う。なによりも片目、下駄ばきで鬼太郎を熱演した六浦誠に拍手をしたい。ぜひ続編を期待する。(横浜市金沢区・アニメ彩色業・木村香織22)

キミたち ちゃんと拍手してるか～(笑)

キャスト

六浦　誠
竹中　直人
夏樹陽子

石山律雄
木村友里
赤星昇一郎
佐渡稔
汐路　章
うえだ峻
奏　暎花
後根宣将

日本児童

高月　忠
木村　修
泉　福之助
長江英知
小山昌幸
福岡康裕
久慈英朗
高橋利道
庄司浩和
加門　良
曽川　留三子

声の出演
田の中勇
桑原たけし
増岡　弘

水木しげる（特別出演）

由利　徹

スタッフリスト

企画　前田和也（フジテレビ）
　　　吉川　進

原作　水木しげる
脚本　山崎晴哉
音楽　馬飼野康二（サウンドトラック盤・キングレコード）
主題歌　「ゲゲゲの鬼太郎」
作詞　水木しげる
作曲　いずみたく
編曲　大柿隆
唄　熊倉一雄
「カランコロンの歌」
作詞　水木しげる
作・編曲　いずみたく
唄　加藤みどり
みすず児童合唱団
ｷﾝｸﾞﾚｺｰﾄﾞ　ｋ０７５－３０７２

撮影　瀬尾　修
照明　上原福松
美術　北郷久典
助監督　大井利夫
　　　　近藤杉雄
録音　太田克己
編集　菅野順吉
選曲　秋本彰
効果　原田千昭
記録　佐々木禮子
擬斗　金田治
（ジャパン・アクション・クラブ）
装置　金子光夫
装飾　装美社
操演　羽島博幸

人形　スタジオノーバ
衣装　東京衣装
特殊ﾒｰｸ　ビアンコ
美粧　佐藤泰子
ｷｬﾗｸﾀｰ製作　前澤範
レインボー造型企画

ﾋﾞﾃﾞｵ合成　東通ECGｼｽﾃﾑ
山本博司　近藤弘志
前岡良徹　鈴木康夫
柳田正憲　伊藤良弘

現像　東映化学
協力　横浜シネマ
進行主任　井田喜一
製作ﾃﾞｽｸ　田辺史子
製作担当　鈴木勝政
ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ補　日笠　淳
ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　西村政行

監督　小林義明

製作　フジテレビ
　　　東映

１９８５年8月5日放送
正味７０分



もしも今、続編をつくるなら

こんなの見てみたい!

いやいや…「もしも…」などとまだるっこしい事ではなく、絶対に制作して欲しい!
そんな悲願にも似た思いを、アイディアとして書き連ねてみた。

■放送枠　「日テレ」が夏休みに必ず「ル〇ンⅢ世」や「ジ〇リ映画」を放送するのを習ってフジの夏の恒例スペシャルとして定着させる。(「北の〇」シリーズが完結したのでそれに変わる企画として放送するべし　笑)時間は90~120分位が適当。地上波が希望だが、多チャンネル時代なのでCSやBS放送後にビデオ化…というのもイイだろう

■映像方式　光と闇の微妙なコントラストが美しい劇場映画「フィルム」撮りでやって欲しいが、現在では無理か?(今ドキTVドラマをフィルムで撮るのは「私立探偵濱マ〇ク」シリーズのみになった。今やライダーシリーズもビデオ撮りだ。)

■キャスト　★実力のある12才から14才くらいの元気な子役少年を鬼太郎役に起用するいっそのこと歴代の鬼太郎役に「鬼太郎ボーイズ」(仮)等のグループを結成ジャ〇ーズに対抗させる。↑男の子に演じさせるのが必須条件!!

★そして今回こそ猫娘を登場だ!鬼太郎と年齢のあう猫のイメージのある活発な少女希望話題作りのためにアイドルを起用してもかまわないと思う(たとえば「〇ー娘。」とか)「鬼太郎夜話」のキャット寝子のようにアイドル歌手の設定にするのも中々イケル(笑)そういえば「さ〇や妖怪伝」のヒロインは「〇HAガール」出身の娘だったナ。↑名字になってない

★ぬりかべも忘れずに登場させよう。ぬりかべの大きさを表現するのには、着ぐるみでもCGでも大変だろうが、ソコはがんばっていただきたい。

★子泣きじじいには、別ページでも書いたけど、また赤星昇一郎に演ってもらいたい。砂かけばばぁはOV版の奥村公延(朝ドラ「さ〇ら」に出ていたね)も捨てがたいが、芸達者な女優に砂かけの女性らしさを表現してもらってもいいだろう。

★霊界郵便配達人は誰がやるのがふさわしいだろうか?もちろん水木先生が一番なのだが多忙の身の上なので別の方でも…個人的には妖怪に大変造形が深い佐野志朗が希望。

■ロケ地　1985年当時と比べて状況は良いと思う。まずすっかり有名になった境港の「水木ロード」水木プロのある調布の「天神通り」そして徳島県の「児啼爺石像」…その三箇所を点と線で結んで怪事件が…(笑)ホントに水木ロードの銅像から抜け出たように街を闊歩する鬼太郎を見てみたいモノだ。

■戦う相手　またぬらりひょん一味と戦うのもヨイけれど、猫娘の対戦相手として女性妖怪がいると面白い。絵物語にある「魔女人形」をエピソードとして使ってみたらどうだろうか?箒に乗った魔女と一反木綿に乗った猫娘(もしくは鬼太郎)との間に繰り広げられる空中戦は「ハ〇リポタ」の「ク〇ィッチ」のシーンを越えるモノにしてくれたら最高!(笑)

製作関連各社サマ!もし御入り用なら企画書書いてご持参しますぜ!

(ここまでの担当木村)



悪魔くん

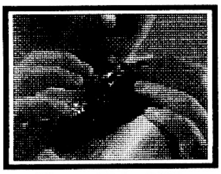
放映：フジテレビ
昭和61年9月15日（月曜日）19時30分〜20時55分

◎登場人物紹介

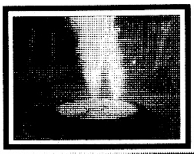


悪魔くん・伊藤真吾

この世でただ一人、『ソロモンの笛』を吹くことができる選ばれし人類。遊び感覚で悪魔メフィストを呼び出し『人類を平和な道へと導く契約』を結ぶ。劇中にて、特別な才能を発揮する所はなく、終始受け身の役どころ。



●ソロモンの笛
悪魔との契約が切れると吹けなくなる！



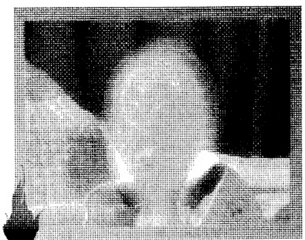
●魔法陣
こんなにショボイものでも悪魔は呼び出せる！

悪魔メフィスト



偉大なる悪魔メフィスト。悪魔くんに呼び出され人類平和に協力を約束するも、その手腕を発揮することなく滅亡の道へと方向転換。フラストレーションにより、人間不信となり妖怪ストレスを出産。それもこれも、女好きからくる身から出た錆といったところ。恵に一目惚れするところを見る限り、人間の女性が好みらしい。よく考えると、彼が一番純粋でやる気があったのかも？呼び出された環境が一番の原因ではなかったか。

妖怪ストレス・エリザベス



メフィストのストレスが実体化。物に乗り移って操ることもできる。人間のストレスを吸収したり、与えたりすることも可能。父親に似てか、恵を追って学校で一騒動を起こし疑いをかけられたメフィストが破滅への道を選ぶきっかけをつくる。



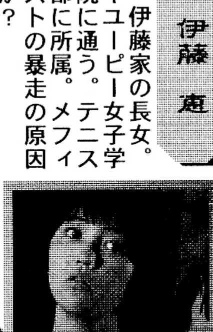
緑色のタコの様な形状で、つねに発光している為、実体をとらえ難くなっている。学院のキユーピー像に取り憑いてメフィスト共に破壊を始めるが、暴走をはじめた為、退治される事となる。

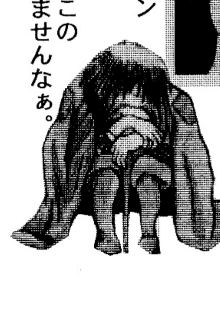


メフィストと『人類滅亡の道へと導く契約』を結び混乱を起こし始める。

伊藤恵

伊藤家の長女。キユーピー女子学院に通う。テニス部に所属。メフィストの暴走の原因か？他の生徒同様に着替えシーンありと、今のアイドルではちょっと無理な事もやってのけます。ある意味彼女がこのドラマの主役なのかもしれませんなぁ。





その他・特別ゲスト













1 伊藤家の父・母
村野武範・生田悦子が演じる悪魔くんの両親。居候となったメフィストをカラオケがわりに使ったり家事をさせたりします。

2 校長先生
由利徹エロ校長。恵に猛烈アプローチを仕掛けるが、あえなく撃沈。こりゃ問題になりますよ。

3 医者
梅図かずお先生がストレス出産時の医者を好演。マンガを描かずともこちらでもいけそう。

4 看護婦
こんな方もでてました。久本雅美が梅図演ずる医者の看護婦として出演。

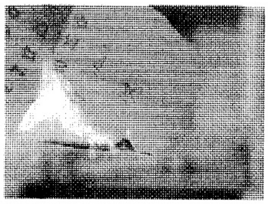
5 教師
出てますよ！我らが大先生も。どうやら、妖怪学を語っているらしいのですが、生徒は興味がなさそう。もったいないはなしですよ。

ストーリーダイジェスト

悪魔くん

千年に一人の逸材とされる『悪魔くん』こと伊藤真吾少年が、ちょっと試しとばかりに悪魔の呼び出しに成功。悪魔の弱点『ソロモンの笛』を使い、悪魔メフィストと『平和の道への契約』を結ぶ。偉大な悪魔にして女好きのメフィストは、たちまち姉の恵にゾッコン。平和を守ることなどそっちのけで恵のあとを付けまわす。身から出た錆ではあるが、周囲の中傷にフラストレーションがたまってしまう。それは事もあろうに『妊娠』というかたちで身にふりかかるのであった。そしてついには、妖怪ストレス＝エリザベスを出産することになるのだ。『ストレス』は、人間のストレスを吸収してどんどん強くなっていく妖怪で、親に似てしまったのか、恵を追って学校に行ってしまう。そこでたちまち一騒動を起こしてしまうのだが、それが全てメフィストのせいにされ、極度の人間不信となってしまう。そこでメフィストは、息子ストレスと『人類滅亡の道へと導く契約』を交わし、人間世界に復讐をすることを宣言。ますます強くなっていく『ストレス』を学校にあるキューピー像に乗り移らせ、大暴れを開始した。しかし、悪魔くんと恵の説得で我に帰ったメフィストは、巨大化暴走しはじめたキューピー（ストレス）を止めにかかる。だが、悪魔メフィストをもってしても、かなわないほど強大になってしまったストレスをどうすれば退治できるのか？最後の手段とばかりに唱えた魔力は、『魔力アイディア！』思い付いた解決策、それは温泉。そう、ストレス解消には温泉が一番ということなのだ。さらなる魔力で温泉を造り出し、その中にストレスを入れることに見事成功するのだった。段々と収縮していくストレスは、最後に空へと消え去っていった。その夜空を見上げ、皆が唱え始める『エロイム・エッサイム エロイム・エッサイム 我は求め訴えたり』





平和の契約書が！



超巨大キューピーと対決



ソロモンのリモコンでストレスを操る

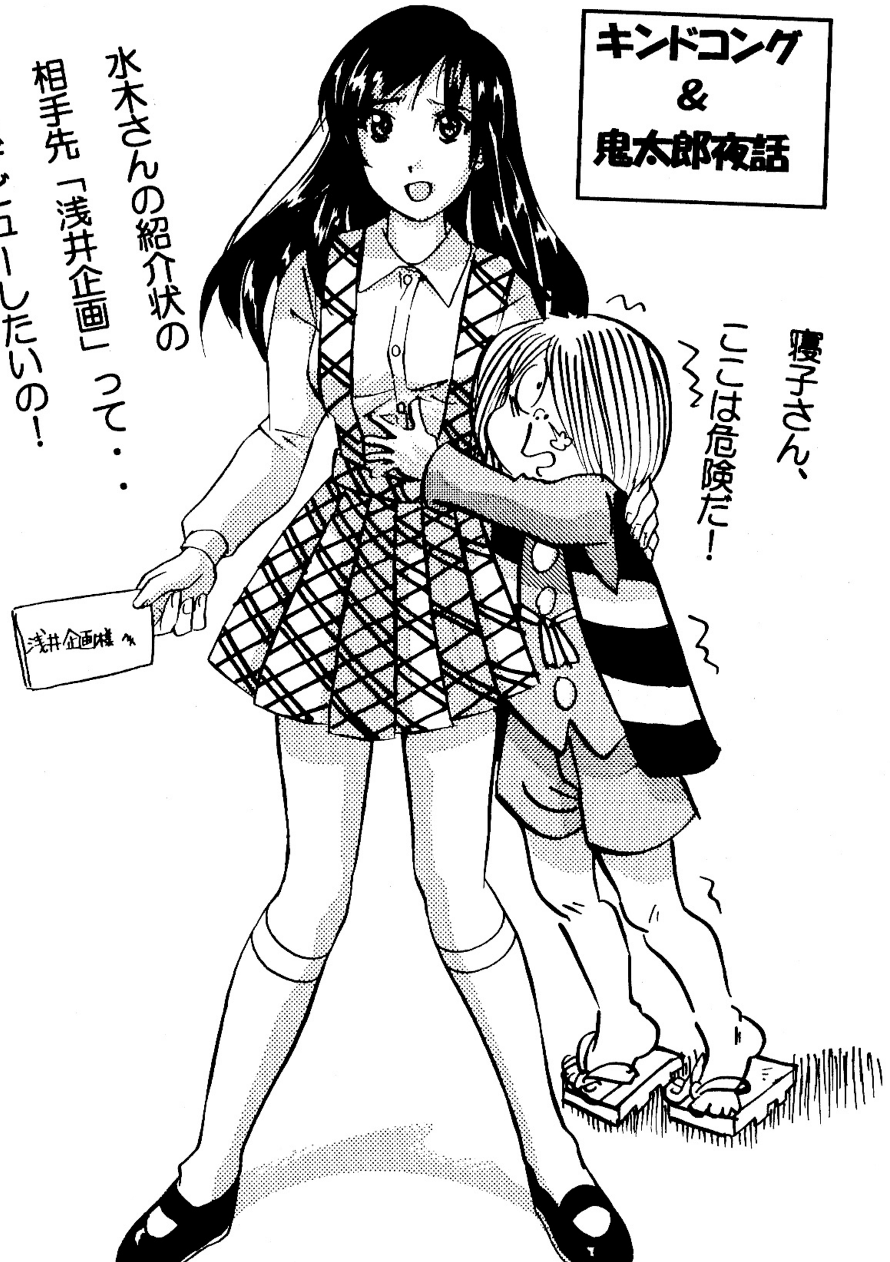






魔力花束・魔力メロン・魔力ケーキ
魔力お祝・魔力ヘルメット・魔力ランドセル・魔力ゴキブリ・魔力跳び箱・魔力火の玉・魔力Uターン
魔力パー・魔力大なべ・魔力ホース
魔力ジョーズ・魔力飛行・魔力温泉
魔力温泉の呼び込み

原作：水木しげる　企画：前川和也　平山亨　製作：東映東京製作所　監督：大井利夫　脚本：うらさわよしお　アクション監督：岡田　勝（大野剣友会）造型：レインボー造型企画　音楽：本間勇輔
出演：玉木潤　佐藤B作　相楽ハル子　村野武範　生田悦子　由利徹　しのざき美知　水木しげる　梅図かずお　久本雅美
主題歌（エンディング）『あじさい橋』　歌：城之内早苗


キンドコング
&
鬼太郎夜話
寝子さん、ここは危険だ！
水木さんの紹介状の
相手先「浅井企画」って・・
でもデビューしたいの！
浅井企画様へ

□えせ　コミック エッセイ

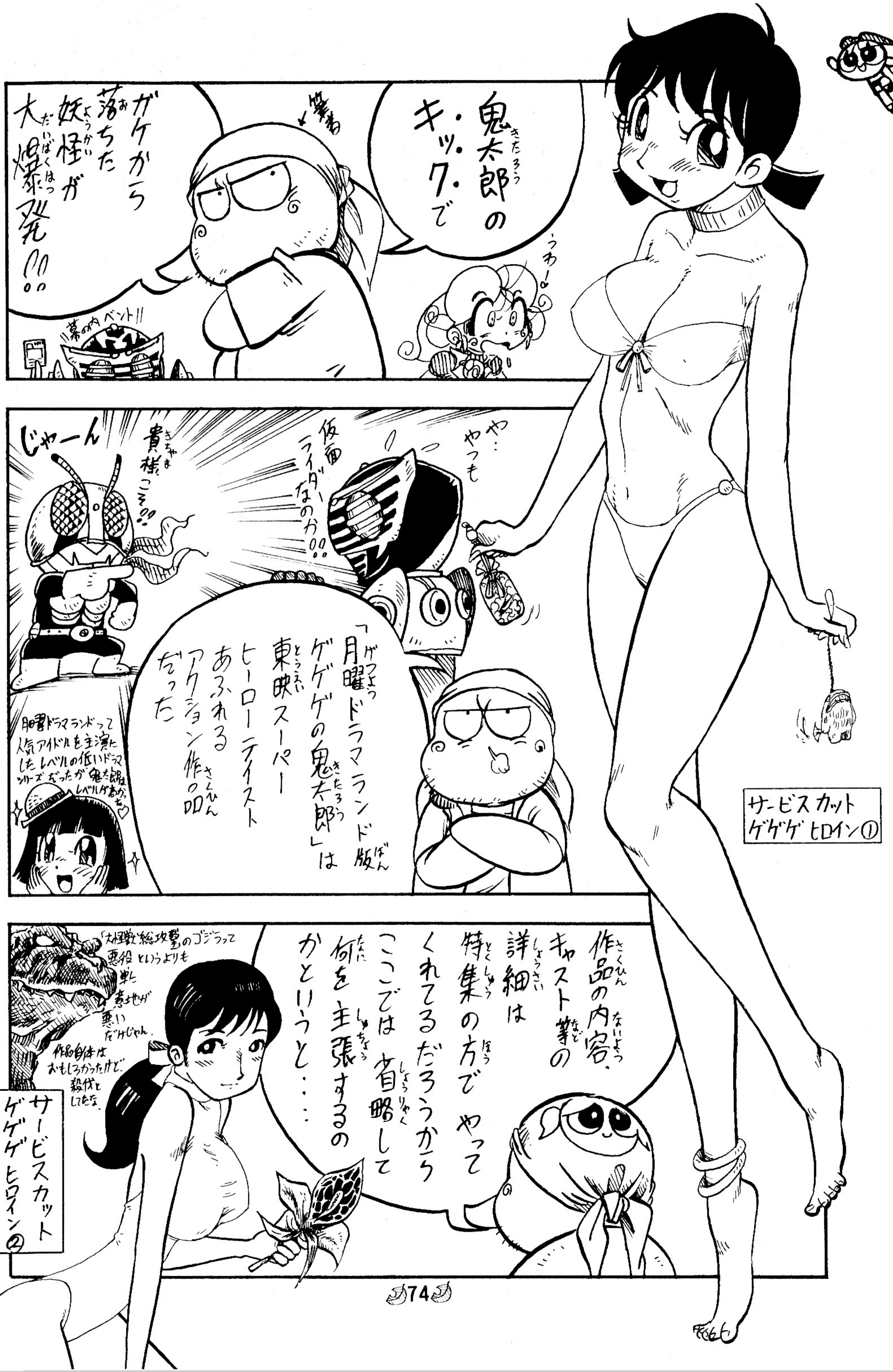
実写(じっしゃ)バン(版)バラバンバン

ガケっぷちのポンチ絵師
古賀(こが)弘明(ひろあき)






ぎゃ!
どっかーん!


鬼太郎のキック・で
筆者
ゲゲから落ちた妖怪が大爆発!!
うわ!
幕の内ベント!!
や・・やっも
仮面ライダーなのか!!
貴様こそ!!
じゃーん
「月曜ドラマランド版ゲゲゲの鬼太郎」は東映スーパーヒーローテイストあふれるアクション作品だった
月曜ドラマランドって人気アイドルを主演にしたレベルの低いドラマシリーズだったが鬼太郎はレベルが高かった♡
サービスカット ゲゲゲヒロイン①
作品の内容、キャスト等の詳細は特集の方でやってくれてるだろうから ここでは省略して 何を主張するのかというと・・・
「大怪獣総攻撃」のゴジラって悪役というよりも単に意地が悪いだけじゃん。
作品自体はおもしろかったけど、殺伐としてたな。
サービスカット ゲゲゲヒロイン②


「月曜ドラマランド版
ゲゲゲの鬼太郎」が
なかったら!??
エリート
このわしが……
水木作品の
影響を受ける事が
まったくなかったで
あろう!!?
ということなのだ!!?


ばおーん
つまり!! この作風もなかったことになるのだ!!!
爆乳指向は元々かもしれんが…
ノだってこれもサービスカットー
ぷっ。
サービスカット オリジナル野郎①
サービスカット オリジナル野郎②


当時（一九八五年頃）の わしは 鬼太郎どころか 水木作品にすら 興味がなかった のだ。
でもアニメの再放送（第２部）は 良く観てたし「妖怪なんでも入門」と「鬼太郎なんでも入門」は 読んだことが あったそ～うです。
コワ体のみちさってやつで
映画観に行けなかったから DVDが出るのを待とう…
サービスカット オリジナルろりろり①
ただ あのゲゲゲの鬼太郎が 実写ドラマに なるということに関心を もって 観ることに したので あった……
すると……
これが おもしろかった のだ。。本当に！。
さらに当時の 友人から借りた 原作本（朝日ソノラマ サンコミックス）で見事に 水木作品の世界に 引き込まれて しまったので ある。。
サービスカット オリジナルろりろり②
あと その年の秋に TVアニメの第３部が 始まった事も 影響がある……


ちなみに初めて描いた鬼太郎はこんな感じである（当時のわしは高校一年生…）
しかも…これでも原作版のつもり
とにもかくにも 実写版
ゲゲゲの鬼太郎は もっと評価
されるべきであり
オリジナル特撮ビデオ版も
ふくめてDVD化に…
アナログ盤でしか出てなかった
音楽集をCD復刻
するべきなのだ!!
サービスカット
オリジナル
ボインちゃん
ASUKA
追伸、この実写版鬼太郎…TVシリーズとしての企画があったそうで、それが没となり あの「スケバン刑事」が製作されたという話があるのだが……
2002年9月17日 終

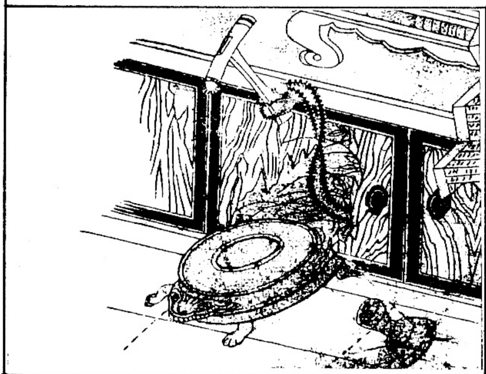
周りで、時々、「ああ限界だ！」とか、「もう限界！」という言葉を聞く。自分自身どうもこの言葉が好きになれない。仕事やトレーニング、ましてや遊びの時にもこの言葉を口にする人がいるけれど、なぜ？「自分自身」で限界を作ってしまうのだろう。

確かに、自分も仲間と一緒にやっている柔道の稽古についていけず、ひっくり返ることがあるが、気持ちは絶対にあきらめない様、言い聞かせている。ありもしない限界にこだわると、そこで終わってしまうからだ。

体を動かす事だけでなく、こういった原稿を書く事も一緒で、勝手に線を引かず、納得がいくまで最後まで続けていこうと思います。

では





鉦五郎（しょうごろう）

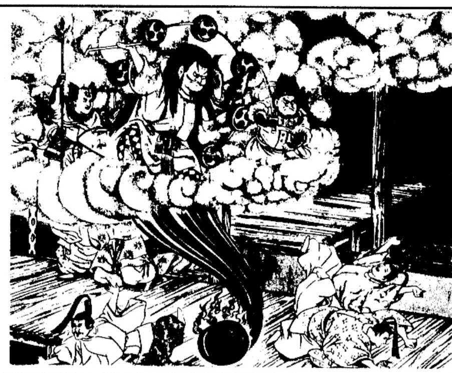


鳥山　石燕｛画図百器徒然袋（巻之上）より｝

念仏の時に用いる、円形で青銅製の鉦鼓がばけたものが鉦五郎である。鉦鼓の体に手足が生えて亀のように動き、蛇のように動くばちがその青銅の身体をカンカン叩く。



菅原道真（すがわらみちざね）の怨霊（おんりょう）

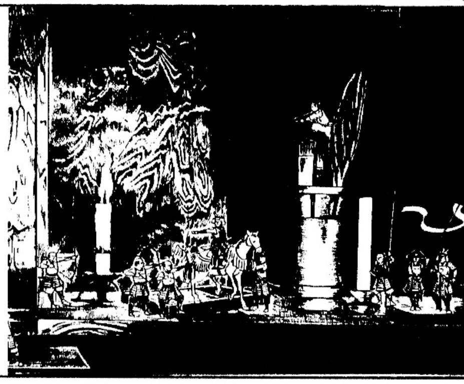


絵本天神一代記より

昔、道真が右大臣だった頃、それを憎んだ藤原一族に謀反の疑をかけられ、左遷され死んだ。この後、道真(の霊)が比叡山に現れ、ざくろの実を口に含むと炎の息に変えて吐き出した。間もなく御所の上に黒雲がたち込め稲妻が襲った。これが道真の怨霊である。



硯（すずり）の精（せい）



鳥山　石燕｛今昔百鬼拾遺（下之巻　雨）より｝

昔,ある人が宿屋に泊まった所,隣の部屋で合戦の音がするので中に入ってみると、誰もいなかった。しかし赤間関の硯の中の水が波立っていたので,**硯の精**のなせるわざと分かった。ここは下関のちかくで,平家一族の滅亡したところである。その恨みが石に宿ったものと思われる。



崇徳院（すとくいん）



出所不明

四国に流され死んだ崇徳院は怨霊となって世の中に内乱を起こした。西行法師が白峰を訪れ、「崇徳院よ迷わず成仏せよ！」と言うと、崇徳院は「やがて大戦乱を起こして見せる」と怒って叫んだ。天下分け目の源平合戦が始まったのはそれから間もなくの事だった。

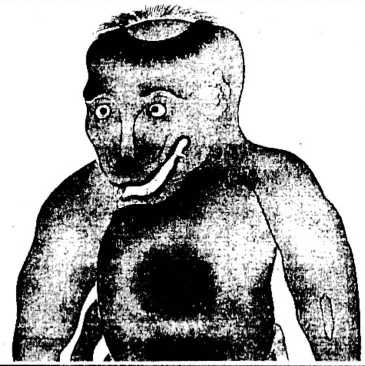


すっぽんの怪（かい）



北越奇談（葛飾北斎　画）より

江戸時代、すっぽんは薬になると言うのですっぽん屋はたいそう繁盛したそうだ。それが流行りすぎて、あまりにすっぽんを殺したためか、すっぽん屋の主人はよくすっぽんに殺される夢を見た。その悪夢が毎晩のように続くので主人はすっぽんを売るのをやめ店じまいをすると、その日から悪夢はピタリと見なくなったという。

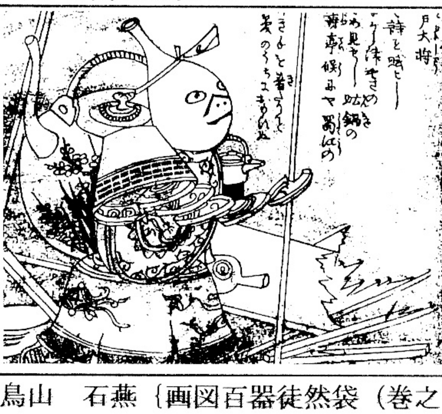


水虎（すいこ）

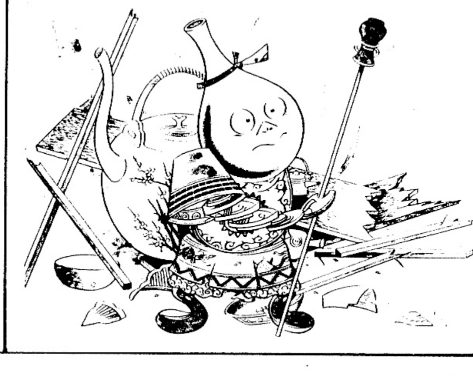


水虎の図より

水虎は**河童**の中でも、親方のように大きく、しかも姿が見えにくい。川とか海中に住んでいて、年に一度はかならず人を水中に引き入れて精血を吸い、屍はもとに返すという。**水虎**にやられたと思われる死体は葬式をせずにそのまま安置する。そうすると、死体がくさる間に水虎も同じようにくさって死ぬといわれる。

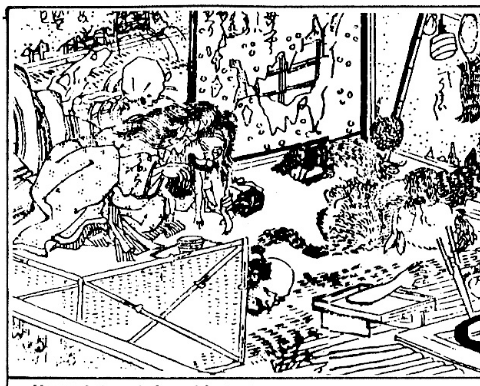


瀬戸大将（せとたいしょう）

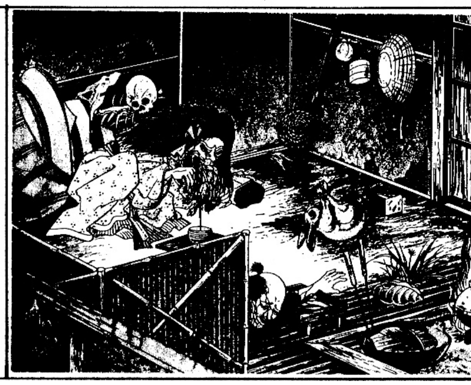


鳥山　石燕｛画図百器徒然袋（巻之下）より｝

頭が徳利、背は燗鍋と全身が瀬戸物でできている**瀬戸大将**は瀬戸物の付喪神なのであろう。瀬戸物は今でこそ陶器の総称のように使われている名称だが、本来は愛知県瀬戸市付近で産する陶磁器のことである。



高須（たかす）の化猫（ばけねこ）



草双紙の挿し絵より

ある家で長年飼っていた猫がある日、突然いなくなった。この頃からその家の母が別人のようになり、人間と思えないような行動をとるので、親族に相談すると「射止めよ」ということになり、その母を射止めると、母は飼い猫の姿に変じたと言う。

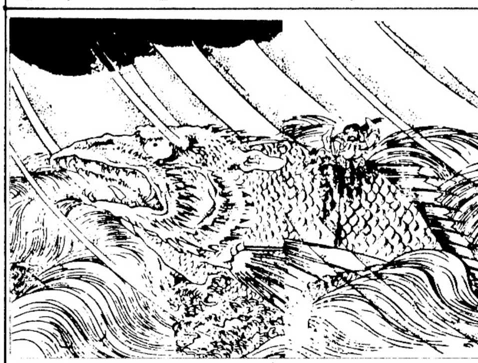


松明丸（たいまつまる）



鳥山　石燕｛画図百器徒然袋（巻之中）より｝

深山幽谷の杉の梢をすみかとしている天狗の仲間で鷹のような姿をしている。昔、ある人が夜になってから山を越えようととした。峠まで来た時、この松明丸が現れその人にだきついたかと思うとそのまま傍らの谷底へ投げてしまったという。



大魚悪樓（たいぎょあくる）



出所不明

悪樓は日本の古代幻獣である。ヤマトタケルが吉備穴海でこの大魚悪樓を退治したと伝えられている。ヤマトタケルは勇敢にも暴れ狂うこの巨大魚の背に乗り自慢の剣を振るったという。

日本「幽霊&妖怪」恐科書!

斯界の大家
水木しげる
全面協力!



なんでも『東海道四谷怪談』が初演されたのが今から約180年前、江戸時代の今ごろだったとか。それ以前のはるか昔から現在にいたるまで、脈々と闇の世界で蠢いてきた幽霊と妖怪。最近でも水木しげるの妖怪漫画の根強い人気や昨年の『千と千尋の神隠し』の大ヒットに加え、この夏もネット上では妖怪のデータベースにアクセスが殺到するなど閉塞感漂う現代にブームの気配が。猛暑の続く寝苦しい毎日だが、今宵は少し肝を冷やしていただければ…。

第一夜

ご先祖様も震え上がった

怪談や伝説などには必ずといっていいほど登場する最もメジャーなものたち。それぞ

幽霊



お岩　妻の座を追われた醜女の怨念

疱瘡のため右目がつぶれたお岩が、夫・伊右衛門のある"陰謀"で、妻の座を追われる。その後"真実"を知ったお岩は、怨念の塊となり、次々と恐ろしい出来事が……。幽霊画は『東海道四谷怪談』で、朝化粧のためお歯黒をつけるお岩を描いた、吉川観方筆『朝露・夕霧』の朝露（撮影・藤本健八、福岡市博物館所蔵）



お菊　古井戸から皿を数える恨みの声

盗賊の父を処刑した火付盗賊改の屋敷で働くお菊が、ある日、屋敷秘蔵の皿を1枚割ったことで、家人から理不尽な仕打ちを受けた。その悔しさから、お菊は庭の古井戸へと身を投じてしまう。そしてそこから皿を数える声が……。写真は大蘇芳年画『新形三十六怪撰　皿屋敷於菊の霊』（東京都立中央図書館特別文庫所蔵）



お露　"死人"の美女に惚れた男の末路

ある夜、妻を亡くし、寂しい日々を過ごす男の前に、牡丹灯籠を持った"美女"が現われた。2人はその夜から深い関係を結ぶが、なぜか男は日に日にやつれはてていくのだ。じつはこの美女は人間ではなく、男を死霊の世界へと引きずり込む死人であった。そして……。写真は国周画『怪異談牡丹燈籠』より（国立劇場所蔵）



累（かさね）　日本版"エクソシスト"の恐怖

醜婦・累が、夫の与右衛門に殺害され、その怨念を晴らすために、与右衛門の後妻が産んだ一人娘にとりつき、再び現われる。そして次々と巻き起こす凄まじい復讐に対し、ある僧侶が除霊に立ち上がるのだが……。写真は筆者不詳の『累怨霊図』（撮影・井上隆雄　大念佛寺所蔵　資料協力・人類文化社発行『日本の幽霊名画集』）

れに多くの悲劇や怨念、教訓、戒めなどのさまざまな思いが込められている

これを知らずして先に進むべからず

代表的な霊・怪たち！

妖怪

鬼

災いをもたらす〝魔物〟として…



鬼といえば、やはり平安時代の酒呑童子。都の財をかすめ、美女をかどわかす悪逆無道ぶりは伝説にまでなっている。世の中にさまざまな悪をばらまく鬼として有名なのが悪鬼。また、北条時政の命を狙い毎晩現われた小鬼など、なにかと災いをもたらすイメージが強い妖怪

天狗

〝山〟の妖怪ながら、仏神としても活躍！



〝山に棲む精霊〟として知られる天狗だが、昔、中国では流れ星のことを〝あまつきつね〟(天狗)と称し、奈良時代の日本でもそれにならって呼んでいたそうだ。その後、山で修行をする〝修験道〟で有名となり、さらに毘沙門天の化身など、天狗は仏神にまでなっている

狐

天竺、中国、日本で、国王らをたぶらかした妖怪狐

妖怪狐のなかで、最強で最凶なのが〝九尾の狐〟。絶世の美女に化け、妖婦となって世界の王をたぶらかしたそうだ。日本にも〝玉藻前〟として天皇の前に現われたが、時の陰陽師に見破られ逃走。今度は毒を放つ〝殺生石〟となるが、最後は、たたき割られて死んだという



河童

体つきは子供だが、大人顔負けの超怪力

水辺にいる子供を川の中に引き込むだけでなく、時には家畜をも引き込み溺死させる腕力を持つ。そして肛門から好物の内臓を取り出して食べるという危険な妖怪。その一方で河童は、とても義理堅い性格を持っていて、人間と交わした約束は必ず守るといわれている



ものに対する恐怖や人間界への戒めが込められている

闇〟が生んだ創造物

ゆえに数多くのものを信仰し、崇め祀ってきたのであろう

三面相 [illegible]

江戸時代中期に発見された、仏法の[illegible]という見せしめのために使われた[illegible]世の罪を一身に背負って生まれた〝鬼〟の頭部ではないかといわれている。裏面には大きく口を開け、長い舌をのぞかせた表情[illegible]（石川県・[illegible]行寺蔵）



鬼

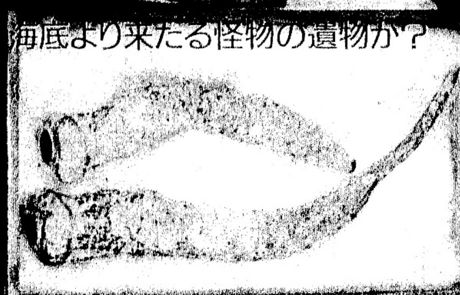
誰もがイメージする、そのままの姿が圧倒的な印象を与える

座った姿勢での高さが約[illegible]とすれば、立ち上[illegible]これぞ[illegible]しく巨大鬼の全身ミイラ!? 頭部に生えた約[illegible]の角も[illegible]出した[illegible]3本指の手足が〝鬼〟のイメージを具現化している（大分県・[illegible]）



牛鬼 海底より来たる怪物の遺物か？

400年ほど前、四国82番めの霊地として名高い根香寺（香川県高松市）の裏山に棲んでいたといわれる。弓の名手、山田蔵人高清に退治されたが、その際に折られたといわれる〝角〟。現在は寺宝として祀られている（香川県・根香寺蔵）



鬼婆 [illegible]に宿った狂気

奈良時代、安達が原（福島県二本松市）に棲んでいたといわれる鬼婆の〝頭蓋骨〟。修行中の僧に正体を見破られ、首を斬られた。斬り落とされたため、角が短くなっている。現在、廃寺のため公開されていない（宮城県・東光院蔵）



河童 日本全国に伝わる水界の妖怪が魅せる、阿鼻叫喚の寝姿

頭頂部に見られるのは、まさしく〝河童の皿〟!? 佐賀県の民家で'73年に発見された河童のミイラ。体長は約40㌢。全身が青カビに覆われ、後頭部には頭髪らしきものも、わずかに残っている（佐賀県・田尻氏蔵）



第二夜 ミイラには得体の知れない無気味な

人心の奥底に巣食う"暗

人は古くから人智のはるか及ばぬ摩訶不思議なことには常に敏感だった。それが



狗 山林を自由に跋扈した イ験者たち

背中から生えた[illegible]の"烏天狗"の[illegible]石川県・白山神社に[illegible]れていた。全長は約35[illegible]はクチバシらしきものも[illegible]（東京都・[illegible]野氏蔵）



人魚 西洋のマーメイドとは異なりグロテスクな生物だった!?

[illegible]



雷 禍々しき幻獣が咆哮する!

江戸時代に捕獲されたという伝説が残る"雷獣"は雷気に乗じて空に昇り、雷とともに落ちてくるといわれる。岩手県花巻市の某寺に"雷神"として、ミイラが保管されている。手足の異常な長さは、現世に生息する生物にはない不気味さを漂わす

ミイラは後世へのメッセンジャーとして残存しつづける



山口直樹氏(47)
ノンフィクション・ライター。共著に『妖怪の本』（学研刊）など

もともと"ミイラ"と呼ばれるものには2種類あるんです。一つは、遺体を乾燥させ、内臓を取って処理を施したもので意図して作られたものです。例えば、エジプトのピラミッドでみられるもの。もう一つは、アンデスやヨーロッパ地方でみられる、埋められた死体が、その環境のなかで自然とミイラ化したもの。今回紹介した"妖怪のミイラ"は、後者にあてはまります。昔は、寺院が信者獲得のために寺の宝物として祀ったり、金持ちが家の守り神や珍品として祀っていたケースがほとんどです。だから、古くからある家のお蔵を片づけていたら、見つかった、なんて話をよく聞くのも、そんな理由からなんです。

安達が原の鬼婆伝説、大江山の鬼退治や九州・筑後川の河童伝説など、伝説の多いところで、よくみられるのも特徴です。"妖怪"と聞くと、なにか怖いバケモノのイメージがありますが、本来は"特殊な能力を持った生き物"なんです。その地域を災厄から守るという神様的な存在である一方で、鬼のミイラのように、けっして崇めたてられるものではなく、むしろ悪いおこないをすると、こんな姿になってしまうということを、後世に伝えるために残存するものもあるのでは…と思います。

第三夜 水木しげる妖怪原画満載

野山の妖怪



手の目 盲人をだますと七代祟る…怨念が生んだ妖怪

野盗に斬り捨てられわずかな金品を奪われた座頭の霊が、成仏できずに夜な夜なすすきが原に出没したもの。復讐しようとさまようが目がない。その執念からか、手に目ができたらしい。草むらから現われて、人を追いかける習性がある



野槌（のづち） あのツチノコの正体はコレ…!?

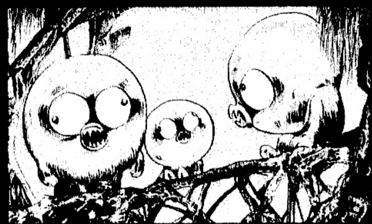
太きい頭に太い胴、短い体は、大ブームを巻きおこしたツチノコ、バチヘビにそっくりで、その正体ともいわれる妖怪。その昔、東北地方に現われた野槌は、見た人間の命を奪ったとの話も。大きなものは子ウサギやリスを食べた。草木の霊であり、通行人を襲うという話も



コロポックル 日本人の祖先ともいわれる北海道の先住人種



油すまし 鬼太郎シリーズ・妖怪大戦争映画でもお馴染み



キジムナー ルックスも性格も可愛いお茶目なオキナワン妖怪



すねこすり 暗い夜道を急ぐときは、くれぐれも足元にご用心

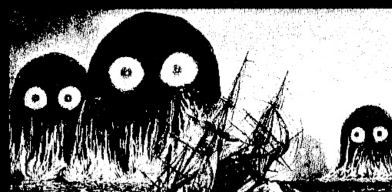


鎌鼬 つむじ風が起こす真空？それとも妖怪のしわざ!?

川や海の妖怪



濡女 睨まれたら最後蛇のしっぽで川に引きずり込む



海坊主 その名も大きさもメジャーな海妖怪



牛鬼 アニメの鬼太郎も大苦戦した母子タッグ妖怪

石見（現在の島根県）、鳥取、北九州などで伝えられるが、こちらは石見の牛鬼。海中から赤ん坊を抱いた女の姿で現われ、漁師に赤ん坊を抱かせると同時に海中に消える。そして怪物が現われ、逃げようとすると赤ん坊が重い石に…という言い伝えがある。



さざえ鬼 妖怪の世界の"ササエさん"はちと怖すぎる



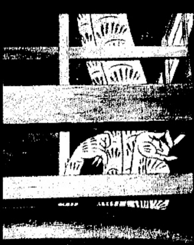
小豆洗い 東北地方、山梨県…全国の谷川に出現した音モノ

谷川のほとり、橋の下などで、ショキショキと小豆をとぐような音をさせる。"小豆とごうか、人とって食おうか、ショキショキ"と鼻歌を歌うことも。好奇心で近づけば、必ず水中に落とされた。埼玉県には小豆婆という妖怪も

生息場所から性質まで詳しい解説付き図鑑

古今東西・出没ガイド！

屋敷の妖怪



お歯黒べったり

腹黒い女も怖いが、お歯黒い女が笑ったらもっと恐怖

昔の嫁入りは鉄漿で歯を黒く染めた。そのお歯黒をむき出しにしたのっぺら坊。夕闇の神社、寺、家で目撃された。着物姿で顔をふせる女に、親切心で声をかけると大口を開けてケタケタと笑う。狸、ムジナの化けた妖怪説、お歯黒女の怨念説がある





目々連（もくもくれん）

壁に耳はないが障子には目の妖怪が…



天井さがり

家の中の異界・天井から…キャ〜ッ、出た!!



座敷童子

宮沢賢治の小説にも出た無邪気な妖怪っ子

岩手県の北上盆地を中心に、旧家などに出没する妖怪。5〜10歳くらいの赤ら顔のおかっぱ頭で、眠っている人の枕を動かしたりイタズラもしばしば。いつくと家は栄えるが、消えると没落する。大人には姿が見えないとい…



あかなめ

昨今の汚ギャルにとって彼にしたい妖怪No.1!?



加牟波理入道（かんばりにゅうどう）

ありがたい便所神・ウォシュレットにも出てくれる?

人里の妖怪



べとべとさん

妖怪の世界のストーカー…人間ほどタチ悪くないけど



泥田坊（どろたぼう）

弱小企業の社長"のようにせつない…



ぬらりひょん

いちばん人間に近い妖怪かもしれない

高僧、商人、もしくは大店の旦那風のいでたちで、他人の家に勝手に上がり込み、主人の煙管で煙草を吸ったりお茶をすすする。そして、家人は気づかれないまま、いずこへと去っていく。鬼太郎の世界でもおなじみの妖怪の総大将



ぬっぺふほふ

写写丸もお腹のあたりがぬっぺふほふ…



釣瓶落とし（つるべおとし）

秋の夕方にこんなん落ちてきたら、腰抜かすどすえ！

近畿、四国、九州に現われ、とくに京都で恐れられた妖怪。曽我部村（現在の京都府亀岡市曽我部町）の榧の木が有名で、通行人を引っぱり上げて食ったという。大木から落ちてきてゲラゲラ笑い、また木に上がっていくという話も各地にある

斯界の大家・水木しげる全面協力!

日本「幽霊&妖怪」恐科書!

最終夜

もののけ通人・水木しげる氏が語る妖怪観

「生まれつきそういうモノを見たり感じたりする能力はあったようです。しかも当時からわりと真面目で、死とは何かって哲学的に考えてました。3～4歳でね(笑)。海で弟を殺そうとして、通行人に止められたこともあった。死を確認しようとして…」

『ゲゲゲの鬼太郎』の生みの親で、当代随一の妖怪研究家、妖怪絵師の水木しげる氏。やはり普通のお子サマとは、ひと味違ったようです。まさか妖怪がお友達では…?



みずき しげる
'22年鳥取県境港市生まれ。戦争で左腕を失うも'46年に帰国し、紙芝居作家を経て、『ロケットマン』で漫画家デビュー。『ゲゲゲの鬼太郎』『悪魔くん』などの大ヒットで妖怪ブームを起こす。'91年には紫綬褒章を受章

「はっきりとした形で見た経験はないけど、らしいモノとからしい音はね。昔は行灯の灯りでしょ、今みたいに明るくなくて、最高に妖怪が出やすい環境だったから。そんなときにモノを見たり音を聞いたら、恐怖心だけでお化けって思っちゃう。怖かったけど、楽しくもありましたね。娯楽がなかったから、彼らが役割を果たしてくれてたの」

第2次大戦で激戦地・ラバウルに出征した水木氏は、背後霊の存在に確証をもった。

「川べりに一緒にいた戦友が一瞬で消えて、騒いでたら原地人がワニ、ワニって。向こうでは九死に一生ってのが3～4回はあって、これは霊に守られてるって思いましたね」

復員後、紙芝居作家として鬼太郎をデビューさせ、貸本マンガを経て少年雑誌、アニメと大ブレイクさせた水木氏。

「大昔の伝承や民話みたいな資料もさることながら、もともと妖怪好きで詳しかったから……。こんなのは本当におったろうなぁって妖怪を出してたし、リアルだったんでしょう。こういう(妖怪)世界を描くマンガ家もいなかったし、誰も避けて通りたい道ですからね(笑)。でも、いまだに人気があるって聞くと、不思議な感じがしますけど」

鬼太郎や仲間、敵の妖怪もみんな愛嬌があって楽しいから、世代を超えたのでは?

「怨みで現われる幽霊と違って、妖怪は精霊の化身ですから面白い奴らなの。最近の日本は環境的にも住みにくくなって、妖怪なんてもういないのかもしれない…。もし妖怪に会ってみたかったら、海外の砂漠とかジャングルのほうがいる気がします。私のところに手紙をくれる人のほうが、妖怪っぽい人がいるかも。ときどき怖くなる(笑)」

8月11日15時より調布市グリーンホールにて水木・荒俣・京極氏ほか出演の第7回世界妖怪会議開催。また、シリーズ第3弾「目玉おやじソフビ」がパイロットエースより発売中。9月には食玩「悪魔くん」がトミーよりサンクス、サークルKで先行発売

写真・長谷川 新　白木 誠　山口高樹　©水木プロ

人生の大せんぱいたちから、小学二年生へのメッセージ

小二しょくん!

80th 学習雑誌創刊80周年 記念インタビュー

どんなおとなだって、むかしは「小学二年生」だった。たくさんの知恵を持っている「元・二年生」のおとなの人たちから、「今の」二年生のための元気が出て役に立つメッセージを聞いちゃおう!

第6回

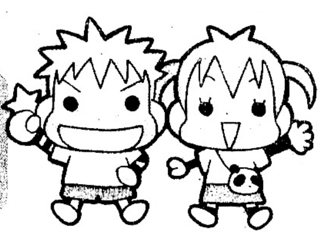
【まんが家】

水木しげるさん

目に見えなくてもそこにいる、オバケはみんなが大すきなんだ。



水木(みずき)しげるさん、80才。『ゲゲゲの鬼太郎』『悪魔くん』『河童の三平』など、オバケが登場するまんがをたくさんかいている。どのまんがもこわくて、楽しいのだ! この夏休み、読んでみよう!



文/根岸康雄

(169)

オバケって、ゆかいなんだ。

私が子どものころはくらいところが多かったから、そこらじゅうにオバケがいると思っていた。いまは、でんきが多くなっちゃって、明るいところばかり、オバケもすみにくくなっちゃった。だからかな、私がかいた絵の中で、〝おーいぼくもここにいるんだよ〟って、オバケたちは言っている。

夜になったら、まっくらなところをよーく見てごらん。ちょっとこわいけどだいじょうぶ、目では見えないけど、ほら、



(170)

おうちの方へのメッセージ

オバケや妖怪など、人間の世界の背後にいる不条理なものを受け入れない〝科学物〟のまんがを、私は描

小学館「小学2年生」2002年9月号

学習雑誌創刊80周年記念インタビュー

小二しょくん!

なにかがいそうだ、うん、いるぞ……オバケって、ほんとはとってもゆかいな、キミたちのなかまなんだ。



鬼太郎、ぬりかべ、目玉の親父…おなじみの妖怪たち。

水木しげるさん　1922年鳥取県生まれ。まんが家、妖怪研究家。太平洋戦争中、ラバウルで負傷。復員後、紙芝居作家を経てまんが家デビュー。代表作「ゲゲゲの鬼太郎」ほか、数多くの子供向けまんがを執筆。ほかに「昭和史」などの大人向けまんが、「ねぼけ人生」など文章による著作も多い。



きません。

暗がりが大変多かった私の子供時代、オバケはいろいろなところにいると、思い込んでいました。科学万能の今と違い、あの時代はどこか生活に余裕がありました。

死ねば無になる、科学的に言えばそうでしょう。でも、死んだ人間の情や念は人の心に残るものです。妖怪や死後の世界を思うのは、死の怖さや寂しさを受け入れようとする人間の知恵でした。

子供はオバケが大好きです、オバケの話をすると目を輝かせる。私は子供のそんな心を大切にしたい。私の描いてきた妖怪たちはちっとも怖くありません。子供たちが闇の部分にいる妖怪たちを面白がり、一緒に遊ぶことは、理屈では割り切れないものを大切にする心、そして自然を大切にする気持ちを育てていくのではないでしょうか。

この夏、肝試しの際は、子供たちの前で思い切り驚いてあげてください。

生まれたときから「妖怪」だった

水木しげる

ボクは、今年、八十歳になったんですけど、正直、「歳をとると、すべてが分かって、ぼんやりするものだ」と思っていた。だいたい、今まで、目撃した老人たちがそうだった。ところが、歳をとってみるとまるで違う。

世界は不思議だらけ、おもしろだらけだ。おもしろ不思議の海に浮かんでいる感じで、なんでもかんでも、オモチロイ。家内は一度、病院に行って、診てもらったら、と言うが、まだ行っていない。現実がおもしろすぎ、多忙すぎるところへ、次々に不思議に遭うから、オドロキでヒマがないのだ。

ボクは不思議な感度ともいうべき病気がいよいよ強くなってきているので、世の中、いや世界中がおもしろくてたまらない。みなさんに少しずつ、この病気を移していこう、というのがボクの夢です。

さて、ボクの「妖怪病」も膏肓（こうこう）に入って、この度、縁あって講談社より『生まれたときから「妖怪」だった』を上梓しました。ボクの妖怪ぶりは本のタイトルにもなっているように、昨日今日のことじゃない。ほんとうに生まれたときから妖怪だった。最近でこそ、妖怪ブームですが、昔は大変でした。なにしろ、妖怪の「妖」ということばを遣うだけで、おまえは、変な奴だ、と陰口された時代でした。つい、二、三十年前の話です。

今や夏になると、書店さんにも妖怪コーナーなんかが出来ていて、まるで妖怪がいるのは当たり前の時代になった。

ボクはともかく、読者のみなさん、妖怪に出会ったこと、ありますか？

ボクの好きな南方のラバウルや、ニューギニアは妖怪の宝庫ですが、日本では、なかなかお目に掛かれないでしょう。事実、向こうはラバウルの辺りだけは電気があるけど、ちょっと奥地に入って行くと、電気もまったくない暗闇。夕方になると、一斉に鳥たちがオーオーと鳴いて、あちこちにアヤシが出没するのです。もっと正確に言うと、妖怪は見るものではなくて、感じるものかもしれない。そういう目に見えないものを感じ取る能力、ボク流にいうと、「妖怪感度」がないと妖怪はわからない、ということです。

やっぱり、妖怪は人が多すぎるところにはいない。人の少ないジャングルだとか、ニューギニアのような人口が希薄で、植物なんかが豊かなところ、そして、水が豊富なところかな。市街地のような、ビルだらけのゴミゴミしたところには、妖怪はやってこない。

前に、京極夏彦さんが、ジャングルには、生命がうじゃうじゃおり、そこに混じって人間も住み着く、と言っていた。ジャングルは植物が基本で、つまり、水がたくさんある、ということだ。人跡未踏な場所には妖怪はいないんです。

神社なんかを森に作るでしょ。湿地があって、それに続くジャングルがある。砂漠におばけってあまりきかない。

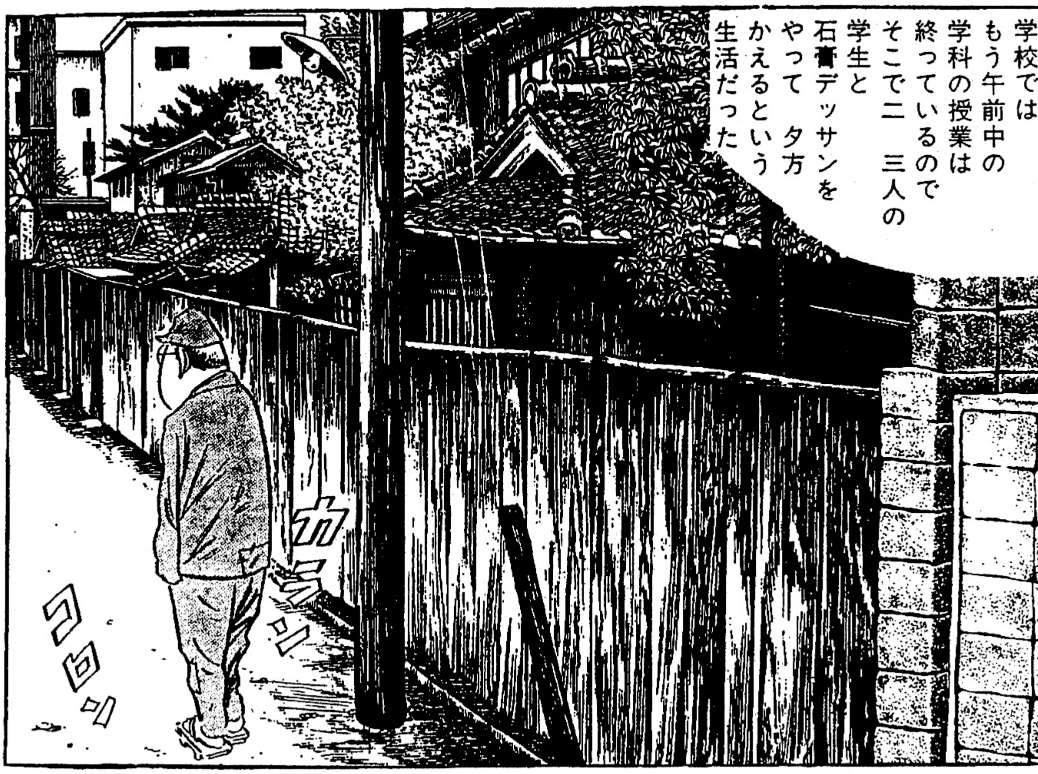
この本でも書いたけど、ボクは小学校高等科を卒業したあと、兵庫県の丹波篠山に暮らしたことがあった。当時は、山奥の大田舎だった。篠山の古ぼけた神社に一人で入ったことがあった。薄暗い山道を歩いていると、木陰ににぎりこぶしほどの小さな生き物をたくさん見た。それが、山の霊なのか、身震いするほどの思いで、山を急いで降りた。

解剖学者の養老孟司さんと対談したとき、柳田國男さんが、子どもの時に祠をじっと見ていて、本当に吸い込まれそうになった。その時に、カラスが鳴いて、それでパッと目が覚めた、という話だった。カラスが鳴かなかったら、おかしくなっていたという。

ボクには、この奇妙な体験がニューギニアの奥地に一人で入った時にも再びあった。いくら歩いても疲れないし、その歩いていると いう感覚すらない。森に吸い込まれて行く感じなんですよ。その時突然、本で読んだ人間が森に食べられた話を思い出し、あわてて、引き返しました。

このように妖怪にはわりあいに従順なボクでも、ことニンゲン界のこととなると反逆児です。この歳になってもそれはあまり変わらない。ボクの兄や弟は、小学校の登校時刻に遅れないように、朝食を食べずに出かけた。ボクは、兄弟が出かけたあと、やおら起き出して、ゆっくりと飯を三杯もお代りしてから行く。

母もあきれてしまっていた。当のボクは、学校に遅れることなんか、ぜんぜん気にしなかった。遅刻することより、飯を食うほうが大事だった。授業中もじっとしていられない。学校の規則を守れず



「マンガ水木しげる自叙伝　ボクの一生はゲゲゲの楽園だ④」（講談社・コミックス）、p.158より

に、しょっちゅう立たされた。どうしようもない落第生だった。

軍隊に入ってからも、ボクのマイペースぶりは変わらなかった。現地人の集落に入ってはいけないという軍の命令が出たその日に、その集落に行った。監視の将校とばったり出くわし、「おまえのような兵隊を見たことがない」と驚かれた。大ビンタをくらうことはいやであったが、行きたいという衝動を抑えられない。子どもの頃から、ある程度の命令や規則は守るが、それ以上に、ボク自身の規則や法律を優先して生きてきた。

世間的に言えば、相当な変わり者だった。

そんな、わがままで、身勝手な人間の書いたこの本が、みなさんのお役に立つとは到底思えないのですけれど、この常識破りのボクの生き方をおもしろがってくれる人もいるみたいです。人間、真面目すぎることが必ずしもいいとは限らないようです。

ボクからみたら、ビジネス街で働いている人たちは、「成功」の一言にふりまわされすぎている。金を儲けてもさらに儲けようとし、名声を得ても、まだ満足できない。ボクは物事の満足を求めすぎるのは、よくないと思っている。「知足」、つまり、足るを知るという心だ。知足を人間の文化であると考えれば、ビジネスマンは南方の人よりずうっとまずしいように思う。真面目で一生懸命な人ほど、心のどこかに不安があるようだ。

ボクたちは妖怪といっしょに生きている。人間なんて、ホントに、大宇宙のゴミよりも小さな存在なんです。宇宙空間をあちこち飛びまわれる彼らのほうが優秀かもしれない。少し、あいつらを尊敬すると、ほいほいと喜んで、人間に都合のいいことをしてくれるかもしれない。

（みずき・しげる　漫画家）



水木しげる80歳記念 妖怪芸術の集大成BOX
萬國百怪封印之匣
ばんこくひゃっかいふういんのはこ
完全受注生産
特別限定版
発売予定 2002年10月22日(火)
ご予約締切 2002年 8月31日(土)
このお宝はおれ様の怪奇趣味を刺激するるぜ！
ご注文者だけが購入できる完全受注生産品です！
ご希望の方は、お近くの書店でご予約ください。
「集英社ヤングジャンプ」ホームページからもご注文できます。
http://yj.shueisha.co.jp/mizuki/

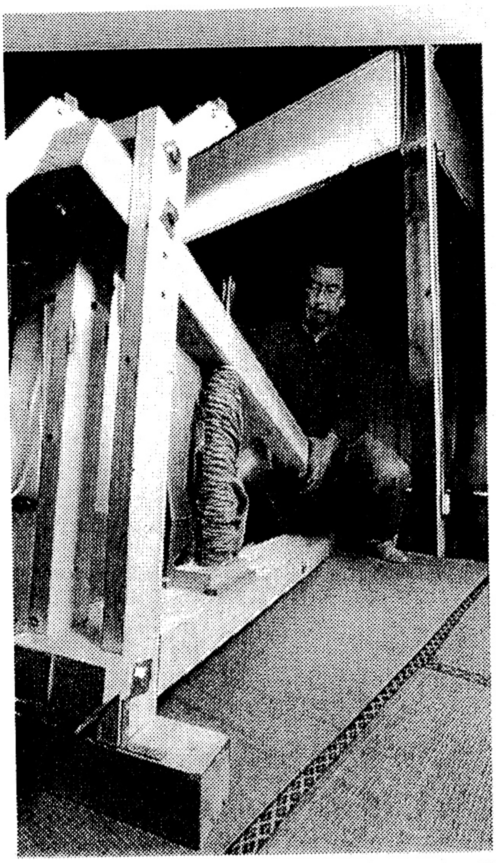
道楽王探究

ちりめん本を復元する【経師】

文 荒俣宏

Hiroshi Aramata

其の四



揉み台にまたがり全力で体重をかける。完全なちりめん紙にするには、最低六回揉む必要がある

今回の主役は、滅多なことでは仕事場を覗けない、京都の経師である。カタカナ職業の跳梁跋扈する東京と違い、京都には漢字二字でキリリと決めた職業が、まだまだ健在なのだ。そこでこの原稿も、いつになくむつかしい漢字を多用することになるから、そのつもりで。

経師とは、むかし寺や貴族の館で写経にかかわる事業を担当した技術者のことで、紙にはじまり表装やら誤字脱字のチェックやら、幅ひろい仕事をこなした。近年に近づくにつれ、掛け軸や障子、ふすまといった室内装飾もこなすようになり、あらゆる家具什器の修復を引き受ける仕事師となった。

その経師が、二一世紀の現在、いちばん活躍している分野といえば、古い文化財や国宝の補修作業である。なにしろ二つとない宝物を守るのだから大変だ。むかしの経師が持っていた技術や知識に加えて、最新の科学的保存法についても精通していなければならないのだから。

ということは、道楽に真の文化をもとめようとするわれわれにとって、経師の本業じたいがすでにして関心の対象といえる。だのに……だのにである！　経師が仕事とは別に、途方もない道楽に凝り始めたというのだから、おだやかではない。

ここらで主役を紹介しておく。京都市上京区は西陣の近くに工房をもつ、株式会社大入の栗木衛さんだ。栗木さんとは二年前に知りあったばかりだが、ぼくが大切にしている江戸時代の妖怪実見記『稲生物怪録』の原本をきれいに補修してもらったのが縁になった。和書や和紙のことをよく知っていて、いろいろな知識を授けてくれる。でも、栗木さんは基本的には依頼客と工房の職人さんの橋わたしをする営業責任者だと思いこんでいた。ところが！　栗木さん自身、すさまじいまでの情熱を抱く「経師」だったのだ。この真実を知ったのは、つい最近栗木さんから、びっくりするような計画を打ち明けられたときだった。さて、その計画だが……。



ちりめん本は明治時代に発明された木版刷りの絵本で、表面には細かい折り皺がある。写真はちりめん本復活第一号として現在制作中の水木しげる氏の妖怪絵本

「ちりめん本」というものをご存じだろうか？　縮緬本と書く。たぶん、ご存じの読者は少ないと思う。明治時代に「発明」された木版刷りの新しい絵入り本だ。新発明だから、ふつうの絵入り本とどこかがちがう。ちりめん本を手にとると、やわらかくて厚みがあり、絹織物みたいな感触がある。縮緬

現代の経師たち



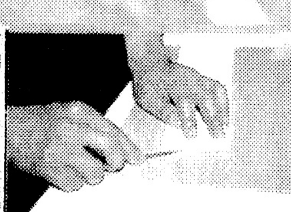


京都には漢字二字でキリリと決めた職業がまだまだ健在。文化財の保持を主な仕事とする経師はその代表的なもので、彼らが担う役割は大きい

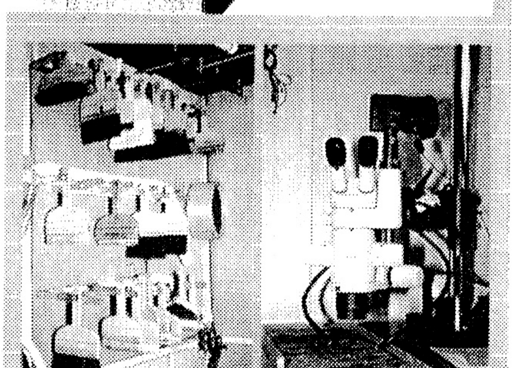


オリジナル絵本を創造したいと思い立った栗木衛さん





紙資料における修復方法は、裏打ち、漉き繕い、中打ち、挟み打ちなどいく通りかがあって、劣化状況や保存形態に応じた方法を用いる。状況次第では複数の処置も考えられる





時代とともに修復の特徴も変化している。平成の経師は持ち得る材と技を駆使することはもとより、さらなる修復・保存技術の研究・開発を使命とする。使用する七つ道具もデジタルからアナログまで様々。新聞紙を相剥ぎし、中打ちして修復することとは、彼らにとっては朝めし前の技術

とは、こまかい折り皺を入れた布のこと。英語のクレープに当たるのだが、そういうシワシワのついたやわらかい紙でつくられた本だ。

このシワシワ紙本だが、印刷されたときはふつうの平紙状態にある。この紙を揉みに揉んで皺をたくさんつける。すると紙が縮んで、もとの八割くらいになる。だったら絵や文字が歪んで読めなくなるだろう、と思われるかもしれないが、そうではない。むしろ色上がりが濃くなり、ふしぎなテキスチャーが出てくる。いわばメリヤス下着の上に印刷した感じで、紙を引っぱると伸びるし、強くて破れないのだ。

これを「ちりめん本」と呼ぶのだが、明治後期からあとは外国人向けの日本土産や輸出用工芸品とされたために、肝心の日本人からは忘れ去られた。

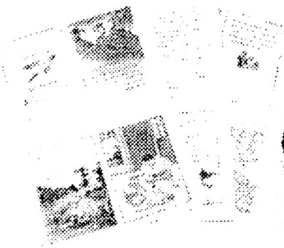
刷りものをちりめん紙に仕立てたというだけなら、浮世絵のような一枚ものが江戸でもつくられていた。しかし、本にまでまとめたのは、発明者の長谷川武次郎が最初だった。武次郎は和本の出版にたずさわっていたが、文明開化の時世に合う新しい和本を創りだそうと考え、明治十八年に「ジャパニーズ・フェアリーテールズ・シリーズ」叢書を発刊した。第一巻は「モモタロウ」、江戸の錦絵挿絵を配し、テキストも英文だった。この叢書は「舌切りスズメ」「サルカニ合戦」「花咲ジジイ」「カチカチ山」とつづいた。英訳陣も、ヘボン式ローマ字のヘボン博士やアイヌ文化研究のチェンバレンほかが当たった。のちには小泉八雲の作品も英文で使われている。出版総数は定かでないが、もろもろを合計すると二〇〇種を超えるといわれている。中には昭和三〇年頃に再版された例もあり、かなり最近まで帝国ホテルや箱根富士屋ホテルの売店でも外国客向けに売られていたという。

そういうわけで、長谷川武次郎とともに誕生し、武次郎とともに忘れ去られた「ちりめん本」は、具体的な製法すらよく分かっていない。わが栗木さんは経師の最高のドーラクとして、この失われたちりめん本を復活させる夢を抱いたのだ。栗木さんの夢はとても大きく、この珍しい本を単に復元するだけで満足しなかった。二一世紀のオリジナル絵本を創造したいと思い立ち、選んだのが水木しげる先生の妖怪絵本だった。水木先生のところに見本のちりめん本を持参したところ、「あ、ちり紙に印刷してる!」といわれたのも何のその、ついにちりめん本復活第一号として水木絵本を出すことを承知させてしまった。いま、制作の真っ最中というので、探訪することにした。

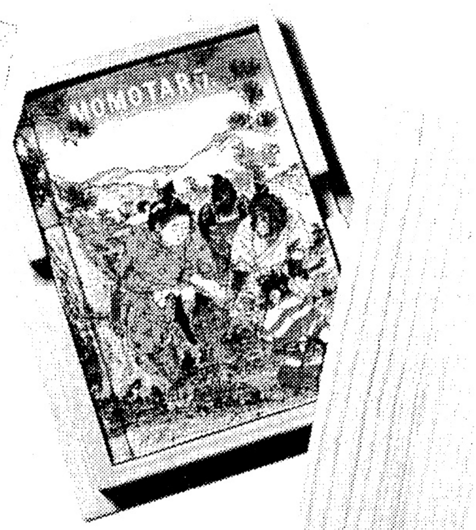
栗木さんがちりめん本の工房を見せる前に案内してくれたのは、古書の修復を手がける現場だった。大入の社長さんにもお目にかかったが、経師の頭であるとともに釣の達人という噂も聞いた。道楽王の許では道楽文化も栄えるようだ。社長の大入達男さんが、経師の技術といっても驚くような話じ



型紙の表面には無数の筋が入れてある



栗木さんが復刻した「モモタロウ」。製本前の状態



明治18年、長谷川武次郎は欧文出版を目指し、出版社を創立した。「昔噺文庫」とでもいえるちりめん本シリーズはこのモモタロウから始まった

やないんだよ、とおっしゃりながら、虫に食われた和紙を二つに剥ぎ、あいだに当て紙を入れて元通りにのり付けする工程を見せてくださった。和紙は元来、何層にも繊維が重なっているから、小刀で切りこみを入れて表と裏に剥がせる。だが、これならどうだと出てきたのが、新聞紙だった。新聞紙の裏と表が二枚に分かれている。割いた面は、まっ白だ。

ああ、新聞紙を二枚に割いただけか、と感動もなく受け取り、白い分割面を見た。

待てよ！

やっと、ことの重大さに気づいた。一枚の新聞紙を剥いで二枚にしてあるのだ！　まさか、である。新聞紙は一層漉きだからだ。なのに、あの新聞紙が裏と表と二つに割かれている！

顔面が蒼白になった。

「これはね、新聞紙の両面に濡れた和紙を張り、水気を吸わせて紙に層をつくるんだ。それで二枚に割けるわけね」

と、大入社長は涼しい顔でいわれた。しかしこの方法を使えば、古くてボロボロになった新聞紙も中打ちして修復できる。

軸ものの修理も、きわめて奇跡的であった。表装を剥がし、折れ筋や皺がいっぱいの本紙を直し、ふたたび元の軸に貼り直すと、若がえった老人のように生き生きする。

和綴本の綴じ直しも感動的だ。本文用紙に千枚通しで一気に穴をあけ、これに紐を通して綴じると、ビクともしなくなる。事務用品として普及している穴あけ器などは、絶対に使わない。

「穴をあけたら、穴になる丸い紙片が外れますね。そうすると、紙が一枚ずつ動いてしまうので、うまく綴じられません。でも、千枚通しで穴をあけると、本体から脱落する部分はないんです。破れた部分の紙が下の紙の穴に食いこみ、その連鎖ができますので、本文が動かなくなります」

と、修復課課長の河野輝人さん。古い道具には合理性がある。

工房の補修作業をもっと見ていたかったが、本題がちりめん本なので、場所を変えることにした。近くの、何の変哲もない町屋に移った。ここが栗木さんの工房だった。

ちりめん本をつくる道具は、すべて栗木さんの手製である。元祖長谷川武次郎のちりめん本は木版色刷りだったが、栗木さんの復元版では原図をコンピュータに読ませ、和紙に印刷する。ここまでは現代的だ。だが、それ以降はすべて武次郎の技術を使わなければいけない。

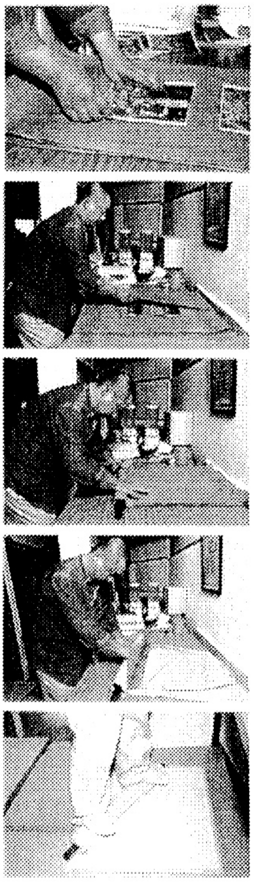
栗木さんがそもそもちりめん本復元をめざすことになった理由だが、まことに経師らしい話を聞かされた。放送大学に所蔵された多くの長谷川ちりめん本を修復してほしいと、大学から頼まれたのだ。ボロボロになった紙を繕うにも、ちりめん本に限ってはシワシワを付けなければならなかった。文献を調べたり、今でも唯一ちりめん紙を使っている「人形用の紙製着物」づくり職人に尋ねたりして、ようやく復元にまで漕ぎつけたという。

修繕のための調査が、ちりめん本自体の復元にまでつながったのだが、栗木さんによれば、「荒俣さんにもちりめん本はつくれますよ」というくらい、シンプルな仕組みの技術であった。もちろん、ぼくも自力でちりめん本をつくらせてもらう気になった。

用意するものは、柿渋を塗り重ねてつくった「型紙」である。この型紙の表面を小刀で切って、無数の筋を入れる。この筋が「型」となるのだ。本文に付くシワシワは、凸凹のある型紙の表面に紙を圧しつけたときに生まれる。

型紙を三枚用意したら、まず一枚めの上に、印刷のできた平紙を置く。つづいて上にもう一枚の型紙を置いて、そこにまた新しい本文用紙を乗せる。さらにもう一回、紙を重ねたところで、塩ビ水道管に巻きつける。これを五、六回重ねれば、一度でたくさんの平紙をちりめん紙に変えられるわけだ。そのあと、巻きこんだ型紙を「裂」と呼ばれる覆いで包み、床に置く。素足で上に乗り、足を踏みこんでロールを締める。

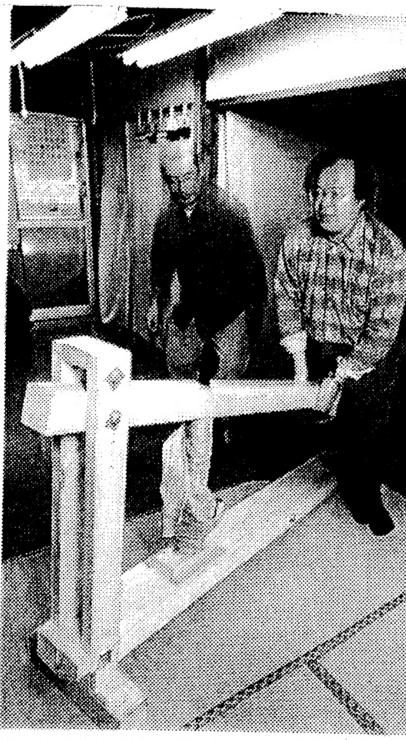
ここまで終了したら、次はいよい

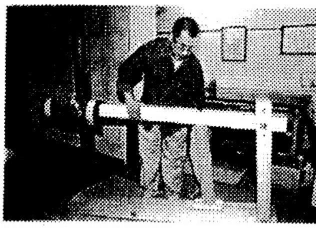


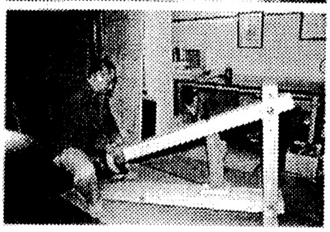
型紙で挟んだ平紙を、塩ビ水道管に巻きつけ、裂で包む。それを床に置き、上に乗って、足を踏み込んでロールを締める

道楽王探究

Hiroshi Aramata







仕上がったロールを揉み台にセットして、体重をかけて圧縮する。これで一回分の皺が付く。ちりめん紙にするには、六回は揉む必要がある。一見するとシーソーのようで楽しげだが、結構な重労働

ちりめんの出来るまで



平紙を完全なちりめん紙にするためには、すくなくとも六回揉まなくてはならない。①ふつうの平紙の状態。②本紙のヨコ方向に圧縮。③タテ方向に圧縮。もとの九割くらいになる。④左ナナメ方向に圧縮。⑤右ナナメ方向に圧縮。⑥ヨコ方向に圧縮。⑦タテ方向に圧縮して完成。絵柄は歪まず、もとの八割くらいに縮小された

よ揉み台にセットする番となる。棒の上から丸太をわたし、その上に体重をかけて型紙を上から下へ圧し潰していく。

ぼくも挑戦した。揉み台にまたがり、全力を尽くして体重をかける。これで一回分の皺が付くのだ。完全なちりめん紙にするには、すくなくとも六回揉まないといけない。それも、縮小率がタテ、ヨコ均等になるようにする。最初に本文紙のタテ方向に皺を入れたら、次はヨコ、その次はナナメ、という具合に。こうして、画面を歪めずに縮小されたちりめん紙ができあがる。

一回揉んでは、ロールを解いて皺の付き方を見る。紙の方向を変えて型紙に置き直し、またロールにして揉む。これは重労働だが、栗木さんは夜ごと一人でこの作業をつづけている！　平成のオリジナルちりめん本は、一冊一八丁の予定だから、一丁仕上げるのに六回揉むとして、合計一〇八回も揉み台で踏んばらなくてはいけない。

もう目が回ってきた。とにかく、水木しげる妖怪絵本は、小泉八雲の作品が出て以来ほぼ百年ぶりの怪奇ちりめん本になる。だが、四〇〇部限定制作、鬼太郎のちゃんちゃんこと同じ黄色と黒の横縞染めで布帙をつくるという。途方もない仕事量だ。

「これはちりめん本の魅力をもういちどアピールするのが目的の、いわば道楽本ですから、利益を乗せない値で売らせていただきます」

栗木さんはそういいながら、揉み台にまたがりつづける。一見するとシーソーにでも乗っているかのようで楽しげだが、結構な体力を要する。

ぼくも自分で作成したちりめん紙を手にした。すこし粗っぽいが、何とか合格の手ざわりに仕上がっていた。水木さんの妖怪画も歪んでいない。それにしても、ちりめん紙はなぜこんなにあたたかくて優しいのだろう！

栗木さんの予定によれば、平成ちりめん本は二〇〇二年夏に約一〇〇部が先行制作され、東京有数の和書舗として知られる大屋書房で取りあつかわれるらしい。また、来年オープンする境港市の水木しげる記念館でも展示販売されると聞いた。

ファンには楽しみな話ではあるが、経師の挑戦という面からも語られるべき「道楽」だと思う。ちりめん本の元祖だった長谷川武次郎は、日本の印刷技術、本づくりのセンスを世界に発信しようとして、この挑戦を始めた。とすれば、大入の栗木さんは、どのような目標を立てて、ちりめん本の復元に挑んだのだろうか。

栗木さんは慎重な人だから、うかつには本心を明かさない。でも、どうやら日本の経師たちや紙職人、版画職人の技に心から惚れこんでいるらしいのだ。今やすっかり輝きを失った、本という名の「暗いおもちゃ箱」に、もういちど魔法のパワーを取り戻させるのに「ちりめん本」を担ぎだしたのかもしれない。ちりめん本にすると、最新式のオフセット印刷やコンピュータのアウトプットでも、まるで活版か手刷り版画のような味を出すから、たしかにおどろきなのだ。汗だくで紙を揉んだぼくにも、そんな栗木さんの狙いがすこし伝わった。

アクセス1日1万件 妖怪データベースの

寝苦しい夜が続いていています。今宵はインターネットの世界で、涼をとりませんか？　ぴったりなのが、6月下旬に公開された「妖怪データベース」。まじめな学術研究データベースながら、公開10日で10万件を超えるアクセスがあり、早くも大化けの気配が漂っている。

子どものころから妖怪の絵本が大好きだったという東京都内に住むフリーライターの女性(29)は、こう話す。

「妖怪ファンとしては、こういうデータベースを待っていたんです。データごとに、文献を要約した短い文章がついているのがいい。いろんな妖怪の文章を読んでいると、あっという間に時間がたってしまうんです」

国際日本文化研究センター（日文研＝京都市）の小松和彦教授らが作成した「怪異・妖怪伝承データベース」には、約1万3千件のデータが収められている。

昨年まで3年間、文部科学省の科学研究費補助金を受けた、「日本における怪異・怪談及び妖怪文化に関する総合的研究」というお堅い名称の学術研究が、このデータベースの母体になっている。大学院生ら約20人が全国の図書館などに足を運んで、雑誌や郷土史に目を通して、妖怪に関する記述を抜き出す、地味で根気のいる作業を、コツコツと3年近く続けてきた。

データベースの使い勝手がサクサクと小気味よい。思いついたキーワードで検索ができる。自分が住む地域で絞り込んだり、妖怪の呼び名などでも探すこともできる。

検索した画面には妖怪などの呼称、執筆者、論文名、書名・誌名、発行年月日、地域などのデータのほか、１００字程度の要約が載っている。

思いつくまま調べてみた。

全文検索で「カッパ」と入力する。４３６件がヒット。岩手県遠野市のデータには、「顔は赤く、顔にも濃く毛がささっていて、人の視線のとどく前に顔の向きを変えるので、絶対に素顔を見せることはない。体は子どもより小さく、足は早い。夜も昼も姿をあらわす」

とある。顔に毛がささっている？　ちょっと怖そう。

「ヒノタマ」を調べる。

「青白く光るものが山の方から浜へ降りてきて、ジッとこちらをうかがう。立ち去ろうとすると後からついてくる気配がするので小石を投げるとピタッと止まる」

こんなの、いやだなあ。

次は「ハナコサン」と入れる。8件がヒットした。

「学校のトイレのドアを開けたまま『花子さん、花子さん、花子さん』と3回呼んで、ロール紙を切って便器に落とし、トイレに水を3回流すと、便器の中から手が出るという」

鬼や天狗といった伝統的なものから口裂け女まで。守備範囲は、かなり広い。要約は「ただいま作成中」の項目も多いが、これから順次アップしていく予定だ。

データベースの公開を機に記者会見を開き、いくつかの新聞に記事が載ると、一気にアクセスが急増した。インターネットの検索サイト「ヤフー」のトピックスで紹介された後、ピーク時は一日4万件のアクセスがあったという。



データベース作成委員長の小松教授は、こう話す。

「学術的な基礎データを提供する目的で、データベースをつくりました。絵が入っているわけでもない、テキストだけのデータベースに、これだけ多くの人がアクセスしていることに、つくった当事者が驚いています。妖怪は、日本人の気持ちのどこかに響く何かがあるんでしょう」

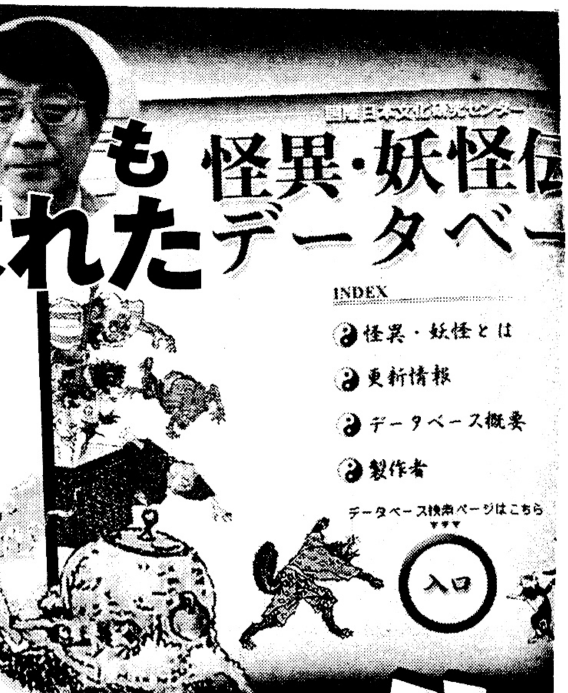
『憑霊信仰論』（講談社学術文庫）、『神なき時代の民俗学』（せりか書房）などの著書があり、20年以上も妖怪研究を続けてきた小松教授によると、これだけ広範囲の調査に基づいた「妖怪データベース」は日本で初めてだという。小松教授は、こう続ける。

「これを手がかりに、自分たちの地域の歴史や、おじいさん、おばあさんが生きた時代を学んでもらいたい。明るい世界だけではなくて、暗い世相、憎しみ、ねたみ、差別の歴史もある。妖怪には庶民の喜怒哀楽が託されている。妖怪は、閉塞感のある先行きが



作成者 日文研教授

小松和彦も狐につままれた



化け物度

見えない時代に、人間を見つめる最もよい素材です。妖怪研究は人間研究なのです」

水木しげる氏の妖怪漫画が根強い人気を保ち、宮崎駿氏のアニメ映画「千と千尋の神隠し」が大ヒットするなど、ここ10年ほど静かな妖怪ブームが続いている。それにしてもなぜ、学術的な妖怪データベースが爆発的人気なのか。

妖怪ファンに人気の高い雑誌「怪」（角川書店）の編集長、郡司聡さんはいう。

「この手の妖怪に関する資料が、今までなかったんです。事典はありましたが、高価で手に入りにくい。ネット上で一般に公開されたことは、ありがたいですね。妖怪への入り口は水木しげるさんの漫画や京極夏彦さんの小説かもしれませんが、より深く知りたいという人も多くて、学術的なデータベースにもアクセスするのだと思います」

角川書店などが主催する「世界妖怪会議」というイベントには1千人を超す妖怪ファンが集まる。8月にも東京都内で開かれるが、核になる年齢層は30歳前後だという。

先端メディアにすっと入り込む

明治時代の新聞に記述された妖怪を調べた『明治妖怪新聞』（柏書房）の著者で、川崎市市民ミュージアムの学芸員、湯本豪一さんは、インターネット時代の妖怪ブームについて、こんな見方をする。

「明治時代の新聞は、今のインターネットのような画期的なメディアでした。その新しいメディアに、妖怪はすんなりと入り込んでいる。不可思議で理解できないものの象徴として、妖怪は人々の関心を集めています。インターネット時代も、同じようなことがいえるかもしれません」

さすが妖怪。時代の最先端のメディアにもス〜っと忍び込んでくるというわけか。

湯本さんは、こう続ける。

「幕末や中世の戦乱の時代など、社会が変動するときには人々の不安な気持ちが妖怪をはやらせてきました。今のブームも時代を反映していると思います」

絵巻や新聞、メンコやマッチなどに材をとり、近著『妖怪あつめ』（角川書店）にまとめた湯本さんは、今後のデータベースにも期待する。

「今回のデータベースは、妖怪研究をすすめる基礎データとして、必要不可欠なものです。今後の展開では、著作権の問題などをクリアして、妖怪が描かれた絵画などビジュアル面もカバーしていってほしい」

日文研では今後、年間1500ぐらいずつデータを増やしていくという。データベース作成の実務にあたる日文研講師の中山和久さんはいう。

「中央が中心のこれまでの歴史観とは違う、地方の生きた人の記録、庶民生活史のデータベースの一翼を担うものになると思います。このデータベースで図書館に行く時間を節約して、新しい考え方をすすめる時間に使ってほしい」

本誌・堀井正明

怪異・妖怪伝承データベース

http://www.nichibun.ac.jp/youkaidb/

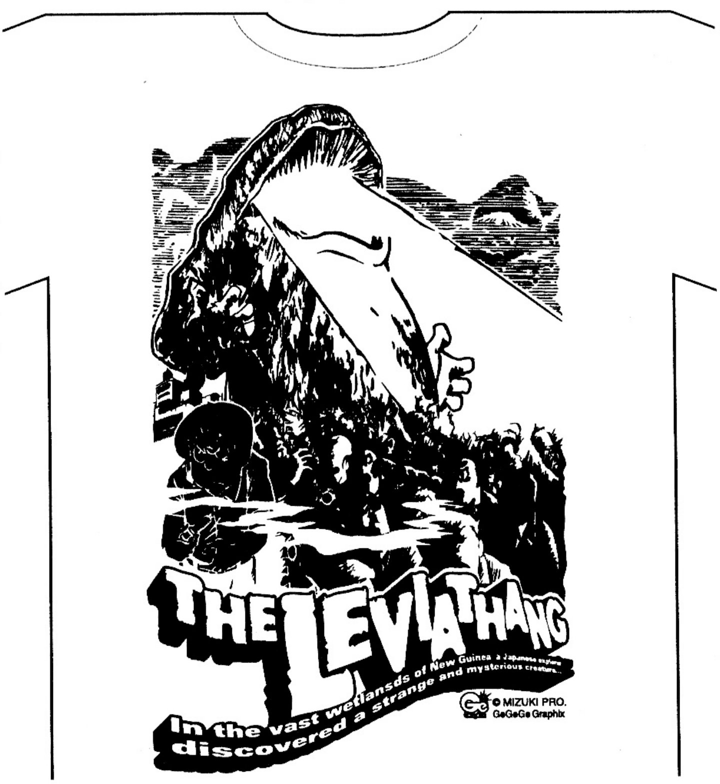
※今号の特集の資料あつめにも活用させていただきました。今後のデータアップが楽しみです…しかし妖怪関係アイテムがブームになるとマスコミは化け物あつかいするがその報道は時代おくれだと思うけどね

こんなの売ってたです！

今年の８月３日東京ビックサイトで行われたワンフェスに行って来たんです。場内をウロウロ物色してたです。そしたらこんなカッチョイイTシャツが売ってたです。最初はオヤッ?って思わされたです。
だって先生の作品でしょ！何をいまさらですけど、日本の作品じゃないスか！それがこんなアメコミの１ページに出てくる様な感じにアレンジされて



FRONT



BACK

それが妙にマッチして感動的です。もービックリです。
何も躊躇することなく買ってしまったです。良かったです。
来年も違った柄で作って欲しいです。
尚！当日版権の為、次のワンフェスまで買えそうも無いです。
２Ａｇｅｎｔという名前のお店です。ワンフェス行ったら絶対よろう・・です。


THE LEVIATHANG
In the vast wetlansds of New Guinea a Japanese explorer
discovered a strange and mysterious creature....
© MIZUKI PRO.
GeGeGe Graphix

こんなの見つけたよ。みんなもやってみよう！

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

頭に毛が生えている間は、帽子などというものには関心がなかったが、毛が少なくなってくると、本能的に帽子がほしくなるものだ。

第一、冬などとてもあたたかいし、夏は直射日光をふせぐ。

帽子もベレー帽とか、いろいろあるが、ぼくはもっぱら野球帽を愛用している。これは雨の時レインコートの代わりになる。メガネはぬれず、小雨なら頭がぬれずにすむ。

ぼくは、帽子は武将のカブトみたいなものだからと、ラコステとかなんだとかいう上等の帽子をかぶるようにつとめたが、どうしたわけか、高価なものほど早く紛失する（高価なものはひろった人が返さないのかもしれない）。電車の棚に忘れるとか、なにかの会場にかぶってゆくと必ず忘れてかえる。家内が買ってきたのだけで十三個を算した。一番早いのは三日だった。しかも外国製で上等だった。

こんなバカな話はないというので、家内は一番安い帽子をバーゲンで三百円で買ってきた。みるからに安いペロンとした帽子だった。

あまりつまらん帽子だから、ぼくは帽子とは考えなかった。単に頭にのせるものと考え、忘れても少しもおしくない……というよりも、①初めから、忘れることを期待された帽子だった。家内も同じ考えだったのだろう。その帽子がなげてあっても、帽子かけにかけようとはしなかった。

考えてみれば、ぼくの一生の間に、これほどバカにされた帽子はなかった。誰も正式の帽子として認めないのだ。ぼく自身、帽子をふんづけるなどということは、子供の時から強く禁じられていたが、その帽子に限り、ふんづけても平気だった。②それから二年たったが、帽子は奇跡的になくならなかった。

きたなくなっても家内は、今までの帽子なら洗濯したが、その帽子はバカにして洗濯もしない。したがってきたないので、ぼくは、何度か捨てようとしたが、いずれ忘れるのは［＊］の問題だろうと、ほったらかしておいた。

しかし、なかなかその帽子に限り、忘れない。

〈水木しげる「帽子の魂」より〉

□(1) ――線①「初めから、忘れることを期待された帽子」とありますが、ここからその帽子に対するどんな気持ちがわかりますか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 結局なくすのであり、ちょっとでももてばよいという気持ち。
イ この帽子はいつまでもつのだろうかという面白半分の気持ち。
ウ 二度と高価な帽子など買うものかとやけになった気持ち。
エ 帽子などはどれでもみな同じだとさとった気持ち。

［　　］

□(2) ――線②「それから二年たったが、帽子は奇跡的になくならなかった」とありますが、なぜ「奇跡的」といえるのですか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 一番安い帽子だったのになくならないから。
イ 正式の帽子と認められないのになくならないから。
ウ 何度捨ててもなくならないから。
エ 今まではすぐになくなったのに今度はなくならないから。

［　　］

□(3) ［＊］に最もよくあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア 時間　　イ 経済
ウ 運命　　エ 機会

［　　］

5　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

《「ぼく」の帽子は三百円の安もの。いつなくしてもいいと思っているのに、どういうわけか絶対になくならないのだ。》

愛着というのがわくのだろう。しかしその帽子はいよいよくたびれていたから、愛着だけではどうにもならない。大の大人が三百円の帽子を三、四年もかぶるなんて、第一、女の子にだってもてない。人よりも上等の帽子をかぶっても①ダメなのに、くさったような野球帽をかぶってたってプラスになることは何一つないのだ。

普通は、家内が「あんた、そんなきたない帽子捨てなさいよ」というのが、あたり前なのだが、昭和ヒトケタ生まれで、物不足の時代に育っているから、まだ着られるものを捨てるのは悪だと信じこんでいるし、それに古い夫だから、注意する㋐ジョウネツもわきかねるのであろう。

ぼくは、わざと電車の窓から顔を出して帽子をとばしてみようとしたが、帽子は㋑ミッチャクし、逆に車掌に注意されたりした。

ある日のことだった。

強い風のふく夜、ぼくが橋をわたっていると、突然強い突風が吹いてきた。「あっ」と思う間に、その帽子は暗い川の中に落ちてしまった。ぼくは、川面を見なかった。ついに㋒ウンメイの日がきたのだと思った。帽子と別れる日が、ついに七年ぶりにきたのだ。②かなしみよりも、喜びの方が大きかった。ぼくは思わず、家内に「おい、とうとう帽子がなくなったよ」と、喜びの声を出さずにはおれなかった。

しかし、あくる日、巡査がきて「御名前が書いてあったものですから……」と、魔の帽子をわたされた時は「もうだめだ」と思った。この帽子は捨てることのできない帽子なのだ。なぜならば、ある種のタマシイを持っているからだ。

今日も喫茶店で帽子を忘れたら「先生、御帽子が……」と編集者に注意された。いや、③これは編集者が注意したのではなく、帽子が注意させたのだ。

〝器物百年を経れば魂を得る〟という言葉もある。

〈水木しげる「帽子の魂」より〉

□(1)　――線㋐～㋒のカタカナを漢字に直して書きなさい。

㋐［　　］　㋑［　　］　㋒［　　］

□(2)　――線①「ダメ」とはどういうことですか。本文中から探して四字で書き抜きなさい。

［　　　　］

□(3)　――線②「かなしみよりも、喜びの方が大きかった」のはなぜですか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア　何となく不気味な帽子だったから。
イ　現代はもう物不足の時代ではないから。
ウ　やっかいばらいができたと思ったから。
エ　幸運のおとずれる前ぶれのように思ったから。

［　］

□(4)　――線③「これは～帽子が注意させたのだ」とありますが、そのような帽子を筆者は何と呼んでいますか。本文中から探して四字で書き抜きなさい。

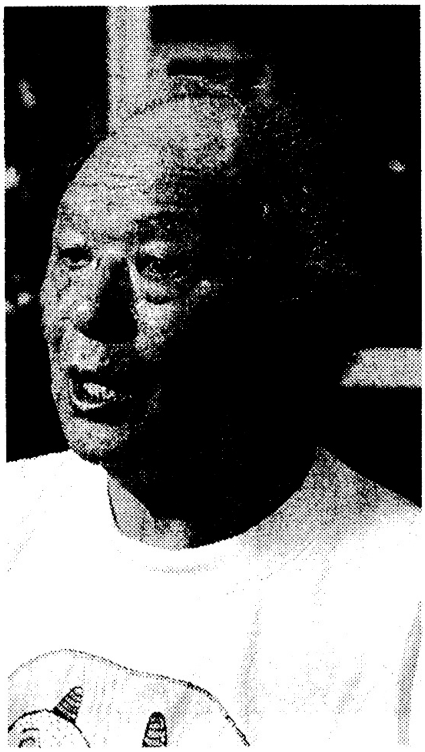
［　　　　］

国語中学一年シリウス21　より

人に本あり

漫画家 **水木 しげる** さん

エッカーマン「ゲーテとの対話」



んだ人生 輝く

あの世のものともこの世のものともつかぬような、飄々とした水木しげるさんの口調に、かなり揺さぶられ、しかし強く引き込まれたインタビューだった。例えばこんな具合に。

「そういえば……これは、鬼太郎の父親だったな……」

「目玉おやじ」の人形に、カメラマンの要望で視線を移した水木さんが、ぼそっと口にした一言。

瞬時にはその真意を測りかねた。水木さんは直前に「ゲーテを自分のオヤジみたいに思っていた」と話している。となれば、「鬼太郎」に自分を、「目玉おやじ」にゲーテの姿を重ね、改めて感慨にふけったのだろうか。それとも、わざととぼけて見せた水木さん一流のおふざけなのか。

記者にはいまも判然としないが、ただ確かなのは、翻弄されつつも、その泰然自若としたあり方に、愉快な気持ちのまま話を聞けたということだ。

☆

「ゲーテをオヤジ」と水木さんが感じるようになったきっかけは、エッカーマン『ゲーテとの対話』にあるのだという。文学を志す若きエッカーマンが、晩年のゲーテを訪ねて聞いた話をまとめたもので、水木さんは戦時中、十八、九歳のころに読んだ。

「一、二年のうちには召集される。兵隊に取られれば、死ぬるんですから。かなわんです。だから読んだんです」

人生のなんたるかを知らずに死ぬなんて全くつまらない。そこで先人たちが記した書物から何かを得ようと、社会思想家・河合栄治郎が『学生と読書』で推薦していた本の中から、『ゲーテとの対話』を手に取ったのだった。ページをめくれば、ゲーテが八十歳前後の約十年間に、三十代のエッカーマンに語った己の人生観や体験談が、ひしひしと心に染み込んでくる。

「この本で、人生はこういうものだと頭に入れたわけです。人間にはできることとできないことがある。無理を言っても仕方がないと。そうしたら納得して死ねるというのかなあ、そんな気になって」

〈人間というものは、ふたたび無に帰するよりほかないものさ!〉といったゲーテの名言の数々が、水木さんをとらえたのだろう。すべてを暗記するほど何度も読み返した。だが、その事実は見方を変えれば、生きることへの渇望だったとも言えまいか。

「そうですね、あのころの若者はみな、生きることに真剣でした」

入隊後もこの本は手放さず、三冊組みの岩波文庫を雑嚢に入れて南方戦線まで持っていった。実際は、爆撃で左腕を失うなど、本を開く余裕はなく、野戦か何かの最中になくしてしまうのだが、「ゲーテですべてうまくいった感じですな。軍隊でもなんでも」。

☆

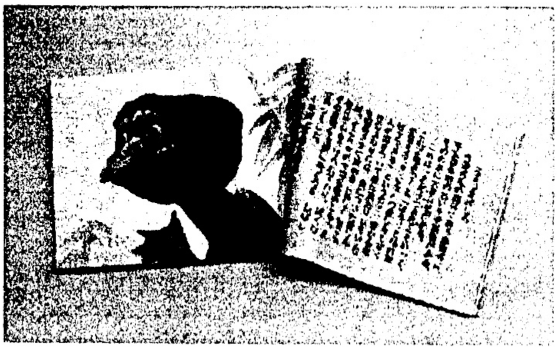
水木さんは今年、八十歳になった。エッカーマンが薫陶を受けた

話』のどの部分が心に残っていますかという問いには、「二十年ぐらい前までは覚えていたけれど、もう忘れたな。この間、鉛筆で印をした傷んだ本があったと思ったけど、見えんようになってしまった。ウワハハハ」とあっけらかんと答える。それでいて、「あの本を

讀賣新聞
2002年(平成14年)9月29日(日曜日)

ちりめん本（縮緬本）水木しげる作品集ー詳細

「ちりめん本 水木しげる作品集」



荒俣宏氏、京極夏彦氏の解説付

「ちりめん本 水木しげる作品集」予約受付

平成14年10月26日（土）発売予定
〈お問い合わせ・お申し込みは大屋書房まで〉

制作部数：〔限定本〕179セット
〔普及本〕280セット

販売価格：〔限定本〕39,900円（本体38,000円）
〔普及本〕16,800円（本体16,000円）

総発売元：大屋書房
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
TEL 03-3295-3456 FAX 03-3295-2334
E-mail ohya-sho@a3.rimnet.ne.jp

企画・制作・発行：株式会社 大入 気付
「ちりめん本 水木しげる作品集」刊行委員会

協　力：株式会社 水木プロダクション
荒俣 宏氏　京極 夏彦氏

ちりめん本（縮緬本）とは？
ちりめん本の制作工程〔作成中〕

株式会社 **大入**

HOME　お問い合せ

kyojiooiri@muc.biglobe.ne.jp

http://www.ooiri-co.com/mizukibon2.htm



召集前に学
80歳の今も

ころのゲーテとほぼ同年齢であるが、当然のことながら、少し物忘れも出始めている。しかし、それを隠すことはない。『ゲーテとの対十八、九でぱっと読めたなんて賢かったんです。自分自身しか褒めてくれる人がいませんから」というユーモア精神は健在である。

自由に、生きているのだ。命を、人生を謳歌しながら。

その姿が、記者に教える。年を重ねるのはすてきなことだと。そう知ったからこそ、楽しい取材になったのだと。

エッカーマンも、こんなふうにゲーテの話を聞いたのだろうか。

文・村田　雅幸
写真・佐々木紀明

＊メモ

エッカーマン（1792～1854）は、ドイツの詩人、著述家。寒村の貧しい行商人の子として生まれ、苦学の末、晩年のゲーテのちょう愛を受けた。ゲーテの死後に出版された『ゲーテとの対話』は岩波文庫（上・中・下）に所収。



「縮緬本水木しげる作品集」（仮称）

発売のお知らせ

制作予定部数
190セット（限定版）
300セット（普及版）

販売予定価格
三万九千九百円（限定版）
（本体三万八千円）
一万六千八百円（普及版）
（本体一万六千円）

10月26日（土）発売予定

お問い合わせ・お申し込みは



大屋書房

〒101-0051　東京都千代田区神田神保町1-1
TEL 03-3295-3456　　FAX 03-3295-2334
E-mail　ohya-sho@a3.rimnet.ne.jp

妖怪フェスティバル

世界妖怪会議

平成14年10月26日(土) 開場/17:00

会場／境港市民会館 ホール

入場無料 ※要入場整理券（詳細については実行委員会にお問合せください。）

構成／
民俗音楽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18：00〜18：45
妖怪オブジェコンクール表彰式・・18：55〜19：15
世界妖怪会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・19：20〜20：30

音楽／
守安 功・雅子（アイルランド音楽）
渡辺 亮（パーカッション）

パネラー／
水木しげる、荒俣宏、京極夏彦、多田克己、黒目友則



水木しげる

プロフィール
1922年（大正11年）境港市生まれ。妖怪漫画家の第一人者。昭和43年にテレビアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」が放映され人気漫画家になる。著書「のんのんばあとオレ」「水木しげる日本妖怪大全」など多数。平成3年紫綬褒章受章。

お問合せ／第17回国民文化祭境港市実行委員会
〒684-8501 境港市上道町3000
TEL.(0859)47-1074 FAX.(0859)44-3001
■主管／ゲゲゲのしげる会

第17回国民文化祭・とっとり2002 夢フェスタとっとり〜ふるさと ふれあい 夢づくり〜

主催／文化庁、鳥取県、鳥取県教育委員会、第17回国民文化祭鳥取県実行委員会、境港市、境港市教育委員会、第17回国民文化祭境港市実行委員会

R100



生誕80周年記念出版
水木しげるオフィシャルBOX
妖怪世界遺産
CD-ROM版 Windows Macintosh
水木しげる妖怪原画大全集
水木しげるの世界遺産！
妖怪画の巨匠水木しげる80年の画業を完全収録。
古代から現代まで全世界の妖怪1707体、細密カラー原画1840点、詳細解説文250万字、水木年譜、妖怪年表付き。百科事典に換算して5冊分相当の大容量データを、最高画質、複合検索の最先端技術で編集した21世紀の妖怪世界遺産。
3大豪華付録
1
昭和33年兎月書房版/B6ハードカバー128ページ
紙芝居作家であった水木しげるが貸本漫画でデビューした「幻の処女作品」。今回特別に水木氏の許可を得て、本人秘蔵の貴重な1冊を原本に完全復刻。巻頭16ページ4色カラー、各折り単色カラーを極限までオリジナル再現したファン待望のお宝本。
予約限定
先着3000セット!
シリアルナンバー入り
2
朝日ソノラマ版
ソノシートまんが/8cmCD付き
昭和41年テレビ化第1号「悪魔くん」(実写版)のドラマ付きソノシート、主題歌、なまけもの節、カラーまんが「妖怪の呪い!?」、魔法陣おまけカードをすべて完全復刻。同一内容収録の8cmCD付き。
▲魔法陣
◀ソノシート
▲カラーまんが16P
予価:10,000円(税別)
【オフィシャルBOXの体裁】
◆LPサイズ(320×320mm)豪華特製箱仕様
講談社 ©水木プロ2002
10月26日 発売予定
予約受付中!
3
特太サイズの本格印。印材側面に水木しげるの直筆サインを刻印。
妖怪力の気を入れたお守りとしても使えます。
(名前の刻印は印章業者にご注文ください)
※本商品は仕様が若干変更する場合もあります。

精霊の部屋

夢フェスタ とっとり ふるさと ふれあい 夢づくり

2002.10.26(土)▶11.3(日)

日時／平成14年11月2日（土）
会場／境公民館（境港市湊町1）

3部総入替制【要入場券】

第1部　10:00～11:30　講演会
第2部　14:00～16:00　語りの部屋
第3部　19:30～20:30　創作朗読劇



国民文化祭・とっとり2002

主催／文化庁・鳥取県・鳥取県教育委員会・第17回国民文化祭鳥取県実行委員会
境港市・境港市教育委員会・第17回国民文化祭境港市実行委員会

R100

国民文化祭・とっとり2002

夢フェスタ とっとり 〔ふるさと ふれあい 夢づくり〕
開催期間：2002年10月12日(土)～11月4日(月)

妖怪フェスティバル

2002.10.26(土) ▶ 11.3(日)

10.26sat
…（駅前広場）
…ニバル（水木しげるロード）
…会議（境港市民会館）【要入場券】

10.12sat-11.3sun
妖怪オブジェコンクール＊作品展示（妖怪倉庫）
伝承壁画＊作品展示（駅前広場）

10.27sun
民俗音楽祭（駅前広場）

10.26sat/27sun/11.2sat/3sun
妖怪燈籠点燈（水木しげるロード）

10.26sat-11.3sun
市民作品展＊作品展示（みなとさかい交流館ほか）

11.2sat
…の部屋（境公民館）【要入場券・総入替制】

NATIONAL CULTURAL FESTIVAL

「オーイ きたろう～ 境港で会おう」

鬼太郎

主催 文化庁・鳥取県・鳥取県教育委員会・境港市・境港市教育委員会 …化祭鳥取県実行委員会・第17回国民文化祭境港市実行委員会

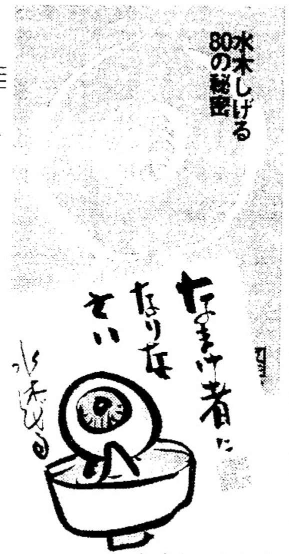
Book

ファン必見！水木しげる久々の描き下ろし

80年前の大正11年。鳥取県の港町に生まれた少年は、現在、「妖怪博士」水木しげるとして誰知らぬ者ない存在になった。

「ゲゲゲの鬼太郎」を代表作とした半世紀に及ぶ漫画制作を通じ、終始一貫、妖怪の世界を探究。昨今では日本国内に限らず、海外にも足を運び「妖怪」研究を行っている。

そんな水木氏が80歳の傘寿を迎えた記念に、水木しげる他著「水木しげる80の秘密」（角川書店　2400円）が発売された。



水木しげる氏の色紙

COMICS

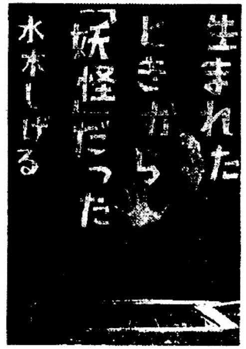
ページを繰ると、突然、未発表の描き下ろし作品「三味線の皮」が始まる。最近ではめったに描き下ろし作品を発表しなかった水木氏の久々の筆だ。

本書では、ほかに作家の荒俣宏や京極夏彦、俳優の佐野史郎、イラストレーターの南伸坊、評論家の呉智英など9氏が妖怪と水木氏への熱い思いを語る。いずれも水木しげる先生が大好きで、現在何らかのカタチで妖怪とかかわりのある仕事をしている著名人ばかりだ。

今年の夏は「妖怪」がブレーク。夏の風物詩・怪談のメーンが「幽霊」から「妖怪」にシフトしたそうだ。そうした「妖怪」像の礎は、水木しげる氏が築き上げたものである。

初版限定は、描き下ろし特製カラー色紙つき。ファン垂涎の一品である。

HUMAN HISTORY



生まれたときから「妖怪」だった

水木しげる著

「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」「河童の三平」などでおなじみのマンガ家・水木しげるは、妖怪研究家としてもよく知られ、「日本妖怪大全」などという著書もある。

妖怪は「目に見えない不思議な存在」。その存在を信じている水木自身も変人で、どこか人間離れして妖怪じみて見える。

本書は水木しげるが80年の来し方を振り返り、自由奔放に語り尽くした妖怪的人生。

活字が大きく、行間もたっぷり、おまけにルビつきなので、読みやすい本である。

妖怪的人生80年を回顧

【読みどころ】1922年鳥取県境港市生まれ。本名・武良茂（むら・しげる）。子ども時代からおくてだった。

遅刻することがわかっていても朝飯をゆっくり食べて登校する。遅刻の常習犯。

好きなことには深入りするが、関心ないことには全く無頓着。「絵を描く」ことは好きで、教頭先生に才能を認められた。

成績が悪く上級学校へ進めず、職を転々としながら絵の学校へ。

戦争中は南方へ派遣され、左腕を失った。出血多量とマラリアと空腹。そんなとき親切な原住民に食べ物をもらい、命拾いした。

戦後、紙芝居作りや貸本マンガ家で苦労。ようやくマンガ家として食えるようになったのは42歳から。

これまで締め切りに追いまくられながら、一回も仕事で穴をあけたことがないのは貧乏を恐れるから、もう二度と貧乏に戻るのはイヤだからだ。

しかし、「私は金を得ることにはいくぶんかの興味をもっているが、増やすことにはまるで関心がない。食えればいいのだ」。

この「食う」ことに関しては大変貪欲。大食で早食い。甘いもの大好き人間。酒はあまり飲まない。

水木家では「睡眠至上主義」と称し眠りたければ何時間でも眠り続けるのが家訓とか。それが健康の秘訣なのかもしれない。

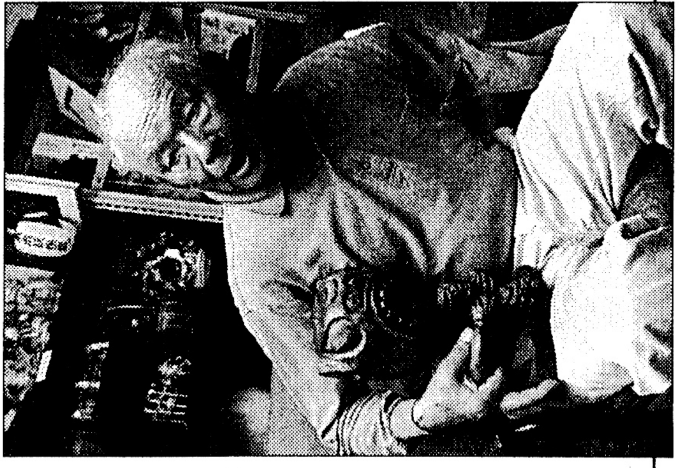
著者はいう。社会のルールに縛られるな。自分がしなくてはいられないことをし続けることこそ重要で、それが幸福なことだ、と。

（講談社　1600円）

日刊ゲンダイ　7月17日号

『生まれたときから「妖怪」だった』

水木しげるさん(80)



5歳の水木少年は、ふと思った。潮の流れの中に人間を置いたらどうなるのか。思ったときにはもう、2歳下の弟を海に突き飛ばして観察していた。「私の実験は、途中でジャマが入り、中途半端な結果に終わった」(本文から)

さすが妖怪漫画の第一人者、本書は人を食ったエピソードでいっぱいだ。「あのとき水木さんは『死とは何か』という哲学的な疑問にかられたんです。突き落とすと、弟がね、泣くんですよ」。自らの行動を、まじめな顔でひょうひょうと解説する。通行人のおかげで命拾いをした弟さんは、今もマネジャーとして水木さんを支えている。

妖気放つ鬼太郎の"父"

社会のルールなんてどこ吹く風、「私は水木さんの規則で生きている」という自由人ぶりは、南方での過酷な軍隊生活でも変わらなかった。上官に殴られても原住民を訪ね、歩哨の役目を忘れて巨大なラフレシアの花の上で踊ってしまう。

「ラバウルの夜は、本当の闇。吸い込まれるような黒さでした」。思うままに伸びる植物、美しいオウム、ワニに襲われた戦友――、記憶は今も鮮やかだ。

今年80歳。バリバリと画業に打ち込んでいる。夏を前にしたこの時期はとくに注文が多い。東京・調布の水木プロダクションには、「お父ちゃんの仕事」と大書された作画依頼のリストが張ってあった。「こうしないと忘れてしまうんですよ。ちょっとボケも入ってきたし。でもまじめにやってると死にますよ」

妖怪を自称する水木さんだが、自分は特別な存在ではないという。「みんな子どものときは妖怪なんですよ。ただ、水木さんの場合は自我が強くて、大人になっても妖怪のままで通したわけですが」

応接室は「ゲゲゲの鬼太郎」グッズや各種妖怪のフィギュア、のろいがかかっていそうな民芸品がぎっしり。とりわけ強い妖気を放っているのは、やはり水木さんご本人なのだった。(講談社・1600円)

文・藤崎 昭子
写真・菊地 艶美

街の道

天神通り商店街

(調布市)

〃鬼太郎〃が見守る活性化

京王線調布駅を出て、ほぼまっすぐに進むと、旧甲州街道に突き当たる。そこから甲州街道までが「天神通り商店街」だ。近くの「布多天神社」に通じる参道だ。昔、ある人が神社にお参りし、神のお告げに従って朝廷に布を献上したことから「調布」という地名が付いたという言い伝えもある。

道の両脇にねずみ男、こなきじじいなど、漫画「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクターの人形が並んでいる。通りの入り口の街灯の上には鬼太郎の人形が座り、通行人を見下ろしている。

商店街近くのマンションには、「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、水木しげるさん(80)の仕事場「水木プロダクション」があり、さらに数歩先には、水木さんの自宅がある。水木さんは一九五九年、新宿から調布に移り住んだ。以来四十年以上がたった。

「昔はこの辺にはビルもなく、墓場もあって寂れていたんです」と振り返る。「鬼太郎」のイメージをつかみやすい環境だったという。「鬼太郎」のモデルも当時、調布の隣の三鷹市に住んでいた兄の息子。いわば調布近辺は「鬼太郎」の〃生まれ故郷〃だ。

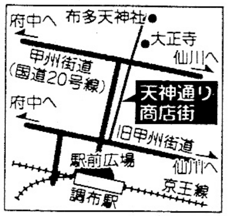
商店街の人形は、九六年八月、商店街の人たちが設置した。同商店街協同組合の千頭健一理事長(58)によると一千五百万円かかったという。全額商店街が出した。

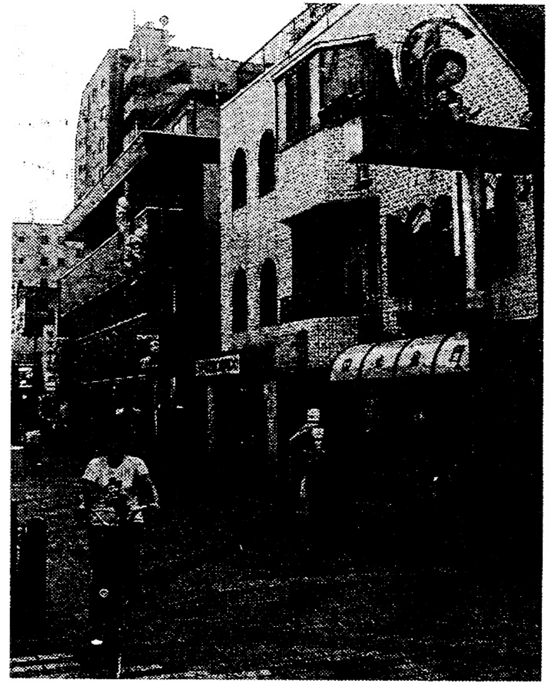
人形が設置されたとき、水木さんは「相談もなかったのでびっくりした」というが、今は「面白いし、喜ばしい」と気に入っている。今でも、朝夕の事務所と自宅の間の行き帰りは、十五分以上かけて歩くが、必ず商店街の中を通っている。道ばたの猫娘の人形をなでたり、店先の鬼太郎グッズに見入ったりしている。「通らなくてもいい時でも、わざわざ通ってしまう」。人形は我が子のようにかわいいようだ。

調布の「天神通り商店街」が人形を置いたのは、さびれゆく商店街の活性化が狙いだった。水木さんの出身地・鳥取県境港市で、水木さんの漫画のキャラクターのブロンズ像を数十体並べたところ、街おこしにつながったことにも刺激された。

都や市の補助事業で、道路の舗装が進み、街灯もきれいに整備された。電線も地下化された。そして、「鬼太郎」人形。しかし、効果はまだ見えない。

商店街に並行して、駅からまっすぐに延びる道路が新たに整備され、その影響で商店街の人通りはまた減ってしまった。商店街を見下ろす「鬼太郎」の表情もやや寂しげ。〃人寄せ〃への新たな取り組みが求められている。





入り口の看板の上に鬼太郎が座っている天神通り商店街



自分の帽子を猫娘にかぶせて笑う水木さん

鳥取・境港で「妖怪オブジェコンクール」

和田さん「水木しげる賞」

オーブン粘土でフィギュア

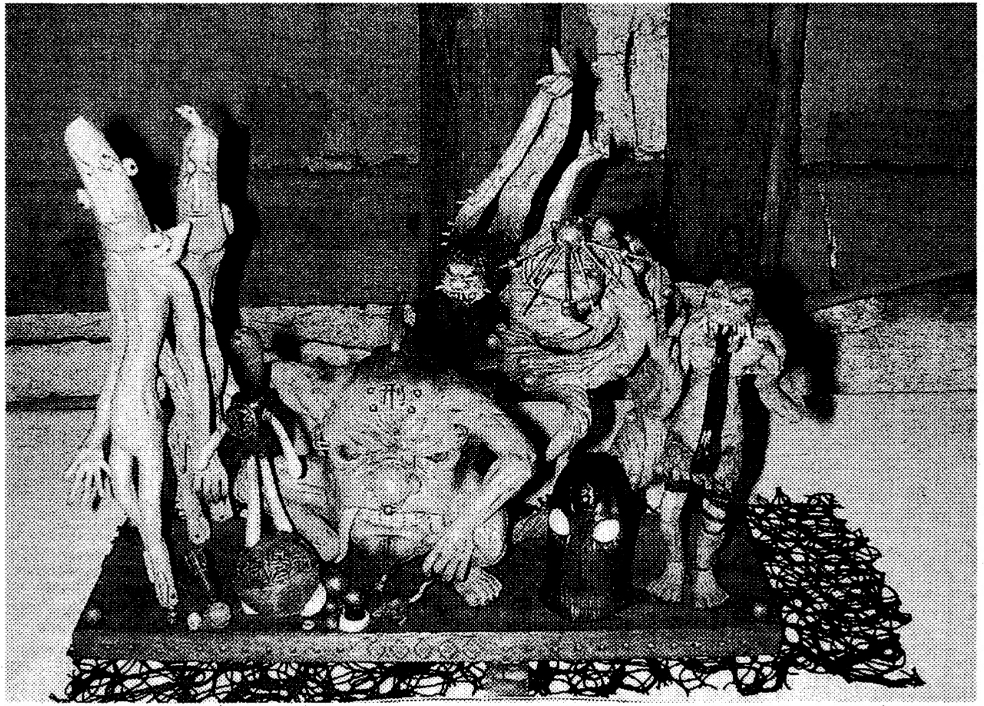
漫画「ゲゲゲの鬼太郎」の作者・水木しげるさんの出身地の鳥取県境港市でこのほど、「妖怪オブジェコンクール」が開催され、寝屋川市成田東が丘、フリーター、和田隆司さん(25)が「水木しげる賞」を受賞した。

コンクールは、3年前から始まり、水木さん自ら審査。水木さんの作品に登場する妖怪をテーマにした応募作品31点の中から18作品が入賞した。

このうち和田さんの作品は、妖怪8体をオーブン粘土で作ったフィギュア「水木奇激団」。4年ほど前から趣味でフィギュア作りを始めたといい、初めての応募で入賞した。

和田さんは「水木しげる賞に選ばれて、とてもうれしい。これを機にもっと幅広い作品を作っていきたい」と話している。

コンクールの入賞作品は12日から11月3日まで、境港市大正町の「妖怪倉庫」で展示される。



水木しげる賞を受賞した和田さんの作品「水木奇激団」

水木しげるさんのお品書き

パパイア

こそいで食べた〝命綱〟

妖怪のことは三百年生きないとわからない。そう言い続けている漫画家は今年八十歳。「鬼太郎」や「ぬらりひょん」、南方の精霊たちの置物に囲まれた姿はすでに、どこかこの世離れしたたたずまいがある。

自分を「水木さん」という。

「水木さんは胃が異常に丈夫だから、何でも食べます。でも、人間は食べたことはありませんな」と言って、にやっと笑った。

八十年の人生で一番うまかったものは「南方のパパイア」だそうだ。一九四三年。水木さんは陸軍二等兵としてパプアニューギニアのラバウルへ送られ、あの世との境をさまよった。分隊は全滅。やっと中隊に戻ったら、戦死者のうちに数えられていて、「なぜ戻った」と殴られた。そこでも爆撃を受けて負傷し、左腕を失った。

栄養失調のうえマラリアにもかかり、髪はごっそり抜け、皮膚病に。腕の切り口はウミが止まらない。生きている水木さんに、衛生兵は「おしまいだ」とつぶやいた。

野戦病院の食事はメシとみそ汁、大根ひときれ。「食わなきゃ、本当におしまいだ」と、水木さんは配給のたばこを持って、島の村へ。交換してもらったのは、ラグビーボールぐらいのパパイアだった。毎日、村に通った。そんなことをする兵隊は水木さん一人。「腕のない兵隊だから許されたのですな」

パパイアに小さな穴をあけて、そこからさじを入れ、中身をこそげ取る。一日一個は食べた。雨で村に行けない日もあるので、予備のパパイアをいつも二、三個、頭の上の棚にとっておき、熟れたものから食べた。

「腐りかけが一番うまい。甘くて、大きくて、肌触りもよろしい。今、日本で売っているパパイアとは全然違う」

ビタミンやカロチンがいっぱいのパパイアが効果をあげた。傷口がいえ、髪が戻った。

「水木さんは戦争より食うことに熱心だった」と真顔で言う。「でも、みんなそうなんです。兵隊は若いから、腹を減らしている。考えるのは、メシを食うことばかり。戦争といっても、勇ましい部分はほんのすこしで、あとは奇妙な日常がずっと続く。それが案外とたいへんなんですな」

バナナや、アカウカウという紫色のイモもおいしかった。味にこくがあった。すっかり友達になった村人たちから、「イモ畑をやるから、ここで暮らせ」と言われ、その気になった。

しかし、軍医に「一度は日本に戻りなさい」と説得されて帰国。占領下の日本では出国もままならず、とうとうラバウルで暮らす夢はかなわなかった。

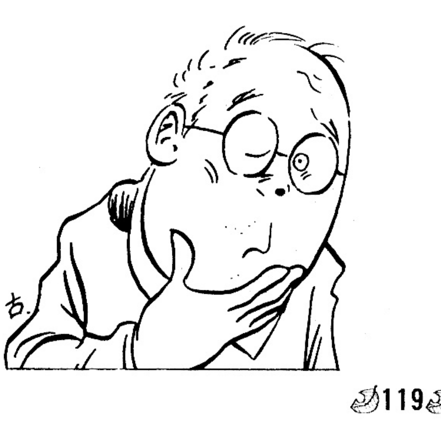
戦後、パプアニューギニアに何度も渡った。楽園の暮らしはだいぶ変わったが、命をつないだパパイアは昔と同じ味がしたという。

（斎藤　雄介）



「兵隊は毎日、訳も分からず殴られる。戦争のことは、水木さんが漫画に描いたことが本当です」（東京・調布市の事務所で＝本田典之撮影）

みずき・しげる　漫画家。妖怪研究家。一九二二年、鳥取県境港市生まれ。代表作は「ゲゲゲの鬼太郎」。兵隊の立場から描く独特の戦記物にも人気がある。最近、「悪魔くん」の玩具菓子（トミー）が発売された。



80歳 水木しげる　世界の妖怪1840点を集大成


「釣瓶（つるべ）落とし」（『妖怪世界遺産』から）

水木しげる、80歳。世界の妖怪を描き、妖怪ブームの原動力となった功績で、未来の人類に伝えるべき「妖怪世界遺産」に認定する――。冗談とも本気ともとれる宣言とともに、妖怪画1840点を収録したCD―ROM『妖怪世界遺産』（講談社）が発売される。この宣言が大げさとは思えないほど、再評価は大きな流れになってきた。（加藤修）

故郷の鳥取県境港市では26日から国民文化祭「妖怪フェスティバル」が開かれ、来年3月には「水木しげる記念館」も開館する。またアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の新作も制作が進んでいる。

水木さんは「不況で幸せになれないから、やけになって水木マンガを読むんです」と笑う。

「知っている世界以外存在しないと思う人が多いが、知らない世界を尊重していかなければならないということが、少しずつ理解されてきたんじゃないかなあ。そういう世界とつきあうと楽になれるから」

今回は、海外の妖怪の姿も解説付きで収録。

「だいぶ描けましたが、まだ知らない妖怪がある。人間の本質的な部分は変わらないので、日本の妖怪もヨーロッパの妖怪も共通している」

流行の中心にいながら飄々（ひょうひょう）としている水木さん。「世界遺産」にふさわしい大妖怪ぶりだ。

「妖怪を楽しむのは、ある程度生活に余裕がある時代。だから、衣食足りて妖怪を知る、と言っているんです」

デビュー作『ロケットマン』の復刻本など3種の付録つきオフィシャルボックス（26日発売、1万5000円）と、『悪魔くん』のソノシートやマンガの付いたプライベートボックス（11月26日発売、6300円）がある。電話03・5395・3608（講談社）。



水木しげる先生の恋愛論

老年こそ最高!!

〝大人のレンアイ〟といっても、私はもう七十五翁(おきな)であるから〝老人のレンアイ〟となってしまうのは仕方がないが、大方の諸君は老人にはレンアイはないと思っているフシがあるが、老いてみてその自らの心の花(はな)やかさに驚く。

意味がよくわからないという人がいるので解説すれば〝自分に還(かえ)る〟というのか、一切の無駄と思われるものが自然に消去され、本来の人間に立ちかえるのであろう。

一物(いちもつ)はあまり元気はないが、凡(すべ)ての女が美人にみえるからおかしなものだ。

多くの老人は血行の鈍化から〝重厚〟にみえるが、心はそうではない。毎日がレンアイみたいな気持なのだ。

家内にいわせるとボケたのではないかといわれるが、決してそうではない。かのゲーテは七十五歳の時、十六歳の少女に結婚を申込んで断られている。老年期には、異常にそういう方面が高まるものらしい。

老年期こそ人生の最高なのだ。

扶桑社　「大人の恋愛養成講座」より

くさった国
{編集後記だよ～ん}

今回は初めての試みでヒヤヒヤしましたが、何とか、『フハッ』ができました。次もがんばりましょう。

北迫会長

今回、担当させて頂いたキンドコングには欽ちゃん走りで二郎さんにとびげりをかます程、思い入れがあり実現して、２０点満点もらって涙ぐみながらステージの前の方にいくような気分ですよ。ああこの復刻「キンドン（略）」をまだ知らない人達に読ませてあげたい！読んで！

長沢　美奈

みなさんお久しぶりです。
レポ、先生方似てなくてすみません。
表紙の月ドラ画像、ビデオからとった為粗いのを何とかごまかそうとしていますが…キタナイですね

亀田　真理（花子）

今回は関東のメンバーが主でしたので、私は原稿の貼り付けだけでしたので大変楽でした。

てんめい

今回はすごくおもしろいと思います。でも私はのりづけしかしませんでしたけど。

石川明子

私を水木ファンへいざなった原点の「月曜ドラマランド」の特集ができて死ぬ程（死ねや！）幸せです。当時のビデオを見返すうちに１９８５年に戻った様。
続編にあたるＯＶ版「鬼太郎－妖怪奇伝」の特集もしてみたくなりました。

木村　香織

今回は女性スタッフの活躍が目立っていてうれしいです。
サービスカットはいかがでしたか？

吉田温代

次号予告

フハッ第56号

水木しげるの「忍者漫画特集」

「うじ虫」「忍者は一度勝負する」（少年サンデー版）復刻予定
水木しげる漫画に登場した忍者が一同に集結！乞うご期待！

◆ 原稿の締め切りは1月30日です。

フハッ・第55号

『月曜ドラマランド』＆『キンドコング』特集

☞ 発行／平成14年11月10日
☞ 表紙／水木しげる（レイアウト／亀田真理）
☞ 編集／水木伝説 関東編集部
☞ 担当／北迫耕治、吉田温代、栗本典明、善樹敏秀、石川明子、日比野聖巳
木村香織、長沢美奈、亀田真理、土田重之、内田高信、古賀弘明
☞ 協力／福家書店、大屋書房
☞ 多謝／水木しげる先生、水木プロの皆様
☞ 印刷／太陽出版株式会社
☞ 制作発行／水木しげるＦＣ・水木伝説

〒663-8223
兵庫県西宮市今津巽町７番２－７０９号　北迫方



制作・発行

水木しげるFC

水木伝説

水木しげる筆